

平成25年度
鎌ヶ谷市市民意識調査
調査結果報告書

平成26年3月
鎌ヶ谷市

はじめに

「鎌ケ谷市市民意識調査」は、市民の皆さまから市政の幅広い分野にわたってご意見、ご要望をお伺いし、その声を今後のまちづくりに反映することを目的に、5年ごとに実施しています。

前回の平成20年度鎌ケ谷市市民意識調査は、平成23年度から平成32年度までを計画期間とした「かまがやレインボープラン21 後期基本計画」の策定にあたり、基礎資料として活用されました。この後期基本計画では、「安全・安心」「福祉」「教育」「魅力あるまちづくり」の4つをまちづくりの重点政策として設定し、目標の達成に向けて現在、様々な施策を推進しています。

今回、平成25年8月に実施しました平成25年度鎌ケ谷市市民意識調査は、後期基本計画を策定してから初めての調査となります。後期基本計画で掲げている各施策の成果目標値に対する指標として、この調査結果報告書を活用してまいります。

今回の調査にあたり、ご協力いただきました皆さまに厚くお礼を申し上げるとともに、今後とも市政へのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成26年3月

鎌ケ谷市長 清水 聖士

目 次

第1章 調査概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査手法	3
3. 回収状況	3
4. 標本誤差について	4
5. 調査項目	5
6. 居住地区区分	5
7. 集計と分析にあたって	6
8. 調査結果の概要	7
9. 質問と回答	14
第2章 調査回答者の属性	37
1. 調査回答者の属性	39
第3章 調査結果の詳細	43
1. 鎌ヶ谷市のイメージについて	45
(1) 鎌ヶ谷らしさ	45
(2) 鎌ヶ谷市のイメージ	47
(3) 鎌ヶ谷市の景観への「現在の満足度」と「今後の重要度」	49
2. 住み心地について	51
(1) 住みよさ意識	51
(2) 定住意識	54
(3) 生活環境の「現在の満足度」・「今後の重要度」	58
(4) 日常生活圏（現在）	63
(5) 日常生活圏（将来）	64
(6) 地区の将来像	65
3. 地域活動について	68
(1) 近所付き合いの程度	68
(2) 近所付き合い、まちづくり活動の必要性	70
(3) 地域活動への参加	72
(4) 地域のまちづくりに対する考え方	76
(5) 今後のまちづくり活動への参加	78
4. 市政について	82
(1) 市政についての不満等の有無	82
(2) 市へ意見や要望を伝える方法	85
(3) 意見や要望の市政への反映状況	87
(4) 市政情報の入手方法	90
(5) 市政情報の提供に関する評価	92
(6) 市政への参加意向	94
(7) 市政への参加方法	96

5. 日常生活について	98
(1) 余暇時間の過ごし方	98
(2) 現在行っている学習や文化・スポーツ活動	100
(3) 今後やってみたい学習や文化・スポーツ活動	101
6. 鎌ケ谷市の施策について	103
(1) 市の行財政運営	103
(2) 市の施策・サービスの「現在の満足度」・「今後の重要度」	107
7. 行政サービスについて	115
(1) 行政サービスと市民の費用負担	115
(2) 行政と家庭や地域コミュニティの役割分担	117
8. 防災対策について	120
(1) 防災対策として重視すべき施策	120
(2) 福祉避難所の必要性	121
(3) 避難時に協力できること	122
(4) 住宅用火災警報器の設置状況	123
9. 魅力あるまちづくり・都市基盤整備について	125
(1) 新鎌ケ谷地区の今後の方向性	125
(2) 国史跡「下総小金中野牧跡」の認知度	126
(3) 国史跡「下総小金中野牧跡」の活用方法	127
(4) きらり鎌ケ谷市民会館に期待すること	128
(5) 道路整備の優先すべき施策	129
10. 少子・高齢化対策について	130
(1) 子育て環境を整備するために必要な施策	130
(2) 自身の健康への満足度	131
(3) 市民の健康を維持するために必要な施策	132
(4) コミュニティバス「ききょう号」の利用状況	133
(5) コミュニティバス「ききょう号」に必要な施策	134
11. 国際交流について	135
(1) 姉妹都市（ニュージーランド・ワカタネ地区）の認知度	135
(2) 多文化共生推進センターに求める機能	136
12. 男女共同参画社会について	137
(1) 男女平等意識	137
(2) 男女共同参画社会を実現するために必要な施策	139
13. 消費生活について	140
(1) 消費生活に関するトラブルの経験	140
(2) 消費生活に関する相談をする時に重視すること	141
14. 広報について	142
(1) 「広報かまがや」の閲読状況	142
(2) 「広報かまがや」の入手方法	143
(3) 市の広報紙やホームページで充実して欲しい情報	144

第4章 自由意見のまとめ	145
1. 自由意見のまとめ	147
資料 調査票	149
資料 調査結果集計表	171

第 1 章 調査概要

1. 調査実施の目的

この調査は、市民の意見・要望を把握し、分析することにより、今後のまちづくりの基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査手法

- (1) 調査地域：鎌ヶ谷市全域
- (2) 調査対象：市内在住の20歳以上の市民
- (3) 対象者数：3,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳より層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法：郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間：平成25年7月22日～平成25年8月5日

3. 回収状況

3,000件の配布に対し、1,665件の有効回答が得られました。回収率は55.5%です。

	票数	回収率
配布数	3,000	
回収数	1,667	55.6%
有効回収数	1,665	55.5%

回収率 (55.5%) = 有効回収数 (1,665) / 配布数 (3,000)

4. 標本誤差について

この調査の標本誤差（サンプル誤差）はおおよそ下記の表のとおりです。標本誤差は次の式によって得られます。

標本誤差の幅は、①比率算出の基数（n）、及び②回答の比率（P）によって異なります。

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差（二段抽出の場合）

N = 母集団数

n = 比率算出の基数（サンプル数）

P = 回答の比率

（注）後にかかげる表は $\frac{N-n}{N-1} \doteq 1$ として算出しました。本調査は層化を行っているの
で誤差はこの表よりやや小さくなります。

たとえば、回答者総数（1,665人）を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%であった

場合の標本誤差を計算すると、

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{0.5 \times (1 - 0.5)}{1,665}} = \pm 3.5\%$$

となります。

つまり、回答者総数（1,665人）を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%の時、鎌ヶ谷市民（満20歳以上の男女）の真の値は46.5%～53.5%の間にあると考えられます。ただし、信頼度は95%であるので、95%の確率で間違いないと判断できるという意味です。

nとPを上記の式に代入すれば、必要な標本誤差はすべて計算できます。

		回答の比率（P）				
		10% または 90%	20% または 80%	30% または 70%	40% または 60%	50%
基数（n）	1,665	±2.1%	±2.8%	±3.2%	±3.4%	±3.5%
	1,500	±2.2%	±2.9%	±3.3%	±3.6%	±3.7%
	1,000	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
	800	±3.0%	±4.0%	±4.6%	±4.9%	±5.0%
	600	±3.5%	±4.6%	±5.3%	±5.7%	±5.8%

5. 調査項目

調 査 項 目	
1	鎌ヶ谷市のイメージについて
2	住み心地について
3	地域活動について
4	市政について
5	日常生活について
6	鎌ヶ谷市の施策について
7	行政サービスについて
8	防災対策について
9	魅力あるまちづくり・都市基盤整備について
10	少子・高齢化対策について
11	国際交流について
12	男女共同参画社会について
13	消費生活について
14	広報について
15	調査回答者の属性
16	自由意見

6. 居住地区区分

地区区分	該当町名
中央地区	道野辺中央、道野辺本町、初富本町、右京塚、南初富四～六丁目、中央、富岡、初富（928～931番地）、新鎌ヶ谷
中央東地区	東鎌ヶ谷、東初富、南初富一～三丁目、初富（700～927番地）
東部地区	丸山、鎌ヶ谷、東道野辺二～七丁目、南鎌ヶ谷
南部地区	東中沢、東道野辺一丁目、西道野辺、馬込沢、道野辺、中沢、北中沢、中沢新町
西部地区	くぬぎ山、栗野（426～538番地）、佐津間（1300番地～）、串崎新田、北初富、初富（1～399番地・1300番地～）
北部地区	栗野（1～425番地・539番地～）、佐津間（1～1299番地）、中佐津間、西佐津間、南佐津間、軽井沢

7. 集計と分析にあたって

- (1) n は比率算出の基数であり、100%が何人の回答に相当するかを示します。
- (2) 回答はすべて百分率 (%) で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、合計が100%に満たない場合や上回る場合があります。
- (3) 複数回答の設問は、回答が2つ以上ありうるという意味であるため、パーセント表示の合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) 図表中の「-」は該当者なしを表します。
- (5) 割合の表記については、下記のとおりです。

例：40%台

表記	約4割（4割）	4割強	4割台半ば	5割弱	約5割（5割）
範囲	39.1～40.9% (40.0%)	41.0～42.4%	42.5～47.5%	47.6～49.0%	49.1～50.9% (50.0%)

- (6) 満足度・重要度の算出

【満足度の算出方法】

満足度は、最大値が100（＝満足度100）、最小値が-100（＝不満足度100）となるように、以下の数式で算出しました。算出の結果が正の値であれば「満足度」、負の値であれば「不満足度」として表しています。

$$\text{満足度} = (\text{「満足している」} \times 1 \text{点} + \text{「まあ満足している」} \times 0.5 \text{点} + \text{「やや不満である」} \times -0.5 \text{点} + \text{「不満である」} \times -1 \text{点}) \div \text{回答者数} \times 100$$

【重要度の算出方法】

重要度は、最大値が100（＝重要度100）、最小値が-100（＝重要でない度100）となるように、以下の数式で算出しました。算出の結果が正の値であれば「重要度」、負の値であれば「重要でない度」として表しています。

$$\text{重要度} = (\text{「重要である」} \times 1 \text{点} + \text{「やや重要である」} \times 0.5 \text{点} + \text{「あまり重要でない」} \times -0.5 \text{点} + \text{「重要でない」} \times -1 \text{点}) \div \text{回答者数} \times 100$$

8. 調査結果の概要

1. 鎌ケ谷市のイメージについて

「鎌ケ谷らしさ」を感じさせるものは「名産の梨や梨ワインなどのふるさと産品」が39.9%と最も高く、次いで「豊かな自然」(25.9%)、「交通の便のよさ」(25.7%)と続いています。

「鎌ケ谷市のイメージ」を表す表現として、“肯定”(かなりそう思う+ややそう思う)の高かった項目は「歴史・伝統のあるまち」が27.1%と最も高く、次いで「開放的なまち」(21.1%)、「賑わいのあるまち」(18.1%)と続いています。

鎌ケ谷市の景観への“満足度”(満足している+まあ満足している)が高いのは「森や畑など緑の自然景観」で54.7%、次いで「市役所・学校・公民館などの公共施設の景観」(30.7%)、「住宅街の景観」(26.1%)と続いています。また「総合的な市全体の雰囲気と景観」は25.3%の市民が満足していると回答しています。

一方、“不満足度”(不満である+やや不満である)が最も高いのは「駅前や商店街の景観」で42.6%、次いで「池や川などの水景観」(35.3%)、「市役所・学校・公民館などの公共施設の景観」(23.0%)と続いています。

今後について、“重要度”(重要である+やや重要である)が最も高いのは「森や畑など緑の自然景観」で74.8%、次いで「駅前や商店街の景観」(73.9%)、「市役所・学校・公民館などの公共施設の景観」(62.6%)と続いています。

2. 住み心地について

住みよさ意識は、「まあ住みよい」が38.4%と最も高く、次いで「普通」(30.8%)、「住みよい」(13.8%)と続いています。

“住みよい”(住みよい+まあ住みよい)と感じている市民は52.2%と半数を超えています。

一方、“住みにくい”(やや住みにくい+住みにくい)と感じている市民は13.4%となっています。

定住意識は、「当分の間、住みたい」が42.2%と最も高く、次いで「永住したい」(29.2%)、「わからない」(12.7%)と続いています。

“住み続けたい”(永住したい+当分の間、住みたい)と感じている市民は71.4%と7割強が住み続けたいと考えています。

一方、“移転を考えている”(できれば移転したい+移転する)と考えている市民は12.3%となっています。

経年変化でみると、平成20年度と比較して“住み続けたい”は2.4ポイント高くなっています。

生活環境の“現在の満足度”(満足している+まあ満足している)が高い項目は、「日当たり・風通し・建物のこみぐあい」で65.5%、次いで「日常の買い物の便利さ」(53.9%)、「自動車・電車などの騒音や振動」(51.1%)と続いています。

一方、“現在の不満足度”(やや不満である+不満である)が高い項目は、「道路の状況(広さや舗装など)」で66.4%、次いで「交通事故防止のための安全対策」(40.0%)、「スポーツ・レクリエーション施設」(31.7%)と続いています。

生活環境の“今後の重要度”(重要である+やや重要である)が高い項目は、「道路の状況(広さや舗装など)」で86.6%、次いで「犯罪・風紀などの防犯対策」(86.1%)、「火災・地震・水害などの防災対策」(84.0%)と続いています。

日常の生活圏は、主に鎌ヶ谷市内という回答は、「日用品の購入」(74.7%)、「食料品の購入」(73.6%)で7割を超えています。また、「通院や治療など」(69.0%)も主に鎌ヶ谷市という回答が高くなっています。

一方、「高級品や流行品の購入」は主に船橋市という回答が38.7%と高くなっています。「コンサート・演劇などの鑑賞」は主に東京都という回答が52.4%と半数を超えています。

鎌ヶ谷市内では、「高級品や流行品の購入」(8.1%)、「コンサート・演劇などの鑑賞」(3.2%)が低くなっています。

将来の生活圏は、現在の日常の生活行動と同様に、主に鎌ヶ谷市内という回答が高いのは、「日用品の購入」(87.4%)、「食料品の購入」(87.0%)、「通院や治療など」(85.3%)となっています。

また、現在は「家電製品や家具などの購入」(27.7%)、「レストランなどでの外食や宴会」(38.8%)、「スポーツ・レクリエーション施設の利用」(39.6%)が鎌ヶ谷市内で行っているという回答に対して、将来は「家電製品や家具などの購入」(61.4%)、「レストランなどでの外食や宴会」(65.7%)、「スポーツ・レクリエーション施設の利用」(73.4%)を鎌ヶ谷市で行いたいと回答しています。また、現在鎌ヶ谷市で行っているという回答が低かった「高級品や流行品の購入」(8.1%)、「コンサート・演劇などの鑑賞」(3.2%)も将来は鎌ヶ谷市内で行いたいと期待されています。

地区の将来像は、「落ち着いたある住宅地区」が44.6%と最も高く、次いで「商業地区」(19.6%)、「田園地区」(10.2%)と続きます。「産業地区」は1.7%と低くなっています。

3. 地域活動について

近所付き合いについては「顔をあわせた時、あいさつする」が44.8%と最も高く、次いで「たまに立ち話をする」(24.6%)、「何か困った時に、助け合える」(13.2%)と続いています。「家族ぐるみの付き合いをしている」は4.4%と低くなっています。

近所付き合いや地域のまちづくり活動については「必要だと思う」が45.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば必要」(41.9%)、「どちらかといえば必要ない」(4.3%)となっています。

この一年間に参加した地域活動は「町内会・自治会活動」が31.7%と最も高く、次いで「道路・公園清掃など環境美化活動」(29.2%)、「祭り・盆踊りなどの地域行事」(26.5%)と続いています。

一方、「いずれにも参加していない」が33.3%と高くなっています。

地域活動に参加しなかった理由は、「仕事が忙しい」が51.8%と最も高くなっています。次いで、「活動内容が分からない」(32.3%)、「ひとりでは参加しづらい」(24.0%)と続いています。

地域のまちづくりに対する考え方は、「わずらわしくない程度に参加する」が57.3%と最も高く、次いで「地域のまちづくり活動は熱心な人たちに任せる」(16.3%)、「地域は生活のよりどころなので、積極的に参加する」(9.2%)と続いています。

今後のまちづくり活動へ「参加したい」が44.9%、「参加したくない」が35.9%となっています。

参加したい活動としては、「地域の行事に参加する」が40.1%と最も高く、次いで「騒音・汚水を出さないなど、環境保全を心がける」(30.7%)、「違法駐車・駐輪などのルール違反をしない」(27.8%)と続いています。

4. 市政について

市政についての不満は「特にない」が33.7%で「ある」(31.1%)を上回っています。

経年変化でみると、平成20年度と比較して「特にない」は2.0ポイント高くなっており、「ある」は6.3ポイント低くなっています。

市へ意見や要望を伝える方法としては「市役所の窓口に行く」が30.3%と最も高く、次いで「担当部署に電話を入れる」(27.3%)、「町内会や自治会の役員を通じて伝える」(14.2%)と続いています。

一方、「意見や要望はあっても伝えていない」は27.2%となっています。

意見や要望の市政への反映状況は“反映している”(よく反映している+ある程度反映している)という回答は26.0%、“反映していない”(あまり反映していない+全く反映していない)という回答も26.0%となっています。また「わからない」という回答は44.2%と高くなっています。

経年変化でみると、平成20年度と比較して“反映していない”は1.1ポイント低くなっています。

市政情報の入手先は「広報かまがや」が79.2%で最も高く、次いで「回覧版」(36.9%)、「市のホームページ」(13.3%)と続いています。

市政情報については“情報を得られている”(得られている+ある程度得られている)という回答は38.2%で、“得られていない”(あまり得られていない+全く得られていない)の45.3%を下回っています。

経年変化でみると、平成20年度と比較して“情報を得られている”という回答は1.8ポイント高くなっており、“得られていない”という回答は2.2ポイント低くなっています。

市政へは“参加したいと思う”(積極的に参加したいと思う+ある程度は参加したいと思う)は26.3%、“参加するつもりはない”(あまり参加するつもりはない+全く参加するつもりはない)は54.6%と“参加したい”を大きく上回っています。また、「わからない」という回答も15.0%となっています。

市政への参加方法は、「アンケート調査などを通じて参加したい」が53.0%と最も高く、次いで「市長との対話集会があれば参加したい」(13.0%)、「苦情・陳情などにより個人的に参加したい」(7.8%)と続いています。

5. 日常生活について

余暇時間の過ごし方は、「自宅でテレビなどを観て、のんびり過ごすことが多い」が47.1%と最も高く、次いで「自宅で趣味を楽しむことが多い」(31.3%)、「家族と団らんして過ごすことが多い」(26.3%)と続いています。

現在行っている生涯学習は、「趣味や稽古事」が22.4%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション活動」(21.4%)、「知識・技術の習得や資格取得活動」(12.4%)と続きます。

また、「何もしていなかった」は32.2%と高くなっています。

今後やってみたいこととしては「趣味や稽古事」が29.6%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション活動」(26.4%)、「知識・技術の習得や資格取得活動」(24.2%)と続いています。

6. 鎌ヶ谷市の施策について

5年前と比べ、市の行財政運営について“よくなった”（よくなった+ややよくなった）という回答が最も高いのは「市職員の市民への対応」で24.3%、次いで「市政情報の提供・公開」（23.8%）、「地域での市民活動の機会や施設」（16.6%）と続いています。

一方、“悪くなった”（やや悪くなった+悪くなった）という回答が最も高いのは「市職員の市民への対応」で4.3%となっています。

市の施策・サービスの満足度が高い施策としては「ごみ・し尿処理対策」、「消防力の充実」、重要度では「防犯対策」、「地震などの防災対策」があげられ、中でも「道路の整備」は重要度が最も高かったが、現状では最も不満足度が高い結果となりました。

7. 行政サービスについて

行政サービスと市民の費用負担は「効果が少ない行政サービスを廃止して、負担を減らしてほしい」が36.9%と最も高く、次いで「現在の行政サービスを維持するためには、多少負担が増えても構わない」（21.0%）、「行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない」（11.8%）と続きます。

行政と家庭や地域コミュニティの役割分担は、10項目のうち、「自然保護・地球温暖化防止活動」など6項目で「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高くなっています。残りの「高齢者・障がい者のお世話などの福祉活動」など4項目は「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」が最も高くなっています。

8. 防災対策について

防災対策として重視すべき施策の1位は「非常用の食糧・飲料水などの応急物資の確保」が39.3%、次いで、「救急・救助・医療体制の充実」（16.3%）、「避難所の設備の充実」（12.4%）となっています。

1位～3位を合わせると、最も重視すべき施策は「非常用の食糧・飲料水などの応急物資の確保」、次いで「救急・救助・医療体制の充実」、「非常用トイレの確保など衛生対策の充実」があげられています。

自分自身、もしくは同居している家族に介護・介助が必要な人、障がいのある人がいる場合の避難所については、「介護・介助が必要な人だけの福祉的な避難所に避難したい」が49.3%と最も高く、次いで「介護・介助が必要な人はいないのでわからない」（30.8%）、「通常の避難所で生活した方がいい」（8.3%）となっています。

避難時に協力できることは、「大丈夫ですか」などの声かけ」が78.7%と最も高くなっています。次いで、「避難の手助け」（61.9%）、「家族や親族・知人への連絡」（54.4%）となっています。

住宅用火災警報器について「知っているし、設置もしている」が61.3%と最も高くなっています。次いで、「知っているが、設置していない」（22.2%）、「知らないし、設置もしていない」（4.8%）と続いています。

住宅用火災警報器を設置していない理由は「価格が高い」が18.5%と最も高くなっています。次いで、「設置の義務化を知らなかった」（18.3%）、「設置方法がわからない」（14.5%）となっています。また、「現在は設置していないが、近いうちに設置する予定」は49.7%となっています。

9. 魅力あるまちづくり・都市基盤整備について

新鎌ヶ谷地区の今後の方向性に期待していることは「娯楽施設などのレクリエーション」が32.1%と最も高くなっています。次いで、「日用品の購入」(30.5%)、「企業の事務所などの集積」(23.4%)と続いています。

国史跡「下総小金中野牧跡」の認識は「知らない(興味がない)」を除くと、「名前だけは知っている」が27.1%と最も高くなっています。次いで、「国史跡があるのは知らなかったが、機会があれば見てみたい(イベントなどに参加してみたい)」(21.9%)、「場所を知っているまたは、行ったことがある」(11.4%)と続いています。

国史跡「下総小金中野牧跡」の活用方法は「史跡や地域の歴史を学ぶ場とする」が44.9%と最も高くなっています。次いで、「緑を保全する場とする」(34.4%)、「市民の文化的活動やふれあいの場とする」(20.4%)と続いています。

きりり鎌ヶ谷市民会館については、映画や演劇などの鑑賞目的での利用を期待されています。

道路整備の優先すべき施策として1位にあげられているのは「主要な市道(道幅8m以上の道路)の歩道整備による歩行者の安全性の確保」が32.1%で最も高くなっています。次いで、「国道・県道(大型車等の通行が多い道路)の歩道整備や道路拡幅など」(22.3%)、「その他の市道(道幅4~5m程度の道路)の排水、交差部のすみ切り、車のすれ違いのための待避所などの整備による安全性や利便性の確保」(16.0%)となっています。

1位~3位を合わせると、「主要な市道(道幅8m以上の道路)の歩道整備による歩行者の安全性の確保」が「国道・県道(大型車等の通行が多い道路)の歩道整備や道路拡幅など」を上回っています。

10. 少子・高齢化対策について

子育て環境の整備に必要な施策として1位にあげられているのは「待機児童解消に向けた保育サービスの拡充」で34.5%と最も高くなっています。次いで、「子どもの医療費助成などの経済的支援の充実」(20.8%)、「一時保育、延長保育などの多様な保育サービスの充実」(12.6%)と続いています。1位~3位を合わせると、上記の3項目が同様に上位を占めています。

自身の健康については、満足している(「はい」という回答が55.4%と半数を超えています。満足していない(「いいえ」という回答は28.6%となっています。

市民の健康を維持するために必要な施策として1位にあげられているのは「がん検診・健診の実施、内容の拡充」で39.2%と最も高くなっています。次いで、「日常の健康づくりの場の確保」(23.4%)、「病気や健康づくりに関する相談・指導体制の充実」(13.9%)と続いています。

1位~3位を合わせると、「健診の結果に応じた保健指導の実施」が「病気や健康づくりに関する相談・指導体制の充実」を上回っています。

コミュニティバス「ききょう号」の利用状況は「見たことはあるが乗ったことはない」が70.3%と最も高くなっています。次いで、「1回乗ったことがある」(10.2%)、「見たことがない」(7.0%)と続いています。1回でも「利用したことがある」という回答は約2割となっています。

「ききょう号」がもっと利用しやすくなるために必要な方法として、1位にあげられているのは「路線の増加」が32.6%で最も高くなっています。次いで、「便数の増加」(22.4%)、「運行日の増加(土日を含む)」(9.6%)となっています。1位~3位を合わせると、「便数の増加」が「路線の増加」を上回っています。

1 1. 国際交流について

鎌ヶ谷市の姉妹都市（ニュージーランド・ワカタネ地区）の認知度は「聞いたことがない」が41.3%で最も高くなっています。次いで、「名前は聞いたことがある」（38.6%）、「関心がない」（8.4%）と続いています。

多文化共生センターに求める機能は「語学講座（日本語講座を含む）の実施」が35.4%と最も高く、次いで「様々な国の産業や文化などが分かる情報の提供」（35.3%）、「国際交流イベントの実施」（34.6%）と続いています。

1 2. 男女共同参画社会について

男女平等社会の認識は「平等である」は「学校教育」が65.5%で最も高く、次いで、「地域活動」（48.9%）、「法律や制度」（39.5%）と続いています。

男女平等社会を実現するために必要な施策として1位にあげられているのは、「仕事と家庭生活が両立できるような社会的支援の充実」が37.6%で最も高くなっています。次いで、「市の審議会などへの女性委員の登用や市の女性職員の管理職への登用」（17.8%）、「女性に対する再就職支援や起業に対する情報提供」（12.3%）と続いています。

1位～3位を合わせると、「女性に対する再就職支援や起業に対する情報提供」が「市の審議会などへの女性委員の登用や市の女性職員の管理職への登用」を上回っています。

1 3. 消費生活について

消費生活に関するトラブルの経験は「トラブルにあったことはない」（64.4%）を除くと、「不当請求に関するトラブル（覚えのない請求が手紙やメールで来たなど）」が13.2%で最も高くなっています。次いで、「食品の安全等に関するトラブル（食品の中に異物が入っていたなど）」

（9.2%）、「悪質商法に関するトラブル（粗品を渡すと言われ、会場に行ったところ高額な商品を買わされたなど）」（5.2%）となっています。

消費生活センターで消費生活に関する相談を行う場合、相談時に重視することは、「親身になって相談に乗ってくれるなど、相談しやすい雰囲気」が43.1%で最も高くなっています。次いで、「高度な知識を持った専門家による的確な対応」（29.8%）、「待ち時間のない（少ない）すばやい対応」（7.4%）と続いています。

1 4. 広報について

「広報かまがや」の閲読状況は「よく読んでいる」が47.4%、「ときどき読んでいる」が33.8%となっています。「読んでいる」（よく読んでいる＋ときどき読んでいる）という回答は、81.2%と高くなっています。

一方、「読んでいない」（あまり読んでいない＋読んだことがない）という回答は15.4%となっています。

「広報かまがや」の入手方法は「新聞折り込み」が75.0%と最も高くなっています。次いで、「公共施設や駅など」（5.9%）、「市のホームページ」（3.2%）と続いています。

市の広報紙やホームページから欲しい情報は、「保健・医療」が61.1%と最も高くなっています。次いで、「市政運営（計画・施策・財政状況）」（46.1%）、「公共施設の利用案内」（45.2%）と続いています。

15. 回答者について

性別にみると、「男性」41.5%、「女性」55.5%と女性のほうが高くなっています。

年代別にみると、「60代」が21.4%と最も高く、次いで「70代以上」(18.9%)、「50代」(17.8%)と続いています。

職業別にみると、「無職（専業主婦（夫）、年金受給者を含む）」が39.5%と最も高く、次いで「会社員」(24.7%)、「パート・アルバイト」(16.3%)と続いています。

就業（学）先別にみると、「東京都」が30.7%と最も高く、次いで「鎌ヶ谷市内」(21.8%)、「その他の県内市町村」(11.1%)と続いています。

居住地区別にみると、高い順に「東部地区」が23.7%、次いで「中央地区」(21.8%)、「中央東地区」(17.8%)、「南部地区」(17.7%)、「西部地区」(8.9%)、「北部地区」(6.4%)となっています。

居住年数別にみると、「20年以上」が49.4%と最も高く、次いで「10～19年」(19.1%)、「生まれたときから」(8.3%)と続いています。

居住形態別にみると、「持ち家（一戸建て）」が71.7%と最も高く、次いで「分譲マンション」(12.0%)、「民間借家・アパート」(9.9%)と続いています。

9. 質問と回答

1. 鎌ケ谷市のイメージについてお聞きします。

問1-1 あなたにとって「鎌ケ谷らしさ」を感じさせ、愛着や誇りを持つことができるものは何ですか。(〇は2つ以内) n=1,665

1. 豊かな自然 (25.9)	2. 交通の便のよさ (25.7)
3. 市街地などの街並み (4.0)	4. 名産の梨や梨ワインなどのふるさと産品 (39.9)
5. 鎌ケ谷大仏 (13.3)	6. 国史跡「下総小金中野牧跡」(1.4)
7. 市民まつりや文化祭などの催し (4.9)	8. 公民館・図書館などの公共施設 (2.8)
9. 貝柄山公園・市制記念公園 (12.3)	10. ファイターズタウン鎌ケ谷 (23.1)
11. 人とのふれあい、心のつながり (5.9)	12. その他 (2.2) 無回答 (7.1)

問1-2 あなたは、鎌ケ谷市の「イメージ」を表すとしたら、どのような表現がふさわしいと思いますか。(ア)から(カ)について、あなたのイメージに最も近いものを選んでください。(項目ごとに〇は1つずつ) n=1,665

	かなり そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	まったく そう思わない	無回答
(ア) 賑わいのあるまち	0.9	17.2	33.9	33.2	8.6	6.3
(イ) 歴史・伝統のあるまち	2.6	24.5	32.3	27.6	6.8	6.2
(ウ) 多様なまち	1.3	16.5	34.3	32.3	9.4	6.4
(エ) 成熟したまち	0.7	6.3	32.4	38.4	15.6	6.6
(オ) 洗練されたまち	0.5	4.4	25.8	40.7	22.3	6.2
(カ) 開放的なまち	1.4	19.7	38.8	26.1	8.3	5.6

問1-3 あなたは、鎌ケ谷市全体の景観について、「現在の満足度」と「今後の重要度」をどのようにお考えですか。(項目ごとに〇は1つずつ) n=1,665

	満足度					無回答
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	
(ア) 森や畑など緑の自然景観	6.8	47.9	27.1	9.1	3.8	5.3
(イ) 池や川などの水景観	1.4	12.6	44.1	24.7	10.6	6.5
(ウ) 駅前や商店街の景観	1.1	19.6	30.9	29.6	13.0	5.7
(エ) 住宅街の景観	2.0	24.1	46.8	14.4	6.0	6.6
(オ) 市役所・学校・公民館などの公共施設の景観	3.1	27.6	40.5	17.1	5.9	5.8
(カ) 以上を総合した市全体の雰囲気と景観	1.6	23.7	42.6	20.8	5.8	5.6

	重要度					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
(ア) 森や畑など緑の自然景観	40.5	34.3	11.8	2.0	1.0	10.3
(イ) 池や川などの水景観	28.0	34.1	21.3	4.0	1.4	11.2
(ウ) 駅前や商店街の景観	34.6	39.3	12.9	2.0	0.7	10.6
(エ) 住宅街の景観	19.0	36.7	28.2	3.8	0.9	11.4
(オ) 市役所・学校・公民館などの公共施設の景観	27.0	35.6	21.4	4.1	1.3	10.6
(カ) 以上を総合した市全体の雰囲気と景観	34.4	38.4	14.9	1.4	0.5	10.3

2. 住み心地についてお聞きします。

問2-1 あなたは、鎌ヶ谷市を住みよいと感じますか。(〇は1つ) n=1,665

1. 住みよい (13.8)	2. まあ住みよい (38.4)	3. 普通 (30.8)
4. やや住みにくい (10.0)	5. 住みにくい (3.4)	無回答 (3.6)

問2-2 あなたは、これからも鎌ヶ谷市に住み続けたいと感じますか。(〇は1つ) n=1,665

1. 永住したい (29.2)	2. 当分の間、住みたい (42.2)	3. できれば移転したい (10.8)
4. 移転する (1.5)	5. わからない (12.7)	無回答 (3.7)

問2-3 あなたは、ご自身の住まいをとりまく環境について、「現在の満足度」と「今後の重要度」をどのようにお考えですか。(項目ごとに〇は1つずつ) n=1,665

	満足度					
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答
(ア) 日当たり・風通し・建物のごみぐあい	20.2	45.3	15.3	11.8	3.4	4.0
(イ) 自動車・電車などの騒音や振動	15.2	35.9	18.7	17.5	8.1	4.6
(ウ) 自然環境のよさ (空気のよさ、川のきれいさなど)	6.7	36.3	34.9	12.7	4.9	4.4
(エ) 緑の多さ (公園や緑地など)	8.8	42.1	28.1	12.7	3.5	4.7
(オ) 火災・地震・水害などの防災対策	2.7	17.4	54.9	13.9	6.3	4.9
(カ) 犯罪・風紀などの防犯対策	2.3	21.4	44.3	19.8	7.1	5.0
(キ) 道路の状況 (広さや舗装など)	2.5	12.0	14.8	33.2	33.2	4.4

	満足度					
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答
(ク) 交通事故防止のための安全対策	1.2	11.1	42.2	24.1	15.9	5.5
(ケ) 電車やバスなどの交通の便利さ	10.1	34.9	20.1	19.1	11.3	4.6
(コ) 祭り、盆踊りなどの伝統的な行事	4.2	28.2	51.8	7.7	3.0	5.1
(サ) 公民館・コミュニティセンターなどの地域の集会施設	3.8	30.9	46.9	9.8	4.0	4.6
(シ) 図書館や公共ホールなどの文化施設	2.7	23.8	43.9	18.0	7.0	4.6
(ス) スポーツ・レクリエーション施設	1.3	12.1	50.0	22.9	8.8	4.9
(セ) 地域の人たちのまとまりのよさ	2.2	20.4	57.2	11.4	3.8	5.0
(ソ) 日常の買い物の便利さ	9.2	44.7	19.6	14.5	7.7	4.3
(タ) 下水や排水施設	7.6	29.8	32.3	13.2	12.4	4.7
(チ) ごみ・し尿処理	8.0	34.8	32.7	12.6	6.8	5.1
(ツ) 医院・病院などの距離や診療内容	6.3	33.9	30.5	17.7	7.1	4.5
(テ) 検診・生活習慣病（成人病）予防などの保健活動	4.9	30.3	47.4	8.5	4.0	4.9
(ト) 高齢者や障がい者などの福祉環境	2.3	13.1	60.7	14.0	5.1	4.8
(ナ) 教育施設や教育環境	1.1	15.0	60.1	13.4	5.3	5.0
(ニ) 児童遊園・児童館などの子どもの遊び場	1.5	13.8	49.9	22.2	7.8	4.8

	重要度					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
(ア) 日当たり・風通し・建物のかみぐあい	51.8	31.1	9.4	1.0	0.4	6.3
(イ) 自動車・電車などの騒音や振動	45.6	34.3	12.3	1.2	0.7	5.9
(ウ) 自然環境のよさ (空気のよさ、川のきれいさなど)	48.5	33.4	11.1	0.7	0.2	6.1
(エ) 緑の多さ（公園や緑地など）	43.5	37.3	11.1	1.2	0.6	6.3
(オ) 火災・地震・水害などの防災対策	61.1	22.9	9.1	0.5	0.4	6.0
(カ) 犯罪・風紀などの防犯対策	63.9	22.2	7.1	0.2	0.2	6.4
(キ) 道路の状況（広さや舗装など）	57.4	29.2	6.2	1.0	0.4	5.8

	重要度					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
(ク) 交通事故防止のための安全対策	52.6	30.2	9.6	0.5	0.4	6.8
(ケ) 電車やバスなどの交通の便利さ	46.6	35.9	9.5	1.6	0.4	6.1
(コ) 祭り、盆踊りなどの伝統的な行事	10.5	31.5	40.5	8.2	3.1	6.2
(サ) 公民館・コミュニティセンターなどの地域の集会施設	14.9	39.0	33.5	5.2	1.4	6.0
(シ) 図書館や公共ホールなどの文化施設	20.1	41.5	28.3	2.9	1.1	6.0
(ス) スポーツ・レクリエーション施設	15.7	37.4	35.4	4.0	1.6	6.0
(セ) 地域の人たちのまとまりのよさ	21.3	35.0	33.3	2.8	1.1	6.5
(ソ) 日常の買い物の便利さ	42.9	39.7	10.3	1.1	0.3	5.8
(タ) 下水や排水施設	46.8	31.9	14.3	0.7	0.2	6.1
(チ) ごみ・し尿処理	47.4	32.4	13.2	0.7	0.2	6.1
(ツ) 医院・病院などの距離や診療内容	56.0	27.4	10.0	0.5	0.2	5.9
(テ) 検診・生活習慣病（成人病）予防などの保健活動	41.1	32.7	19.0	1.1	0.2	5.8
(ト) 高齢者や障がい者などの福祉環境	43.4	30.5	19.3	0.7	0.5	5.6
(ナ) 教育施設や教育環境	42.4	30.0	20.4	0.9	0.5	5.8
(ニ) 児童遊園・児童館などの子どもの遊び場	36.6	35.1	20.4	1.5	0.6	5.8

問2-4 あなたは**現在**、日常の生活行動をどのようにしていますか。(ア)から(ク)についてあてはまる生活圏をお聞かせください。(項目ごとに○は1つずつ) n=1,665

現在の日常生活	主に鎌ヶ谷市内	主に松戸市	主に柏市	主に船橋市	主に市川市	主に白井市	主に習志野市	主に千葉市	主に東京都	その他	無回答
(ア) 日用品の購入	74.7	6.7	0.4	5.4	0.2	5.9	0.2	0.1	0.6	2.4	3.3
(イ) 食料品の購入	73.6	7.0	0.7	6.8	0.2	6.9	0.1	0.2	0.2	1.3	2.9
(ウ) 高級品や流行品の購入	8.1	4.1	4.9	38.7	0.2	1.7	0.8	0.8	22.7	10.8	7.1
(エ) 家電製品や家具などの購入	27.7	4.9	3.9	19.4	0.2	20.7	0.8	0.6	5.3	11.7	4.7
(オ) コンサート・演劇などの鑑賞	3.2	6.9	0.8	6.1	1.5	1.9	1.7	0.9	52.4	17.0	7.6
(カ) レストランなどでの 夕食や宴会	38.8	8.8	2.6	19.8	1.0	3.0	0.5	0.8	14.4	5.8	4.6
(キ) スポーツ・レクリエー ション施設の利用	39.6	4.7	1.8	11.2	1.4	2.8	0.2	0.8	6.8	22.1	8.6
(ク) 通院や治療など	69.0	5.2	1.2	11.3	0.6	1.7	0.5	0.2	4.3	2.9	3.1

問2-5 あなたは**将来**、日常の生活圏をどのようにしたいと思いますか。(ア)から(ク)について「こうしたい」と思う生活圏をお聞かせください。(項目ごとに○は1つずつ) n=1,665

将来の日常生活	主に鎌ヶ谷市内	主に松戸市	主に柏市	主に船橋市	主に市川市	主に白井市	主に習志野市	主に千葉市	主に東京都	その他	無回答
(ア) 日用品の購入	87.4	2.8	0.2	2.5	0.1	1.4	0.1	0.1	1.1	0.8	3.4
(イ) 食料品の購入	87.0	2.6	0.2	3.3	0.2	1.3	0.1	0.1	1.0	1.0	3.3
(ウ) 高級品や流行品の購入	36.9	2.0	2.8	22.6	0.1	0.8	0.5	0.4	18.6	9.1	6.1
(エ) 家電製品や家具などの購入	61.4	2.7	1.9	10.6	-	6.5	0.3	0.2	4.8	7.1	4.4
(オ) コンサート・演劇などの鑑賞	39.2	3.8	0.5	5.8	0.4	0.8	0.5	0.1	31.9	10.4	6.4
(カ) レストランなどでの 夕食や宴会	65.7	3.2	0.8	9.0	0.3	1.3	0.3	0.2	10.0	4.6	4.5
(キ) スポーツ・レクリエー ション施設の利用	73.4	1.7	0.3	4.6	0.2	0.7	0.1	0.1	4.0	8.3	6.5
(ク) 通院や治療など	85.3	1.9	0.1	5.2	-	0.6	0.1	0.1	1.9	1.2	3.6

問2-6 あなたは、現在お住まいの地域を、将来に向けてどのような地域にしていくべきだとお考えですか。(○は1つ) n=1,665

1. 小規模な商店街や公園などが適度に配置された、落ち着いたある住宅地区 (44.6)	
2. 魅力のある大型店や活気あふれる商店街のある商業地区 (19.6)	
3. 工業や商業の活発な産業地区 (1.7)	
4. 豊かな自然と農業が調和した田園地区 (10.2)	
5. 文化施設が多く、生涯学習活動が盛んな文教地区 (9.4)	
6. 健康的でふれあい豊かなスポーツ・レクリエーション地区 (7.0)	
7. その他 (2.5)	無回答 (5.0)

3. 地域活動についてお聞きします。

問3-1 あなたは、隣近所と日頃どの程度のお付き合いをしていますか。(○は1つ) n=1,665

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 家族ぐるみの付き合いをしている (4.4) | 2. お互いに行き来し、お茶を飲んだりする (5.9) |
| 3. 何か困った時に、助け合える (13.2) | 4. たまに立ち話をする (24.6) |
| 5. 顔をあわせた時、あいさつする (44.8) | 6. 近所付き合いはない (4.7) |
| 7. わからない (0.3) | 無回答 (2.0) |

問3-2 あなたは、近所付き合いや地域のまちづくり活動について、どのようにお考えですか。
(○は1つ) n=1,665

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 必要だと思う (45.7) | 2. どちらかといえば必要 (41.9) |
| 3. どちらかといえば必要ない (4.3) | 4. 全く必要ない (0.7) |
| 5. わからない (5.9) | 無回答 (1.4) |

問3-3 あなたは、地域活動に参加していますか。(この1年間に参加したもの全てに○) n=1,665

- | |
|----------------------------------------|
| 1. 町内会・自治会活動 (31.7) |
| 2. 祭り・盆踊りなどの地域行事 (26.5) |
| 3. 道路・公園清掃など環境美化運動 (29.2) |
| 4. 防火・防災などの自主防災活動 (7.8) |
| 5. 芸術・文化などのグループ活動 (6.1) |
| 6. 交通安全活動 (3.4) |
| 7. 自然保護・地球温暖化防止活動 (0.9) |
| 8. 国際交流・国際協力活動 (0.9) |
| 9. 安全食品購入活動など消費者運動 (1.1) |
| 10. 高齢者・障がい者支援のボランティア活動 (4.3) |
| 11. 子ども会や少年スポーツチームの世話など青少年健全育成活動 (3.3) |
| 12. スポーツ・レクリエーションなどのグループ活動 (6.7) |
| 13. 廃品回収・不用品交換などのリサイクル活動 (16.0) |
| 14. 地域の福祉活動 (3.3) |
| 15. その他 (1.0) |
| 16. いずれにも参加していない (33.3) |
| 無回答 (5.5) |

→ 問3-3-1 [問3-3で16. いずれにも参加していないと回答した方にお伺いします]

地域活動に参加されなかった主な理由は何ですか。(○は3つ以内) n=554

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 仕事が忙しい (51.8) | 2. 活動内容が分からない (32.3) |
| 3. ひとりでは参加しづらい (24.0) | 4. 活動する場がない (13.2) |
| 5. 健康に自信がない (9.7) | 6. 子どもが小さい(手がかかる) (6.0) |
| 7. 病人がいる (5.1) | 8. 家族の協力が得られない (0.5) |
| 9. 人間関係がわずらわしそうだ (18.4) | 10. 地域活動には関心がない (13.7) |
| 11. その他 (9.7) | 無回答 (0.4) |

問3-4 あなたは、地域のまちづくりについてどのようにお考えですか（○は1つ） n=1,665

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| 1. 地域は生活のよりどころなので、積極的に参加する (9.2) | |
| 2. わずらわしくない程度に参加する (57.3) | |
| 3. 地域のまちづくり活動は熱心な人たちに任せる (16.3) | |
| 4. 地域のまちづくり活動に特に期待することはない (5.7) | |
| 5. まちづくりは行政がやることである (4.7) | |
| 6. その他 (2.3) | 無回答 (4.4) |

問3-5 あなたは、今後、まちづくり活動に参加したいと思いますか。（○は1つ） n=1,665

- | | | |
|-----------------|-------------------|------------|
| 1. 参加したい (44.9) | 2. 参加したくない (35.9) | 無回答 (19.2) |
|-----------------|-------------------|------------|

→ 問3-5-1 [問3-5で1. 参加したいと回答した方にお伺いします]

あなたご自身ができるまちづくり活動を次の中から選んでください。

(○は2つ以内)

n=748

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| 1. 地域の行事に参加する (40.1) | |
| 2. 婦人会・老人会などの地域団体に加入する (4.1) | |
| 3. 町内会や自治会などの役員を快く引き受ける (6.7) | |
| 4. 地域のボランティア活動に参加する (19.7) | |
| 5. 地域問題の解決を市役所に働きかける (5.5) | |
| 6. 市議会や市役所の動向に関心を持つ (13.9) | |
| 7. 審議会の委員などになって、直接市政に参加する (2.3) | |
| 8. 違法駐車・駐輪などのルール違反をしない (27.8) | |
| 9. 騒音・汚水を出さないなど、環境保全を心がける (30.7) | |
| 10. 近所付き合いを活発にする (18.3) | |
| 11. その他 (1.3) | 無回答 (0.8) |

4. 市政についてお聞きします。

問4-1 市政について不満や納得できないこと、あるいは要望などがありますか。（○は1つ）

n=1,665

- | | | | |
|--------------|----------------|-----------------|------------|
| 1. ある (31.1) | 2. 特にない (33.7) | 3. わからない (25.3) | 無回答 (10.0) |
|--------------|----------------|-----------------|------------|

問4-2 あなたは、市へ意見や要望を伝える場合、どのような方法で伝えますか。（○は2つ以内）

n=1,665

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 市役所の窓口に行く (30.3) | 2. 担当部署に電話を入れる (27.3) |
| 3. 市長へ手紙を出す (1.9) | 4. 電子メールを出す (8.2) |
| 5. 陳情や請願を行う (0.9) | 6. 議員を通じて伝える (6.4) |
| 7. 町内会や自治会の役員を通じて伝える (14.2) | 8. 意見や要望はあっても伝えていない (27.2) |
| 9. その他 (2.0) | 無回答 (5.9) |

問4-3 あなたは、鎌ヶ谷市は市民の意見や要望を市政に反映していると思いますか。（○は1つ）

n=1,665

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. よく反映している (1.3) | 2. ある程度反映している (24.7) |
| 3. あまり反映していない (19.6) | 4. 全く反映していない (6.4) |
| 5. わからない (44.2) | 無回答 (3.8) |

問4-4 あなたは、市政に関する情報をどのようなものから得ていますか。(○は2つ以内)

n=1,665

- | | |
|----------------------------------------|-------------------------|
| 1. 広報かまがや (79.2) | 2. 市のホームページ (13.3) |
| 3. かまがや市民便利帳 (2.4) | 4. 市議会だより (9.3) |
| 5. 市で発行している印刷物
(パンフレット、チラシなど) (6.3) | 6. 市の公式ツイッター (0.4) |
| 7. 回覧板 (36.9) | 8. 町内会、自治会などの集まり (2.6) |
| 9. 一般新聞 (3.7) | 10. コミュニティの新聞や情報誌 (2.8) |
| 11. 知人 (4.2) | 12. 市役所に直接聞く (1.5) |
| 13. その他 (1.8) | 無回答 (3.4) |

問4-5 あなたは、市政に関する情報を十分に得られていると思いますか。(○は1つ) n=1,665

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 得られている (1.8) | 2. ある程度得られている (36.4) |
| 3. あまり得られていない (38.3) | 4. 全く得られていない (7.0) |
| 5. わからない (12.8) | 無回答 (3.7) |

問4-6 あなたは、ご自身が市政に参加することについてはどう思われますか。(○は1つ)

n=1,665

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 積極的に参加したいと思う (2.5) | 2. ある程度は参加したいと思う (23.8) |
| 3. あまり参加するつもりはない (44.6) | 4. 全く参加するつもりはない (10.0) |
| 5. わからない (15.0) | 無回答 (4.1) |

→ 問4-6-1 [問4-6で「参加したい(1または2)」と回答した方にお伺いします]

具体的にどのような方法で市政に参加したいと思いますか。(○は1つ) n=438

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| 1. 市の審議会に参加したい (6.6) | 無回答 (8.0) |
| 2. 市長との対話集会があれば参加したい (13.0) | |
| 3. 苦情・陳情などにより個人的に参加したい (7.8) | |
| 4. 各種の委員などを引き受けることにより参加したい (4.8) | |
| 5. アンケート調査などを通じて参加したい (53.0) | |
| 6. コミュニティセンターなど集会施設の管理や運営に参加したい (4.3) | |
| 7. その他 (2.5) | |

5. 日常生活についてお聞きします。

問5-1 あなたは、余暇時間をどのように過ごしていますか。(○は2つ以内)

n=1,665

- | | |
|----------------------------------------------|-----------|
| 1. 自宅で趣味を楽しむことが多い (31.3) | |
| 2. 自宅外で趣味やサークル活動を楽しむことが多い (21.1) | |
| 3. 自宅でテレビなどを観て、のんびり過ごすことが多い (47.1) | |
| 4. 家族と団らんして過ごすことが多い (26.3) | |
| 5. 友人や知人と過ごすことが多い (17.5) | |
| 6. 仕事に役立つ勉強などを行うことが多い (4.4) | |
| 7. スポーツをすることが多い (12.6) | |
| 8. 町内会・自治会などの地域活動やボランティア活動などに参加することが多い (2.6) | |
| 9. 創作・教養などの講座に参加することが多い (1.7) | |
| 10. その他 (3.1) | 無回答 (0.8) |

問5-2 あなたは、次の中でこの1年間、継続して行っているものがありますか。

(行っているもの全てに○)

また、今後やってみたい学習や文化・スポーツ活動はありますか。

(これからやってみたいと思うもの全てに○)

n = 1,665

	この1年間、 継続して行っ ているもの	今後やって みたい 学習や文化・ スポーツ活動
(ア) 知識・技術の習得や資格取得活動 (パソコン・ワープロ、外国語、簿記など)	12.4	24.2
(イ) 家庭生活に役立つ学習 (食生活、健康管理、住まいやインテリア、被服など)	9.4	19.8
(ウ) 社会問題に関する学習 (環境問題、福祉問題、消費者問題、政治・経済など)	4.5	9.4
(エ) 地域活動やボランティア活動	7.3	10.6
(オ) 一般教養を身につける学習(文学、歴史、地理など)	6.5	13.0
(カ) スポーツ・レクリエーション活動	21.4	26.4
(キ) 趣味や稽古事 (音楽、絵画、書道、茶道、陶芸、園芸など)	22.4	29.6
(ク) その他の活動や学習 ()	2.2	1.9
(ケ) 何もしていなかった(何もする予定はない)	32.2	11.8
無回答	12.7	18.3

6. 鎌ヶ谷市の施策についてお聞きします。

問6-1 あなたは、5年前に比べて、現在の鎌ヶ谷市の行財政運営はどの程度進んだと思いますか。
(項目ごとに、あなたの評価に近い番号に1つずつ○) n=1,665

	よくなった	ややよくなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	わからない	無回答
(ア) 市政への参加の機会 (各種審議会、タウン・ミーティングなど)	1.7	10.5	28.0	0.5	0.5	53.3	5.5
(イ) 市政情報の提供・公開	3.0	20.8	29.2	0.7	0.7	40.7	5.0
(ウ) 地域での市民活動の機会や施設	1.5	15.1	32.6	1.2	0.6	43.5	5.5
(エ) 市民の意向の市政への反映	1.3	12.1	31.2	1.4	1.3	47.3	5.5
(オ) 行政組織の簡素化や事務の合理化	2.0	14.1	26.8	1.1	1.3	49.3	5.5
(カ) 市職員の市民への対応	6.2	18.1	30.3	2.1	2.2	37.4	3.7

問6-2 あなたは、鎌ヶ谷市の施策・サービスについて、「現在の満足度」と「今後の重要度」をどのようにお考えですか。(項目ごとに○は1つずつ) n=1,665

	満足度					
	満足している	まあ満足している	いえない どちらとも	やや不満である	不満である	無回答
1. 都市の骨格づくり						
①既成市街地の整備・再開発	1.4	18.8	46.8	18.6	8.9	5.5
②新しい市街地の整備	2.3	28.6	46.8	12.4	4.4	5.5
③駅周辺の整備	4.3	31.4	28.0	20.7	10.8	4.9
④公園や緑地、街路樹などの整備	2.5	26.2	40.2	18.7	7.7	4.7
⑤公共交通体系の整備 (鉄道、バスなど)	4.4	29.1	32.7	19.0	9.9	4.9
⑥河川や水路の整備	1.4	12.4	59.8	14.8	6.4	5.3
⑦下水道の整備	4.7	23.1	41.5	14.1	12.3	4.3
⑧道路の整備	1.9	13.0	27.4	28.5	24.8	4.3
2. 生活環境の向上						
①市営住宅などの住宅対策	1.3	7.6	75.4	5.0	3.5	7.2
②ごみ・し尿処理対策	5.7	31.8	41.5	10.6	5.4	5.0
③環境衛生の充実 (害虫などの駆除)	1.6	15.1	60.3	12.5	4.7	5.7
④大気汚染・振動・騒音などの対策	1.5	16.0	53.9	15.7	7.7	5.2
⑤交通安全対策	1.9	16.9	50.8	17.2	8.0	5.2
⑥消防力の充実	3.5	22.3	62.4	4.1	2.3	5.3
⑦地震などの防災対策	2.2	12.9	63.7	11.3	4.7	5.2
⑧防犯対策	2.0	14.4	55.9	15.2	7.0	5.6
⑨美しい街並みの創造	1.5	14.5	53.6	17.2	8.2	5.1

	満足度					
	満足している	まあ満足している	どちらとも いえない	やや不満である	不満である	無回答
3. 福祉・保健の充実						
①地域ぐるみの福祉活動の充実	1.1	14.1	69.2	6.2	2.6	6.7
②高齢者福祉の充実	1.7	13.6	63.5	11.2	3.8	6.1
③児童福祉の充実	1.1	11.2	65.9	10.4	3.7	7.7
④障がい者（児）福祉の充実	0.7	9.0	70.8	8.2	3.3	8.0
⑤低所得者福祉の充実	1.0	5.8	71.8	9.3	4.3	7.8
⑥母子（父子）福祉の充実	0.8	6.8	74.9	6.8	2.7	8.0
⑦保健・医療の充実	2.2	19.9	49.3	15.6	6.4	6.6
4. 教育・文化の向上						
①教育内容・施設の充実	1.0	13.6	61.5	11.5	4.1	8.4
②生涯学習の充実	1.1	13.5	67.1	7.6	2.3	8.3
③青少年の健全育成	1.0	8.7	70.8	8.6	2.3	8.6
④芸術・文化の振興	0.7	8.9	66.4	11.8	3.8	8.3
⑤スポーツ・レクリエーションの振興	0.8	11.1	63.7	12.5	3.8	8.2
⑥幼児教育の充実	0.8	10.0	68.5	8.7	3.2	8.8
⑦児童生徒の健康と安全の確保	1.0	12.4	65.1	9.4	3.8	8.3
⑧高等教育の充実	0.8	8.8	68.8	9.6	3.2	8.8
5. 産業分野の振興						
①魅力ある商店街づくり	1.0	11.1	41.9	27.6	11.2	7.3
②農業の振興	1.3	11.2	68.0	8.3	2.6	8.5
③農業への理解とふれあいの拡大	1.0	9.3	68.6	10.2	2.2	8.7
④市街地内の工場の適地への誘導	0.7	4.9	72.1	9.8	3.6	8.8
⑤立地を生かした新産業の誘導	0.8	5.2	64.3	15.1	5.4	9.2
⑥中小企業への融資などの強化	0.5	4.2	73.7	8.6	3.7	9.3
⑦消費者の保護	0.8	6.9	68.6	10.7	4.1	8.9
6. 市民活動・行政運営						
①コミュニティづくり	1.7	14.9	67.0	6.2	1.6	8.6
②地域の情報化の推進	1.1	14.2	64.9	9.0	1.8	8.9
③男女共同参画社会の形成	0.7	8.0	75.5	5.0	1.3	9.4
④国際化の促進	0.5	6.1	74.4	7.3	2.3	9.5
⑤地方分権と市民参加の推進	0.4	6.6	75.1	6.8	1.4	9.5
⑥効率的で健全な行財政運営	0.8	8.9	68.2	9.8	3.1	9.1
⑦広域行政の推進	0.8	7.3	72.3	7.4	2.8	9.4

	重要度					
	重要である	やや重要である	どちらとも いえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
1. 都市の骨格づくり						
①既成市街地の整備・再開発	31.1	39.0	21.4	1.9	0.4	6.3
②新しい市街地の整備	29.2	36.0	24.1	3.1	1.0	6.5
③駅周辺の整備	43.9	36.6	12.0	1.1	0.3	6.1
④公園や緑地、街路樹などの整備	33.6	42.6	16.2	1.4	0.2	5.9
⑤公共交通体系の整備（鉄道、バスなど）	43.5	35.3	14.1	1.0	0.4	5.8
⑥河川や水路の整備	28.8	34.6	27.9	1.7	0.6	6.4
⑦下水道の整備	43.1	31.2	18.1	1.3	0.3	6.0
⑧道路の整備	56.5	28.1	9.3	0.4	0.4	5.2
2. 生活環境の向上						
①市営住宅などの住宅対策	17.2	24.0	44.7	4.4	2.0	7.6
②ごみ・し尿処理対策	41.4	34.1	17.2	0.7	0.3	6.3
③環境衛生の充実（害虫などの駆除）	31.1	36.8	24.6	1.0	0.2	6.4
④大気汚染・振動・騒音などの対策	40.7	34.1	18.0	1.1	0.2	6.0
⑤交通安全対策	47.0	32.0	14.0	0.6	0.3	6.2
⑥消防力の充実	41.2	33.2	18.6	0.7	0.2	6.2
⑦地震などの防災対策	51.9	27.6	14.1	0.4	0.2	5.8
⑧防犯対策	53.3	29.0	11.2	0.5	0.2	5.8
⑨美しい街並みの創造	31.8	36.9	22.2	2.3	0.6	6.1
3. 福祉・保健の充実						
①地域ぐるみの福祉活動の充実	22.6	37.4	28.1	1.9	0.6	9.3
②高齢者福祉の充実	35.8	36.6	17.4	1.0	0.6	8.6
③児童福祉の充実	34.1	34.1	20.9	1.1	0.4	9.5
④障がい者（児）福祉の充実	32.1	33.8	22.9	0.9	0.7	9.7
⑤低所得者福祉の充実	27.6	30.5	28.7	2.6	1.1	9.6
⑥母子（父子）福祉の充実	27.7	31.9	28.2	1.7	0.7	9.7
⑦保健・医療の充実	48.5	30.2	11.8	0.5	0.1	8.8
4. 教育・文化の向上						
①教育内容・施設の充実	32.9	32.3	24.1	0.9	0.1	9.7
②生涯学習の充実	19.5	34.0	34.1	2.2	0.6	9.7
③青少年の健全育成	27.2	33.0	28.5	1.1	0.4	9.8
④芸術・文化の振興	16.6	30.9	38.6	3.2	0.8	9.9
⑤スポーツ・レクリエーションの振興	16.8	33.3	36.5	2.9	0.8	9.7
⑥幼児教育の充実	27.4	32.7	27.9	1.4	0.7	9.8
⑦児童生徒の健康と安全の確保	36.4	31.7	20.8	1.0	0.3	9.8
⑧高等教育の充実	25.9	31.9	29.7	1.9	0.5	10.1

	重要度					
	重要である	やや重要である	どちらとも いえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
5. 産業分野の振興						
①魅力ある商店街づくり	30.2	38.0	20.4	1.5	0.4	9.5
②農業の振興	18.9	33.1	34.4	2.6	0.9	10.0
③農業への理解とふれあいの拡大	16.7	29.6	39.6	3.1	1.0	10.1
④市街地内の工場の適地への誘導	14.9	25.0	43.4	4.7	1.7	10.3
⑤立地を生かした新産業の誘導	21.0	31.2	33.5	3.2	0.9	10.3
⑥中小企業への融資などの強化	17.6	25.8	42.6	2.5	0.8	10.7
⑦消費者の保護	27.4	33.0	28.0	0.9	0.2	10.4
6. 市民活動・行政運営						
①コミュニティづくり	16.0	34.2	37.2	1.6	0.7	10.3
②地域の情報化の推進	16.9	34.5	36.3	1.3	0.5	10.5
③男女共同参画社会の形成	11.4	26.8	47.2	2.6	1.3	10.8
④国際化の促進	11.8	23.6	46.2	5.4	2.2	10.8
⑤地方分権と市民参加の推進	13.9	26.7	46.3	1.4	0.8	10.8
⑥効率的で健全な行財政運営	29.8	28.3	30.9	0.6	0.2	10.2
⑦広域行政の推進	18.4	28.2	41.3	1.3	0.4	10.5

7. 行政サービスについてお聞きします。

問7-1 あなたは、より効果的で効率的な行政サービスを行うために、「行政サービス」と「市民の費用負担」の関係についてどのようにお考えですか。(○は1つ) n=1,665

1. 行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない (11.8)	
2. 現在の行政サービスを維持するためには、多少負担が増えても構わない (21.0)	
3. 行政サービスが低下しても、負担が増えないほうがよい (6.7)	
4. 効果が低い行政サービスを廃止して、負担を減らしてほしい (36.9)	
5. わからない (16.2)	無回答 (7.4)

問7-2 これからの地域社会では、行政と家庭や地域コミュニティ、ボランティア、NPO（民間非営利団体・組織）などとの適切な役割分担のもとに、まちづくりを進めていくことが重要です。

あなたは、次の項目について最も適切な役割分担はどれだとお考えですか。

(項目ごとに、あなたの考えに近い番号に1つずつ○)

n=1,665

	全て行政が実施する	主には行政が実施し、家庭・地域などは協力する	行政・家庭・地域などが、状況に応じて互いに相談して実施する	政は協力する 主に家庭・地域などが実施し、行政は協力する	全て家庭・地域などが実施する	無回答
(ア) 高齢者・障がい者のお世話などの福祉活動	6.0	38.7	44.1	5.6	0.7	4.9
(イ) 乳幼児や放課後児童の見守りなどの子育て支援活動	3.9	29.0	43.8	15.1	1.9	6.2
(ウ) ごみの減量や空き缶回収などのリサイクル活動	8.5	36.8	28.8	17.3	3.1	5.6
(エ) スポーツや学習活動の企画・運営	9.7	30.3	36.7	12.6	3.5	7.1
(オ) コミュニティセンターや公民館などの施設管理・運営	25.0	37.7	24.4	5.9	0.9	6.1
(カ) 地域の防犯・防災活動	7.9	43.2	34.0	8.2	1.0	5.8
(キ) 公園の除草や清掃活動	13.0	39.2	30.0	10.6	1.6	5.6
(ク) 道路・河川などの清掃活動	21.4	41.4	24.4	5.9	0.8	6.1
(ケ) 自然保護・地球温暖化防止活動	18.6	43.8	26.6	4.2	0.7	6.1
(コ) 青少年の健全育成活動	8.9	36.6	36.9	9.4	2.0	6.1

8. 防災対策についてお聞きします。

問8-1 東日本大震災を受け、市では「地震に強いまちづくり」に取り組んでいます。
あなたは、市が行う防災対策として、どのような施策を重視すべきとお考えですか。
(第1位から第3位までの順位をつけて、番号を記入) n=1,665

	1位	2位	3位
1. 非常用の食糧・飲料水などの応急物資の確保	39.3	18.4	11.5
2. 非常用トイレの確保など衛生対策の充実	6.4	22.3	14.1
3. 救急・救助・医療体制の充実	16.3	19.8	18.3
4. 避難所の設備の充実	12.4	12.4	12.1
5. 避難場所・避難所の周知	5.2	4.0	4.9
6. 災害に関する情報提供の充実	2.9	3.8	5.7
7. 住宅・公共施設など建物の耐震化の促進	5.5	4.1	5.7
8. 道路など交通施設の耐震性の向上	1.4	2.3	3.5
9. 災害時要援護者（高齢者・障がい者など）の支援対策	1.3	2.4	7.6
10. 自主防災組織の強化	1.3	1.2	1.7
11. 帰宅困難者への対策	0.7	1.2	1.8
12. 防災意識の啓発	2.0	1.6	2.5
13. 応援協定締結（民間企業・各種団体・遠隔市など）の充実	0.5	1.5	5.4
14. その他	0.1	0.1	0.1
無回答	4.6	4.9	5.1

問8-2 あなた自身、もしくはあなたが同居している家族に介護・介助が必要な人、障がいのある人がいる場合、大震災などの災害が起こった時に、介護・介助が必要な人向けの避難所の必要性についてどのようにお考えですか。(○は1つ) n=1,665

1. 通常の避難所で生活した方がいい (8.3)	
2. 介護・介助が必要な人だけの福祉的な避難所に避難したい (49.3)	
3. 避難はしないと思う (6.2)	
4. その他 (1.1)	
5. 介護・介助が必要な人はいないのでわからない (30.8)	無回答 (4.4)

問8-3 避難時にあなたの家族以外の手助けが必要な人に対して、どのような協力ができそうだと思いますか。(協力ができそうだと思うもの全てに○) n=1,665

1. 「大丈夫ですか」などの声かけ (78.7)	2. 避難の手助け (61.9)	
3. 家族や親族・知人への連絡 (54.4)	4. 災害状況や避難情報などの伝達 (40.2)	
5. 一時的な保護・預かり (20.9)	6. 介助や応急手当 (19.7)	
7. 相談相手や話し相手になる (39.5)	8. 外国人への通訳・情報提供 (3.4)	
9. オムツ・ミルクなどの必需品の確保 (7.7)	10. その他 (0.8)	
11. 協力ができそうにない (1.6)	12. わからない (2.6)	無回答 (3.5)

問8-4 あなたは、住宅用火災警報器の設置が義務付けされたことを知っていますか。また、ご家庭で設置していますか。(○は1つ) n=1,665

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| 1. 知っているし、設置もしている (61.3) | |
| 2. 知っているが、設置していない (22.2) | |
| 3. 知らないが、設置してある(元から設置してあった) (3.9) | |
| 4. 知らないし、設置もしていない (4.8) | |
| 5. わからない (3.0) | 無回答 (4.8) |

→ 問8-4-1 [問8-4で「2. 知っているが、設置していない」、「4. 知らないし、設置もしていない」と回答した方にお伺いします。]

住宅用火災警報器を設置していない理由をお聞かせください。

(該当するもの全てに○)

n=449

- | | |
|--------------------------------------------|-----------|
| 1. 設置の義務化を知らなかった (18.3) | |
| 2. 設置方法がわからない (14.5) | |
| 3. 購入方法がわからない (8.2) | |
| 4. 借家のため自分で設置してよいかわからない(家主が設置してくれない) (4.9) | |
| 5. 価格が高い (18.5) | |
| 6. 住宅用火災警報器がどういうものかわからない (9.1) | |
| 7. 特に罰則があるわけではないから (14.0) | |
| 8. 現在は設置していないが、近いうちに設置する予定 (49.7) | |
| 9. その他 (8.7) | 無回答 (0.7) |

9. 魅力あるまちづくり・都市基盤整備についてお聞きします。

問9-1 あなたは、新鎌ヶ谷地区の今後の方向性についてどのような期待をしていますか。

(○は2つ以内)

n=1,665

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 企業の事務所などの集積 (23.4) | 2. 市外からの訪問者の増加 (22.8) |
| 3. 日用品の購入 (30.5) | 4. レストランなどでの外食や宴会 (22.4) |
| 5. 娯楽施設などのレクリエーション (32.1) | 6. 祭りやイベントなどの開催 (17.4) |
| 7. その他 (5.2) | 無回答 (6.2) |

問9-2 あなたは、国史跡「下総小金中野牧跡」について、次のうちどれにあてはまりますか。

(○は1つ)

「下総小金中野牧跡」は、江戸幕府が軍馬需要をまかなうために設置した小金牧の1つで、中野牧の遺構です。平成19年2月6日に国史跡に指定され、市の貴重な地域資源となっています。

n=1,665

- | | |
|-------------------------------------------------------|-----------|
| 1. 名前だけは知っている (27.1) | |
| 2. 場所を知っているまたは、行ったことがある (11.4) | |
| 3. 国史跡のイベントや講座に参加したことがある (1.0) | |
| 4. 国史跡のイベントや講座に参加しており、その歴史についても知っている (0.8) | |
| 5. 国史跡があるのは知らなかったが、機会があれば見てみたい(イベントなどに参加してみたい) (21.9) | |
| 6. 知らない(興味がない) (33.6) | 無回答 (4.3) |

問9-3 あなたは、国史跡「下総小金中野牧跡」について、今後、活用を図るため、どのような取り組みを進めていく必要があると思いますか。(〇は2つ以内) n=1,665

1. 史跡や地域の歴史を学ぶ場とする (44.9)	
2. ふるさと意識を育む場とする (18.0)	
3. 市民の文化的活動やふれあいの場とする (20.4)	
4. 緑を保全する場とする (34.4)	
5. 地域の活性化を図り、地域間交流を深める場とする (9.1)	
6. その他 (5.2)	無回答 (8.2)

問9-4 鎌ヶ谷市では、平成26年4月開設に向け、きらり鎌ヶ谷市民会館（文化センター）の整備を行っています。

あなたは、きらり鎌ヶ谷市民会館にどのようなことを期待しますか。(項目ごとに〇は1つずつ)

きらり鎌ヶ谷市民会館（文化センター）は、540人が収容できるきらりホール（文化ホール）をはじめ、中央公民館、（仮称）多文化共生センター、男女共同参画推進センター、市民活動推進センター、中央地区社会福祉協議会などの機能を持つ総合的な施設です。

n=1,665

	観に行きたい	発表・開催したい	イベントサポーターとして参加したい	無回答
(ア) 演劇・ミュージカル・人形劇	73.8	1.5	2.8	22.0
(イ) 音楽演奏などの各種演奏会	74.7	2.8	2.7	19.9
(ウ) 映画鑑賞	79.3	0.5	1.3	18.9
(エ) 講演会・研修会	63.8	3.1	4.3	28.9
(オ) 保育園、幼稚園、小中学校などの各種発表会	57.2	3.5	5.6	33.6
(カ) 美術・芸術展示	67.6	3.3	3.4	25.7
(キ) 公民館まつり	61.2	2.6	5.2	31.1

問9-5 道路には、国道464号のような幅の広い幹線道路から、市民の生活に密着した身の回りの生活道路までがあります。

あなたは、道路整備について、どのような整備を優先すべきとお考えですか。

(第1位から第3位までの順位をつけて、番号を記入)

n=1,665

	1位	2位	3位
1. 国道・県道（大型車等の通行が多い道路）の歩道整備や道路拡幅など	22.3	9.1	10.5
2. 都市計画道路（新たに整備する道幅の広い道路）の整備	4.9	7.9	10.0
3. 主要な市道（道幅8m以上の道路）の歩道整備による歩行者の安全性の確保	32.1	27.0	12.3
4. 主要な市道（道幅8m以上の道路）の交差点の改良による渋滞緩和や安全性の確保	11.4	20.5	15.6
5. その他の市道（道幅4～5m程度の道路）の排水、交差部のすみ切り、車のすれ違いのための待避所などの整備による安全性や利便性の確保	16.0	17.8	18.9
6. 私道の舗装整備	2.2	4.1	5.8
7. 傷んだ市道（道幅は問わない）の維持・修繕	5.9	8.2	20.1
無回答	5.0	5.5	6.8

10. 少子・高齢化対策についてお聞きします。

問10-1 あなたは、子どもが健やかに育てられる環境を整備するために、どのような施策が必要だと思いますか。(第1位から第3位までの順位をつけて、番号を記入) n=1,665

	1位	2位	3位
1. 待機児童解消に向けた保育サービスの拡充	34.5	11.1	8.5
2. 一時保育、延長保育などの多様な保育サービスの充実	12.6	26.8	10.9
3. 子どもの医療費助成などの経済的支援の充実	20.8	14.9	14.7
4. 地域における子育て支援の充実	7.0	9.5	12.0
5. 子育てに関する情報提供の充実	3.0	4.9	5.9
6. 児童センターなどの子どもが安全に過ごせる環境の整備	7.0	13.5	18.1
7. 児童虐待防止に向けた取り組みの充実	4.8	5.7	8.7
8. 放課後児童クラブの充実	2.6	5.5	11.8
9. その他	0.9	0.4	0.4
無回答	6.8	7.7	9.0

問10-2 あなたは、ご自身の健康に満足していますか。(○は1つ) n=1,665

1. はい (55.4)	2. いいえ (28.6)	無回答 (16.0)
--------------	---------------	------------

問10-3 少子高齢社会では、「健康寿命(健康で活動的に暮らせる期間)」を延ばしていくことが大切です。

あなたは、市民が健康を維持するために、どのような施策が必要だと思いますか。

(第1位から第3位までの順位をつけて、番号を記入) n=1,665

	1位	2位	3位
1. 病気や健康づくりに関するパンフレットなど各種情報の提供	10.3	5.9	9.5
2. 病気や健康づくりに関する相談・指導体制の充実	13.9	18.9	21.1
3. 病気や健康づくりに関する講演会や講座の充実	3.2	6.9	7.5
4. 日常の健康づくりの場の確保	23.4	17.7	15.1
5. がん検診・健診の実施、内容の拡充	39.2	21.1	10.0
6. 健診の結果に応じた保健指導の実施	4.5	22.3	27.3
7. その他	0.4	0.5	1.0
無回答	5.2	6.8	8.5

問10-4 高齢化が進む中では、日常的な交通手段の確保が重要です。

あなたは、コミュニティバス「ききょう号」を利用したことがありますか。(○は1つ)

n=1,665

1. 週に1回以上乗る (0.9)	2. 月に1~3回乗る (2.3)	
3. 半年に3~5回乗る (2.3)	4. 半年に1~2回乗る (2.6)	
5. 年に1回乗る (1.6)	6. 1回乗ったことがある (10.2)	
7. 見たことはあるが乗ったことはない (70.3)	8. 見たことがない (7.0)	無回答 (2.8)

問10-5 あなたは、コミュニティバス「ききょう号」がもっと利用しやすくなるために、どのような方法が必要だと思いますか。(第1位から第3位までの順位をつけて、番号を記入)

n=1,665

	1位	2位	3位
1. 路線の増加	32.6	11.7	8.6
2. 便数の増加	22.4	27.6	9.7
3. 運行日の増加(土日含む)	9.6	15.7	16.2
4. 運行するダイヤ(時間帯)の変更	1.2	5.0	7.4
5. 定期・回数券の発行	2.3	3.6	4.6
6. 割引制度を取り入れる(高齢者割引など)	4.0	6.5	9.2
7. 電車や他のバスに乗り継ぎしやすくする	8.9	9.9	14.1
8. バスの遅れの解消	0.9	2.0	5.0
9. その他	2.4	0.5	1.3
10. 利用するつもりはない	4.0	-	-
無回答	11.7	17.5	23.9

11. 国際交流についてお聞きします。

問11-1 あなたは、鎌ヶ谷市の姉妹都市(ニュージーランド・ワカタネ地区)について、どの程度知っていますか。(〇は1つ)

n=1,665

1. よく知っており、交流したことがある(2.2)	
2. だいたい知っており、機会があれば交流したい(4.3)	
3. 名前は聞いたことがある(38.6)	
4. 聞いたことがない(41.3)	
5. 関心がない(8.4)	無回答(5.2)

問11-2 鎌ヶ谷市では、国籍の異なる人々がお互いの文化を尊重しながら地域の一員として暮らすことができる多文化共生社会づくりを目指しており、平成26年4月に(仮称)多文化共生センターをきらり鎌ヶ谷市民会館(文化センター)内に開所予定です。
あなたは、このセンターにどのような機能があれば良いと思いますか。

(〇は3つ以内)

n=1,665

1. 様々な国の産業や文化などが分かる情報の提供(35.3)	
2. 語学講座(日本語講座を含む)の実施(35.4)	
3. 国際交流イベントの実施(34.6)	
4. 姉妹都市情報の提供(ホームステイや交流イベントを含む)(19.2)	
5. 自分の語学力を生かしたボランティアへの登録(通訳、翻訳、相談など)(3.9)	
6. 外国人向けの相談窓口(26.5)	
7. 国際交流団体の支援とネットワーク(11.1)	
8. 特にセンターを利用したいと思わない(17.8)	
9. その他(1.7)	無回答(8.0)

12. 男女共同参画社会についてお聞きします。

問12-1 あなたは、次のような分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。

(項目ごとに、あなたの考えに近い番号に1つずつ○)

n = 1,665

	男性の方が優遇されている	男性の方が優遇されている	どちらかといえば	平等である	女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
(ア) 家庭生活	8.9	29.9	38.7	6.8	1.6	6.5	7.5	
(イ) 職場	18.6	38.4	22.8	3.5	0.7	6.5	9.5	
(ウ) 学校教育	2.3	7.4	65.5	1.9	0.4	12.6	10.0	
(エ) 地域活動	3.3	16.4	48.9	5.8	0.4	15.6	9.6	
(オ) 法律や制度	5.6	25.3	39.5	5.1	0.8	13.9	9.7	
(カ) 社会通念・慣習	14.3	42.5	20.7	3.0	0.6	9.1	9.7	
(キ) 政治、政策決定の場	19.6	39.0	22.0	1.0	0.2	8.9	9.2	
(ク) 社会全体	13.7	46.2	20.1	2.9	0.5	7.7	8.8	

問12-2 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、どのような施策が必要だと思いますか。

(第1位から第3位までの順位をつけて、番号を記入)

n = 1,665

	1位	2位	3位
1. 市の審議会などへの女性委員の登用や市の女性職員の管理職への登用	17.8	8.3	10.6
2. 男女共同参画セミナーなどの実施	4.9	5.1	4.0
3. 女性に対する再就職支援や起業に対する情報提供	12.3	21.4	11.9
4. 仕事と家庭生活が両立できるような社会的支援の充実	37.6	20.5	8.3
5. DV被害者の保護・自立支援や相談体制の充実	3.4	6.1	7.5
6. 学校における男女共同参画に関する教育・学習の充実	4.9	9.2	10.7
7. 女性の人権が侵害されないような防犯環境の整備	3.7	8.1	12.3
8. 性差に配慮したライフステージごとの健康支援	1.0	3.7	6.6
9. 男女共同参画推進センター機能・事業の充実	1.5	2.8	7.4
10. 男女共同参画推進条例の整備	0.7	1.3	4.5
11. その他	1.0	0.1	0.7
12. 無回答	11.2	13.4	15.5

13. 消費生活についてお聞きします。

問13-1 あなたは、これまでに消費生活に関するトラブルにあったことがありますか。
また、あった場合どのような関係のトラブルですか。(該当するもの全てに○) n=1,665

- | | |
|---------------------------------------------------------------|-----------|
| 1. 悪質商法に関するトラブル
(粗品を渡すと言われ、会場に行ったところ高額な商品を買わされたなど) (5.2) | |
| 2. 不当請求に関するトラブル
(覚えのない請求が手紙やメールで来たなど) (13.2) | |
| 3. 食品の安全に関するトラブル
(食品の中に異物が入っていたなど) (9.2) | |
| 4. 商品やサービスに関するトラブル
(商品を正しく使用したのに破損・ケガをしたなど) (4.2) | |
| 5. 表示・広告に関するトラブル
(広告に書かれていない条件があり、支払い時に追加料金を要求されたなど) (3.5) | |
| 6. その他 (3.7) | |
| 7. トラブルにあっていない (64.4) | 無回答 (5.7) |

問13-2 鎌ヶ谷市では消費生活センターで消費生活に関する相談を行っています。
あなたが、関係機関窓口で消費生活に関する相談を行う際、または相談を行うとしたら、重視する事項は何ですか。(○は1つ) n=1,665

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| 1. 高度な知識を持った専門家による的確な対応 (29.8) | |
| 2. 親身になって相談に乗ってくれるなど、相談しやすい雰囲気 (43.1) | |
| 3. 待ち時間のない(少ない)すばやい対応 (7.4) | |
| 4. 利用しやすい受付時間 (5.0) | |
| 5. 個人情報・プライバシーの保護 (6.2) | |
| 6. 交通の便の良さ (1.4) | |
| 7. その他 (0.8) | 無回答 (6.2) |

14. 広報についてお聞きします。

問14-1 あなたは、「広報かまがや」を読んでいますか。(○は1つ) n=1,665

- | | | |
|--------------------|---------------------|-----------|
| 1. よく読んでいる (47.4) | 2. ときどき読んでいる (33.8) | |
| 3. あまり読んでいない (9.2) | 4. 読んだことがない (6.2) | 無回答 (3.4) |

問14-2 あなたは、「広報かまがや」をどのように入手していますか。(○は1つ) n=1,665

- | | | |
|-------------------|--------------------------|-----------|
| 1. 新聞折り込み (75.0) | 2. 郵送(新聞未購読世帯で希望者) (2.8) | |
| 3. 市のホームページ (3.2) | 4. 公共施設や駅など (5.9) | |
| 5. 入手していない (7.3) | 6. その他 (1.6) | 無回答 (4.1) |

問14-3 あなたは、市の広報紙やホームページから、どのような情報が欲しいと思いますか。
(欲しいと思う情報全てに○) n=1,665

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 市政運営(計画・施策・財政状況) (46.1) | 2. 保健・医療 (61.1) |
| 3. 子育て・教育 (26.3) | 4. 国民健康保険・介護保険 (37.0) |
| 5. 消費生活 (23.7) | 6. 防災・防犯 (41.8) |
| 7. 環境・ごみ (44.4) | 8. 道路・交通 (30.8) |
| 9. 生涯学習 (19.2) | 10. 市民活動・サークル活動 (29.5) |
| 11. イベント (39.5) | 12. 公共施設の利用案内 (45.2) |
| 13. その他 (1.8) | 無回答 (5.7) |

15. 調査を統計的に分析するために、あなた自身についてお聞きします。

問15-1 あなたの性別は、どちらですか。(〇は1つ) n=1,665

1. 男性 (41.5)	2. 女性 (55.5)	無回答 (3.0)
--------------	--------------	-----------

問15-2 あなたの年齢は、おいくつですか。(〇は1つ) n=1,665

1. 20代 (9.0)	2. 30代 (14.0)	3. 40代 (15.9)	
4. 50代 (17.8)	5. 60代 (21.4)	6. 70代以上 (18.9)	無回答 (3.1)

問15-3 あなたの職業は、次のどれですか。(〇は1つ) n=1,665

1. 農業 (0.8)	2. 商工・サービス・自営業 (5.5)	3. 会社員 (24.7)
4. 公務員 (3.4)	5. 専門職 (医師・弁護士など) (2.5)	6. 自由業 (著述・芸術・芸能など) (1.4)
7. 学生 (1.7)	8. 派遣 (0.9)	9. パート・アルバイト (16.3)
10. 無職 (専業主婦 (夫)、年金受給者を含む) (39.5)	無回答 (3.4)	

問15-3-1 [問15-3で「1~9」と回答した方にお伺いします。]

あなたの就業・就学先は、次のどこですか。(〇は1つ) n=952

1. 鎌ケ谷市内 (21.8)	2. 市川市 (2.5)	3. 船橋市 (12.7)
4. 松戸市 (5.7)	5. 柏市 (4.1)	6. 白井市 (4.0)
7. その他の県内市町村 (11.1)	8. 東京都 (30.7)	9. その他 (4.2) 無回答 (3.2)

問15-4 あなたのお住まいの地区は、次のどこですか。(〇は1つ) n=1,665

1. 中央地区 (21.8)	道野辺中央、道野辺本町、初富本町、右京塚、南初富四~六丁目、中央、富岡、初富 (928~931番地)、新鎌ケ谷
2. 中央東地区 (17.8)	東鎌ケ谷、東初富、南初富一~三丁目、初富 (700~927番地)
3. 東部地区 (23.7)	丸山、鎌ケ谷、東道野辺二~七丁目、南鎌ケ谷
4. 南部地区 (17.7)	東中沢、東道野辺一丁目、西道野辺、馬込沢、道野辺、中沢、北中沢、中沢新町
5. 西部地区 (8.9)	くぬぎ山、栗野 (426~538番地)、佐津間 (1300番地~)、串崎新田、北初富、初富 (1~399番地・1300番地~)
6. 北部地区 (6.4)	栗野 (1~425番地・539番地~)、佐津間 (1~1299番地)、中佐津間、西佐津間、南佐津間、軽井沢
無回答 (3.7)	

問15-5 鎌ケ谷市でのあなたの居住年数は、どれくらいになりますか。(〇は1つ) n=1,665

1. 3年未満 (6.2)	2. 3~5年 (7.3)	3. 6~9年 (6.6)
4. 10~19年 (19.1)	5. 20年以上 (49.4)	6. 生まれたときから (8.3) 無回答 (3.1)

問15-6 あなたのお住まいは、次のどれですか。(〇は1つ) n=1,665

1. 持ち家 (一戸建て) (71.7)	2. 分譲マンション (12.0)	3. 民間借家・アパート (9.9)
4. 公営借家 (1.6)	5. 給与住宅 (社宅など) (1.4)	6. その他 (0.6)
無回答 (2.9)		

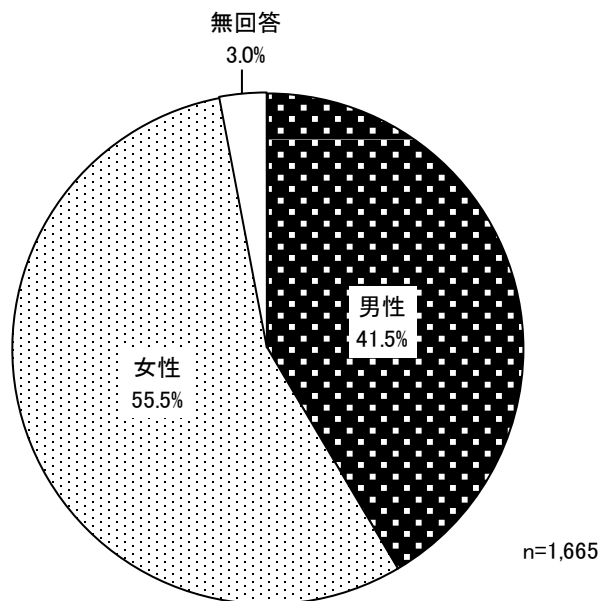
第2章 調査回答者の属性

1. 調査回答者の属性

1. 性別

あなたの性別は、どちらですか。(問15-1)

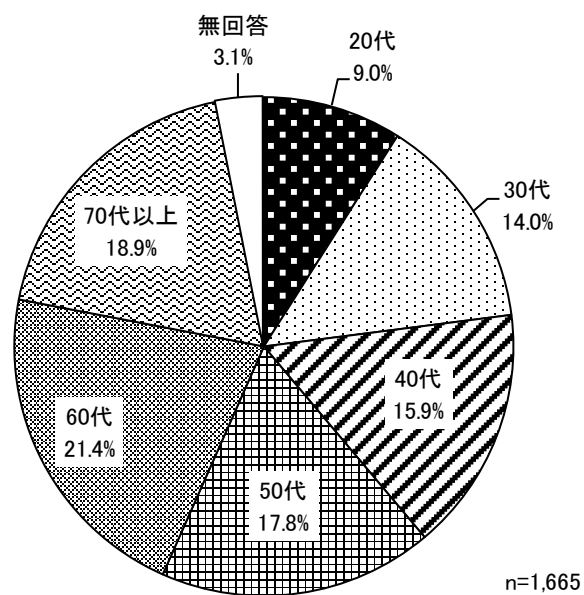
「男性」41.5%、「女性」55.5%と女性のほうが高くなっています。



2. 年代

あなたの年齢は、おいくつですか。(問15-2)

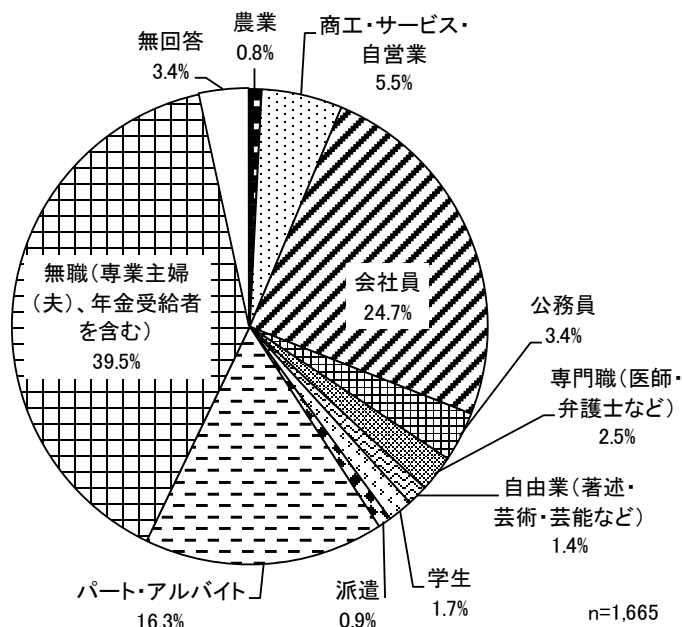
「60代」が21.4%と最も高く、次いで「70代以上」(18.9%)、「50代」(17.8%)と続いています。



3. 職業

あなたの職業は、次のどれですか。(問15-3)

「無職（専業主婦（夫）、年金受給者を含む）」が39.5%と最も高く、次いで「会社員」（24.7%）、
「パート・アルバイト」（16.3%）と続いています。

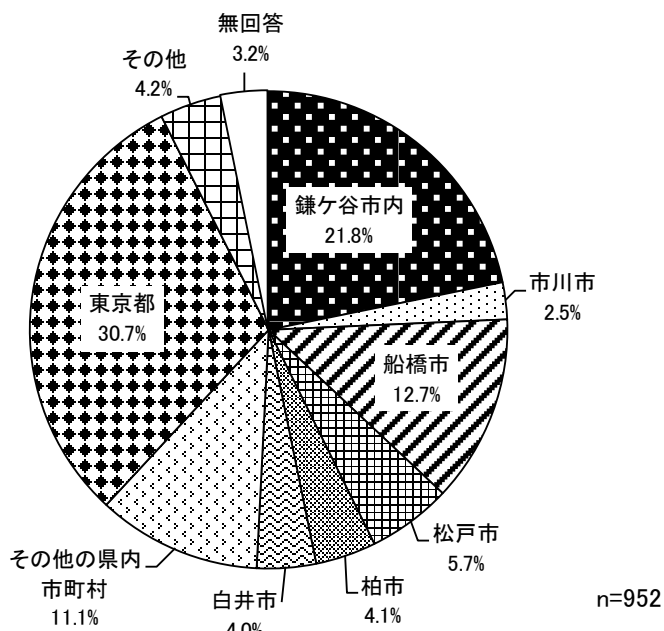


4. 就業（学）先

あなたの就業・就学先は、次のどこですか。(問15-3-1)

※問15-3で「無職」と回答した人、無回答を除く

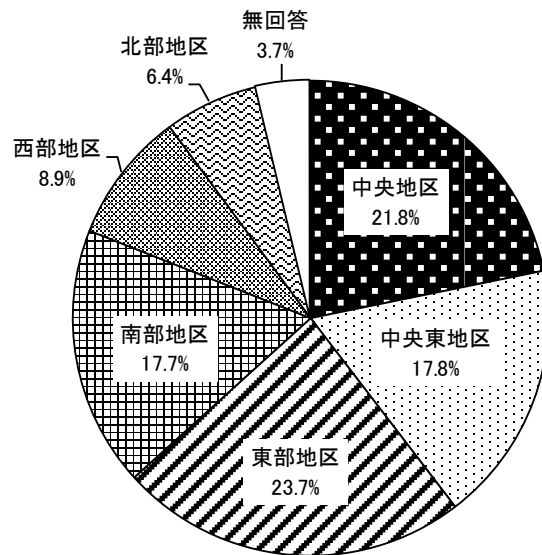
「東京都」が30.7%と最も高く、次いで「鎌ヶ谷市内」（21.8%）、「その他の県内市町村」（11.1%）と続いています。



5. 居住地区

あなたのお住いの地区は、次のどこですか。(問15-4)

回答者の住んでいる地区は、高い順に「東部地区」が23.7%、次いで「中央地区」(21.8%)、「中央東地区」(17.8%)、「南部地区」(17.7%)、「西部地区」(8.9%)、「北部地区」(6.4%)となっています。

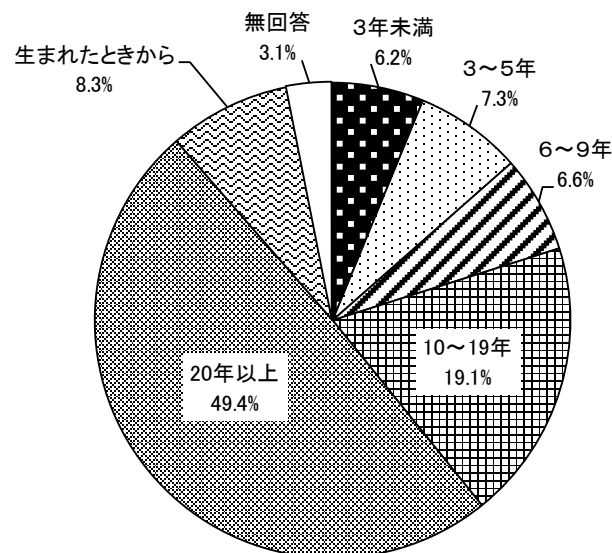


n=1,665

6. 居住年数

鎌ヶ谷市でのあなたの居住年数は、どれくらいになりますか。(問15-5)

「20年以上」が49.4%と最も高く、次いで「10～19年」(19.1%)、「生まれたときから」(8.3%)と続いています。

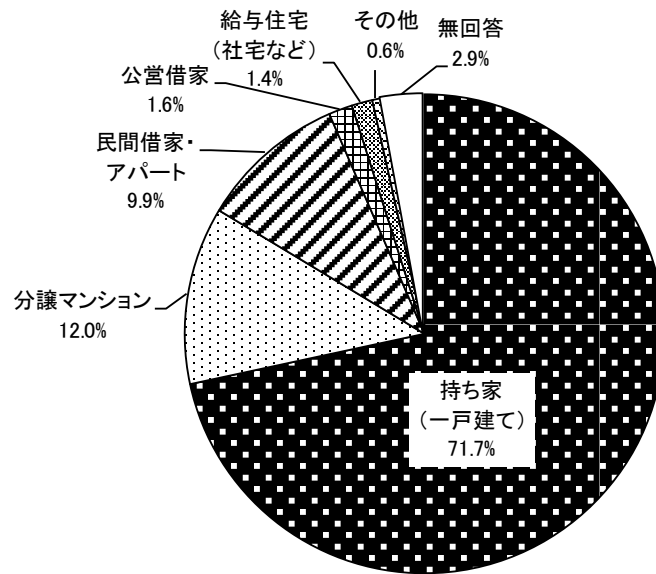


n=1,665

7. 住形態

あなたのお住まいは、次のどれですか。(問15-6)

「持ち家（一戸建て）」が71.7%と最も高く、次いで「分譲マンション」（12.0%）、「民間借家・アパート」（9.9%）と続いています。



n=1,665

第3章 調査結果の詳細

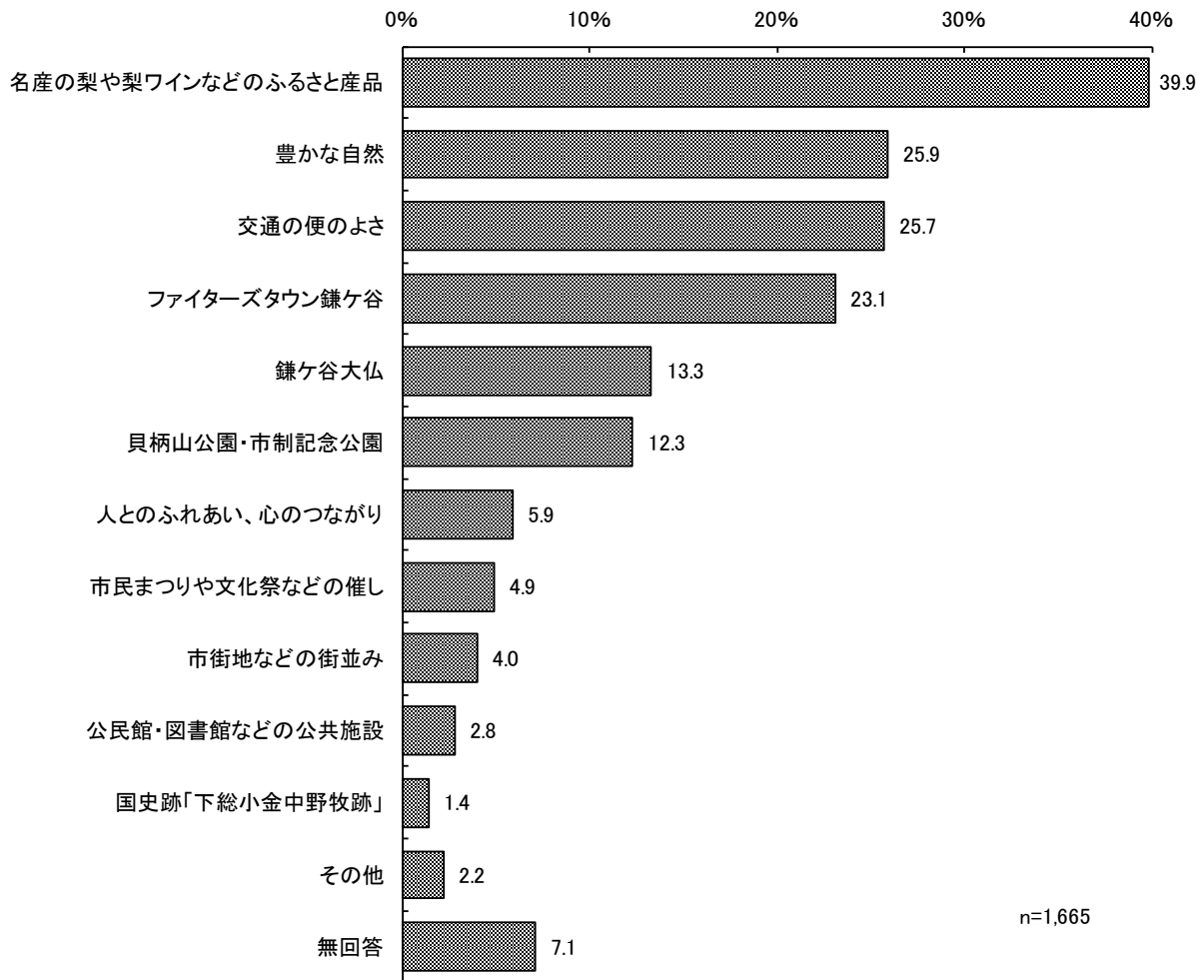
1. 鎌ケ谷市のイメージについて

(1) 鎌ケ谷らしさ

◇鎌ケ谷らしさを感じるものは「名産の梨や梨ワインなどのふるさと産品」が約4割

問1-1 あなたにとって「鎌ケ谷らしさ」を感じさせ、愛着や誇りを持つことができるものは何ですか。(○は2つ以内)

図表1-1-1 「鎌ケ谷らしさ」を感じさせるもの



(1) 全体の傾向

「鎌ケ谷らしさ」を感じさせるものは「名産の梨や梨ワインなどのふるさと産品」が39.9%と最も高く、次いで「豊かな自然」(25.9%)、「交通の便のよさ」(25.7%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、20代～60代で「名産の梨や梨ワインなどのふるさと産品」が最も高くなっています。70代以上では「交通の便のよさ」が最も高くなっています。また、20代～40代では「名産の梨や梨ワインなどのふるさと産品」に次いで「ファイターズタウン鎌ケ谷」が高くなっています。

② 地区別

地区別にみると、中央地区では「交通の便のよさ」、北部地区では「豊かな自然」が最も高く、他の地区では「名産の梨や梨ワインなどのふるさと産品」が最も高くなっています。特に西部地区では「名産の梨や梨ワインなどのふるさと産品」が半数を超えています。

(3) 経年変化

「豊かな自然」や「名産の梨や梨ワインなどのふるさと産品」、「貝柄山公園・市制記念公園」は減少傾向にあり、「交通の便のよさ」、「鎌ケ谷大仏」、「市街地などの街並み」は増加傾向となっています。

図表 1-1-2 「鎌ケ谷らしさ」を感じさせるもの 経年変化
(単位:%)

	豊かな自然	交通の便のよさ	市街地などの街並み	名産の梨や梨ワインなどのふるさと産品	鎌ケ谷大仏	国史跡「下総小金中野」	市民まつりや文化祭など
平成15年	34.3	14.8	1.6	47.0	8.9	-	3.9
平成20年	30.6	23.1	2.5	50.6	10.3	-	4.5
平成25年	25.9	25.7	4.0	39.9	13.3	1.4	4.9

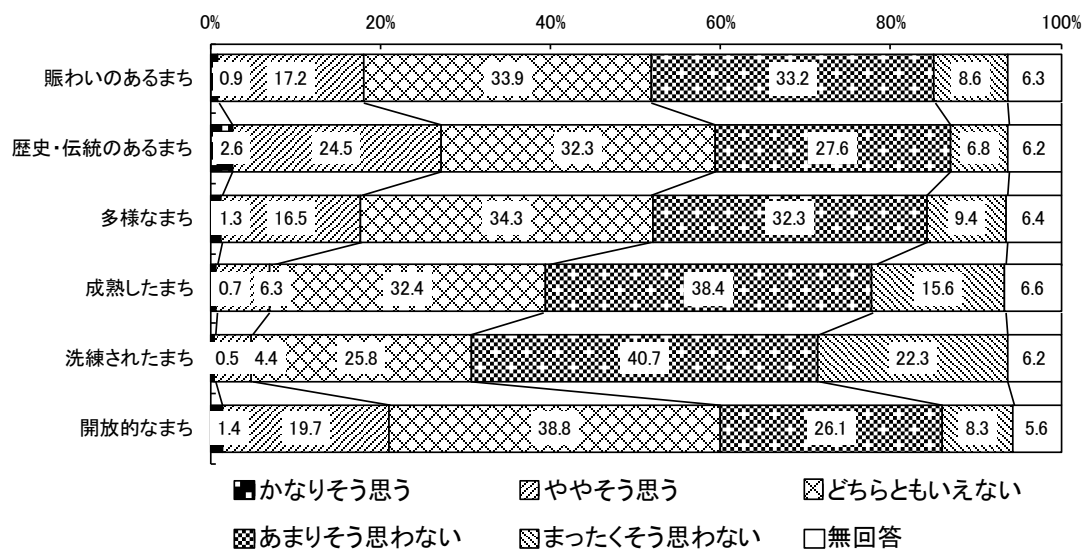
	公共施設・図書館などの	貝柄山公園・市制記念公園	ファイターズタウン鎌ケ谷	人なごのふれあい、心の	その他	無回答
平成15年	3.3	15.1	-	5.9	8.3	3.5
平成20年	1.7	13.1	-	9.5	0.0	6.3
平成25年	2.8	12.3	23.1	5.9	2.2	7.1

(2) 鎌ヶ谷市のイメージ

◇鎌ヶ谷市のイメージは「歴史・伝統のあるまち」が2割台半ば

問1-2 あなたは、鎌ヶ谷市の「イメージ」を表すとしたら、どのような表現がふさわしいと思いますか。(ア)から(カ)について、あなたのイメージに最も近いものを選んでください。(項目ごとに○は1つずつ)

図表1-2-1 「鎌ヶ谷市のイメージ」を表す表現



n=1,665

(1) 全体の傾向

「鎌ヶ谷市のイメージ」を表す表現として、“肯定”（かなりそう思う+ややそう思う）の高かった項目は「歴史・伝統のあるまち」が27.1%と最も高く、次いで「開放的なまち」（21.1%）、「賑わいのあるまち」（18.1%）と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、“肯定”（かなりそう思う+ややそう思う）の高かった項目は、20代では「開放的なまち」が30.0%と最も高くなっており、他の年代では「歴史・伝統のあるまち」が最も高くなっています。

② 地区別

地区別にみると、“肯定”（かなりそう思う+ややそう思う）の高かった項目は、すべての地区で「歴史・伝統のあるまち」が最も高くなっています。中央地区では他の地区に比べ「開放的なまち」がやや高くなっています。

(3) 経年変化

「賑わいのあるまち」、「歴史・伝統のあるまち」、「多様なまち」、「開放的なまち」の“肯定”（かなりそう思う+ややそう思う）は増加傾向となっています。

図表 1-2-2 「鎌ヶ谷市のイメージ」を表す表現 経年比較

(単位: %)

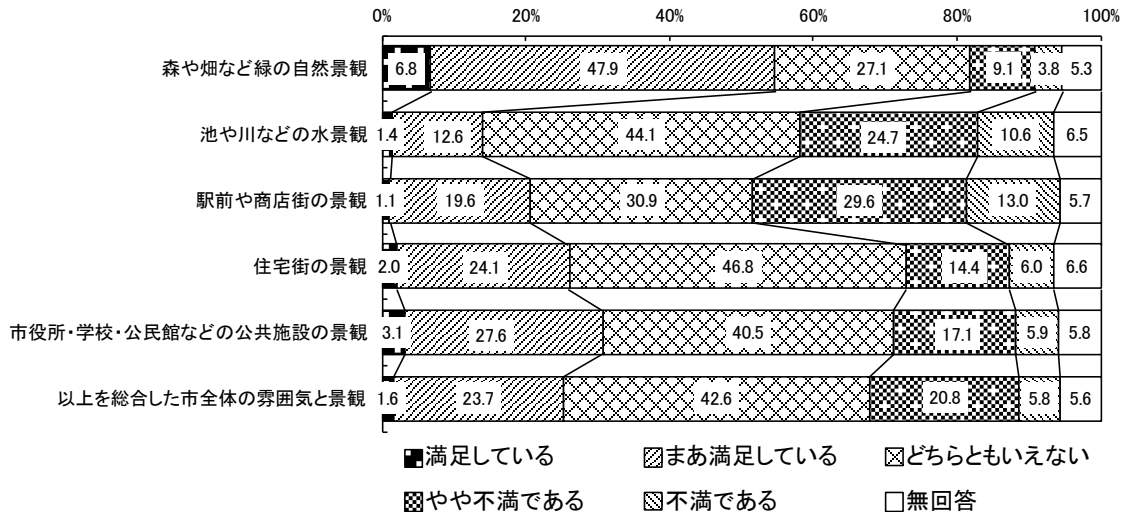
		かなり そう 思う	やや そう 思う	ど ち ら と も い え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い	無 回 答
賑わいのあるまち	平成20年	2.5	8.3	44.9	26.8	8.6	8.8
	平成25年	0.9	17.2	33.9	33.2	8.6	6.3
歴史・伝統のあるまち	平成20年	3.4	20.3	49.0	15.0	3.8	8.5
	平成25年	2.6	24.5	32.3	27.6	6.8	6.2
多様なまち	平成20年	1.4	8.6	61.2	15.4	3.4	10.0
	平成25年	1.3	16.5	34.3	32.3	9.4	6.4
成熟したまち	平成20年	1.6	7.6	49.1	24.6	7.4	9.7
	平成25年	0.7	6.3	32.4	38.4	15.6	6.6
洗練されたまち	平成20年	1.7	4.9	42.7	26.5	14.6	9.6
	平成25年	0.5	4.4	25.8	40.7	22.3	6.2
開放的なまち	平成20年	2.2	14.6	56.8	13.2	3.7	9.7
	平成25年	1.4	19.7	38.8	26.1	8.3	5.6

(3) 鎌ヶ谷市の景観への「現在の満足度」と「今後の重要度」

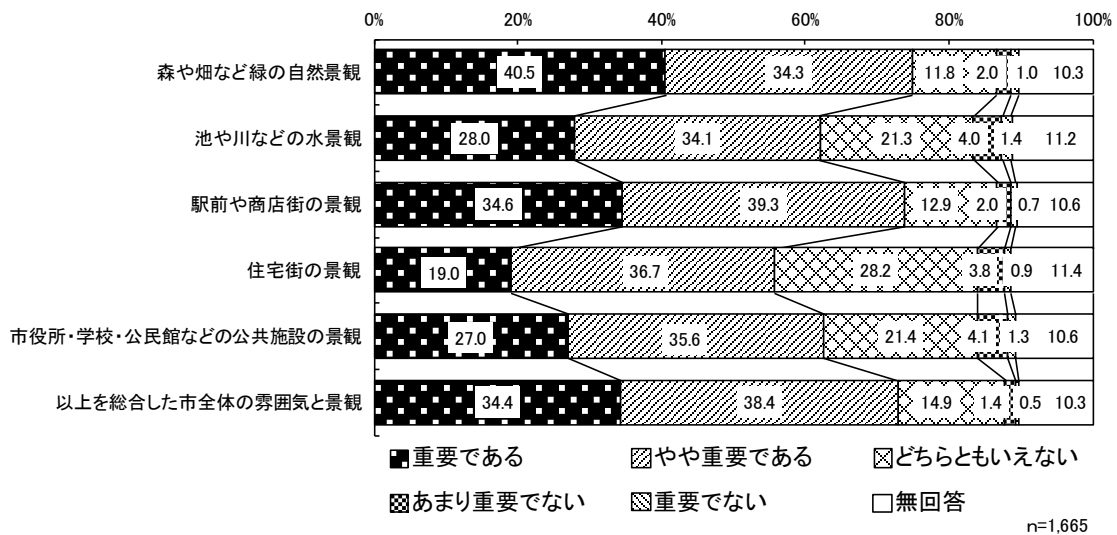
◇鎌ヶ谷市の景観で満足度が高いのは「森や畑など緑の自然景観」で5割台半ば、重要度は7割台半ば

問1-3 あなたは、鎌ヶ谷市全体の景観について、「現在の満足度」と「今後の重要度」をどのようにお考えですか。(項目ごとに○は1つずつ)

図表1-3-1 鎌ヶ谷市の景観への現在の満足度



図表1-3-2 鎌ヶ谷市の景観への今後の重要度



(1) 全体の傾向

鎌ヶ谷市の景観への“満足度”（満足している+まあ満足している）が高いのは「森や畑など緑の自然景観」で54.7%、次いで「市役所・学校・公民館などの公共施設の景観」（30.7%）、「住宅街の景観」（26.1%）と続いています。また「総合的な市全体の雰囲気と景観」は25.3%の市民が満足していると回答しています。

一方、“不満足度”（不満である+やや不満である）が最も高いのは「駅前や商店街の景観」で42.6%、次いで「池や川などの水景観」（35.3%）、「市役所・学校・公民館などの公共施設の景観」（23.0%）と続いています。

今後、“重要度”（重要である＋やや重要である）が最も高いのは「森や畑など緑の自然景観」で74.8%、次いで「駅前や商店街の景観」（73.9%）、「市役所・学校・公民館などの公共施設の景観」（62.6%）と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、“満足度”が高いのは、「森や畑など緑の自然景観」ですべての年代で半数を超えています。20代～40代では「住宅街の景観」、50代～70代以上では「市役所・学校・公民館などの公共施設の景観」が高くなっています。

“重要度”が高いのは、20代～30代、50代では「駅前や商店街の景観」、40代では「総合的な市全体の雰囲気と景観」、60代～70代以上では「森や畑など緑の自然景観」が高くなっています。

② 地区別

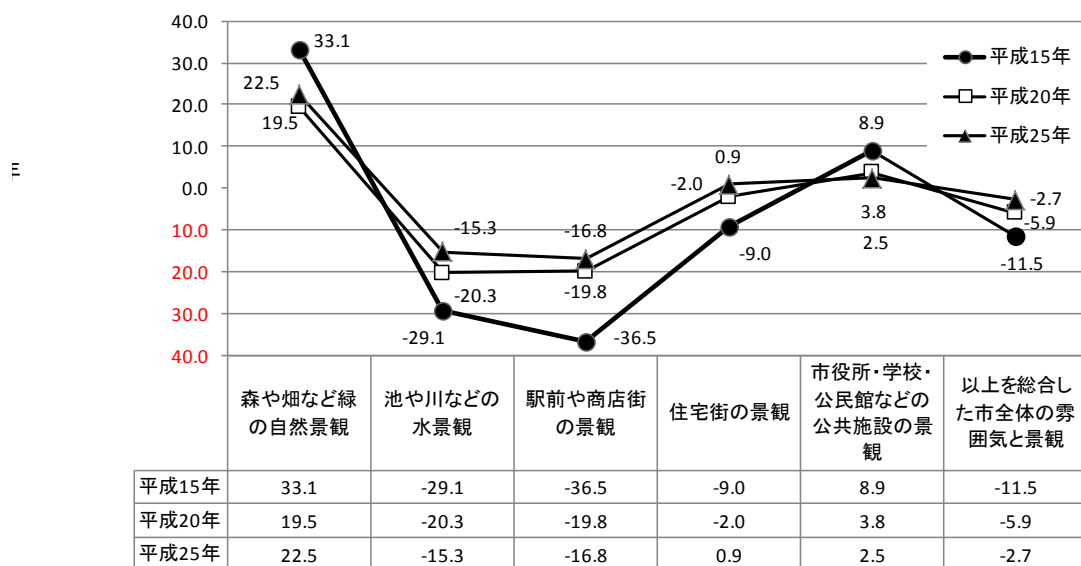
地区別にみると、“満足度”が高いのは、「森や畑など緑の自然景観」ですべての地区で半数を超えています。北部地区では他の地区に比べ「駅前や商店街の景観」が31.8%と高くなっています。

“重要度”が高いのは、東部地区・西部地区以外の地区では「森や畑など緑の自然景観」が最も高くなっています。特に南部地区と北部地区では8割を超えています。また、東部地区・西部地区では「駅前や商店街の景観」が最も高くなっています。

(3) 経年変化

景観の“満足度”について、平成15年度調査、平成20年度調査と比較すると、「森や畑など緑の自然景観」、「市役所・学校・公民館などの公共施設の景観」については“満足度”が低下しています。

図表 1-3-3 鎌ヶ谷市の景観への満足度 経年変化



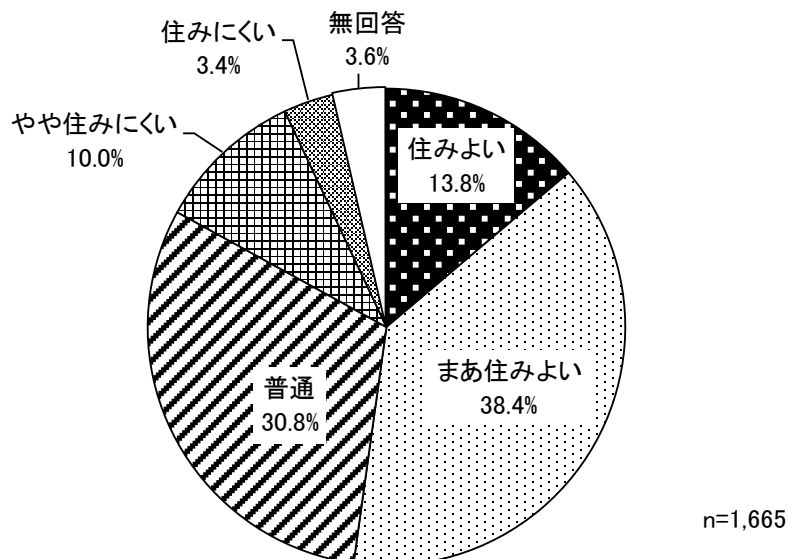
2. 住み心地について

(1) 住みよさ意識

◇ “住みよい”と感じている市民は半数を超える

問2-1 あなたは、鎌ヶ谷市を住みよいと感じますか。(○は1つ)

図表2-1-1 住みよさ意識



(1) 全体の傾向

「まあ住みよい」が38.4%と最も高く、次いで「普通」(30.8%)、「住みよい」(13.8%)と続いています。

“住みよい” (住みよい+まあ住みよい)と感じている市民は52.2%と半数を超えています。一方、“住みにくい” (やや住みにくい+住みにくい)と感じている市民は13.4%となっています。

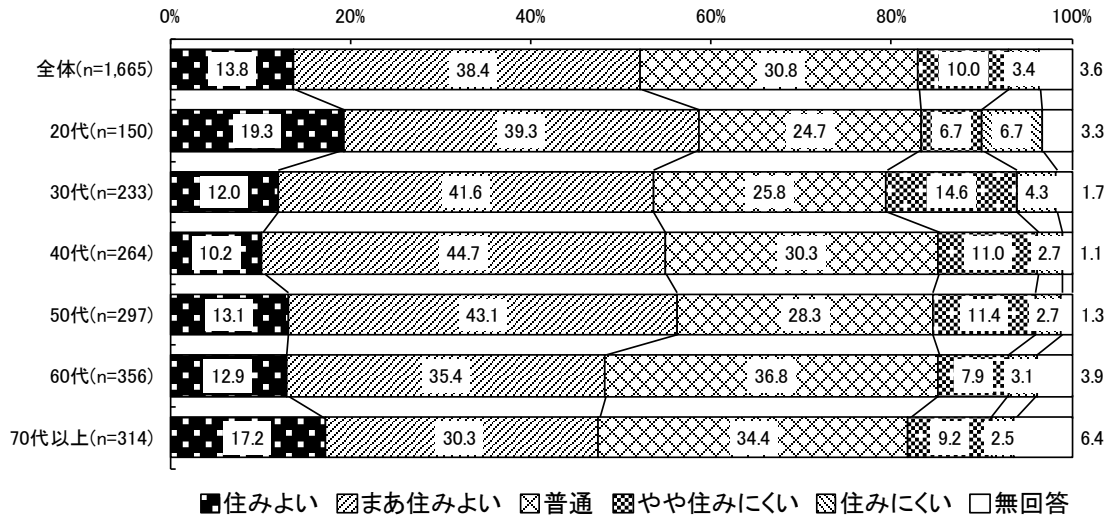
(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、20代～50代では「まあ住みよい」が最も高くなっています。60代～70代以上では「普通」が最も高くなっています。また、“住みよい” (住みよい+まあ住みよい)は20代～50代で半数を超えています。

一方、“住みにくい” (やや住みにくい+住みにくい)と感じている人は30代で最も高く、次いで50代、40代と続いています。

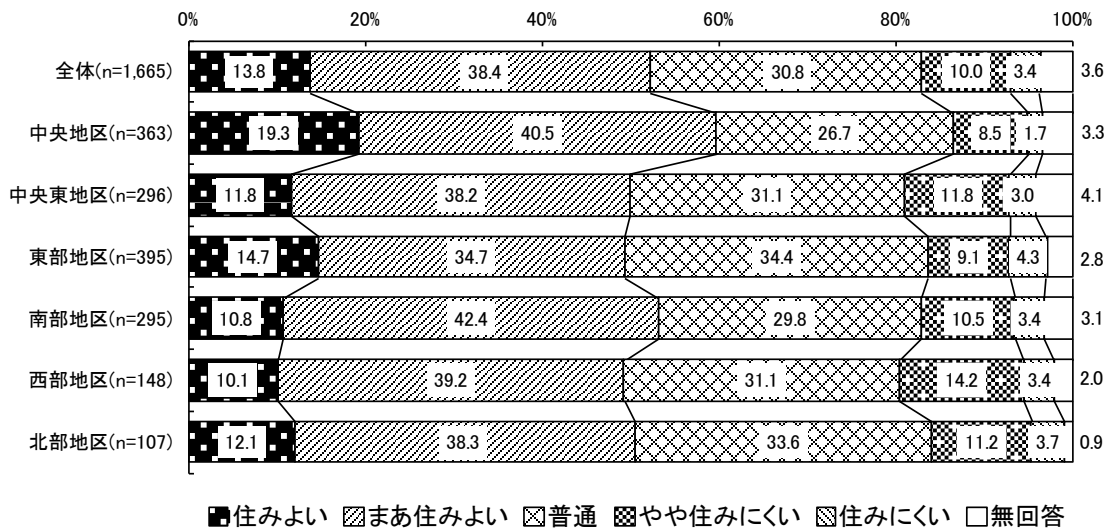
図表 2-1-2 住みよさ意識 年代別



② 地区別

地区別にみると、すべての地区で「まあ住みよい」が最も高くなっています。また、「住みよい」（住みよい+まあ住みよい）はすべての地区で約5割～約6割となっています。一方、「住みにくい」（やや住みにくい+住みにくい）と感じている人は西部地区で最も高くなっています。

図表 2-1-3 住みよさ意識 地区別

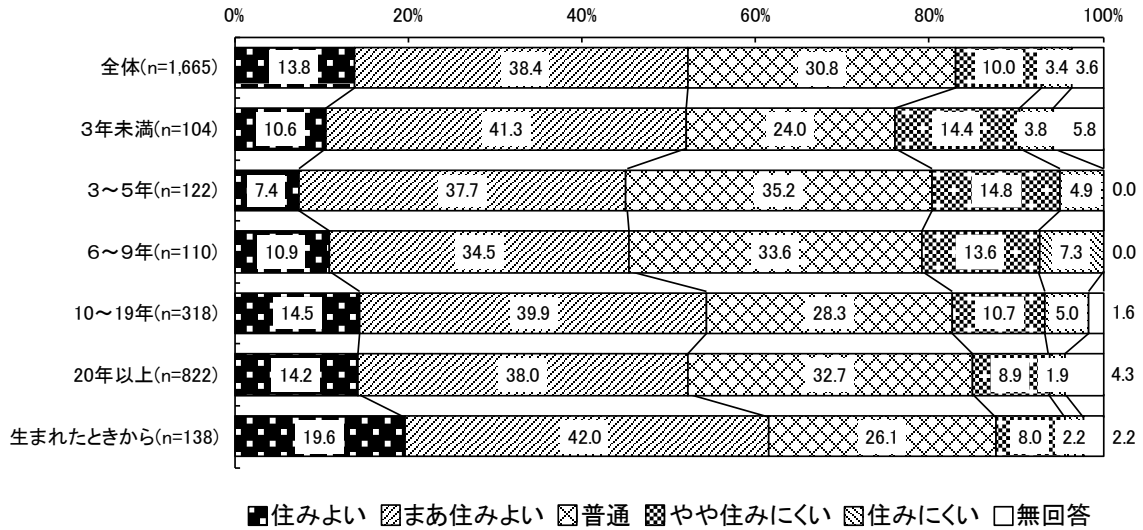


③ 居住年数別

居住年数別にみると、「住みよい」（住みよい+まあ住みよい）は「生まれたときから」住んでいるという人で最も高くなっています。

一方、「住みにくい」（やや住みにくい+住みにくい）と感じている人は居住年数が「3年未満」、「3～5年」、「6～9年」といった居住年数が10年未満の人で高くなっています。

図表 2-1-4 住みよさ意識 居住年数別



(3) 経年変化

経年でみると、「住みよい」はやや減少していますが、「まあ住みよい」は増加傾向にあります。また、「やや住みにくい」、「住みにくい」は減少傾向となっています。

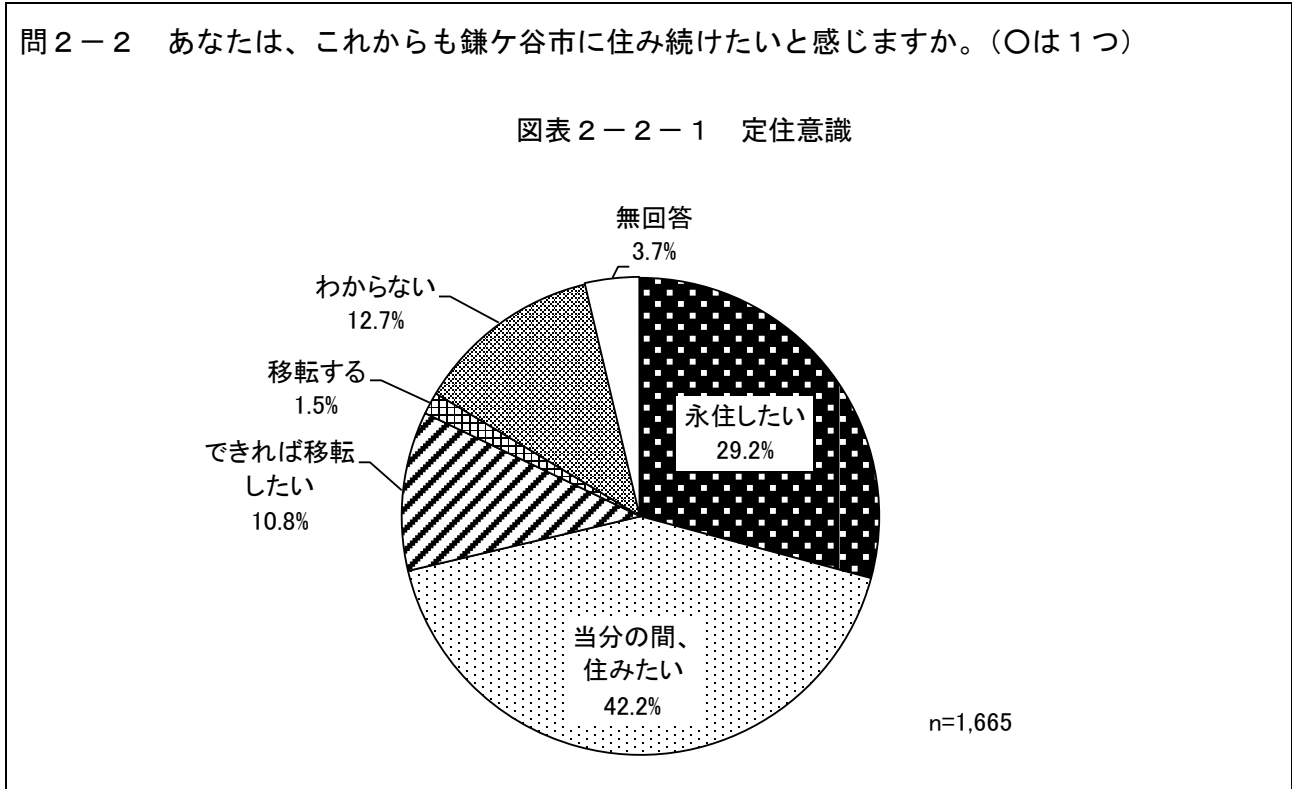
図表 2-1-5 住みよさ意識 経年変化

(単位: %)

	住みよい	まあ住みよい	普通	やや住みにくい	住みにくい	無回答
平成15年	12.2	30.5	31.2	16.2	7.4	2.5
平成20年	14.1	31.2	36.5	12.6	4.4	1.2
平成25年	13.8	38.4	30.8	10.0	3.4	3.6

(2) 定住意識

◇ “住み続けたい”と感じている市民は7割強



(1) 全体の傾向

「当分の間、住みたい」が42.2%と最も高く、次いで「永住したい」(29.2%)、「わからない」(12.7%)と続いています。

“住み続けたい”(永住したい+当分の間、住みたい)と感じている市民は71.4%と7割強が住み続けたいと考えています。

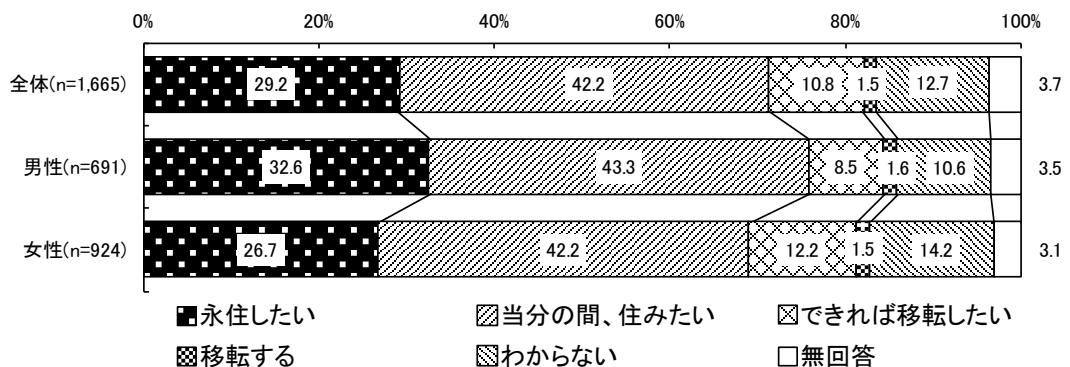
一方、“移転を考えている”(できれば移転したい+移転する)と考えている市民は12.3%となっています。

(2) 属性別特徴

① 性別

性別にみると、“住み続けたい”(永住したい+当分の間、住みたい)は男性で75.9%、女性では68.9%となっています。

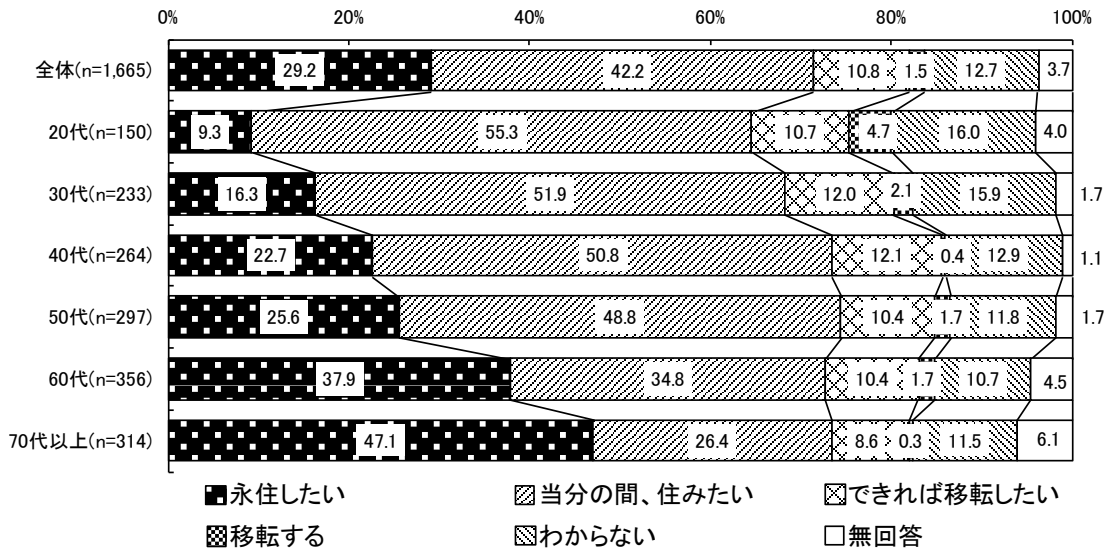
図表2-2-2 定住意識 性別



② 年代別

年代別にみると、“住み続けたい”（永住したい+当分の間、住みたい）は20代で6割台半ば、30代で7割弱、40代～70代以上で7割以上となっています。特に50代では“住み続けたい”が7割台半ばと高くなっています。

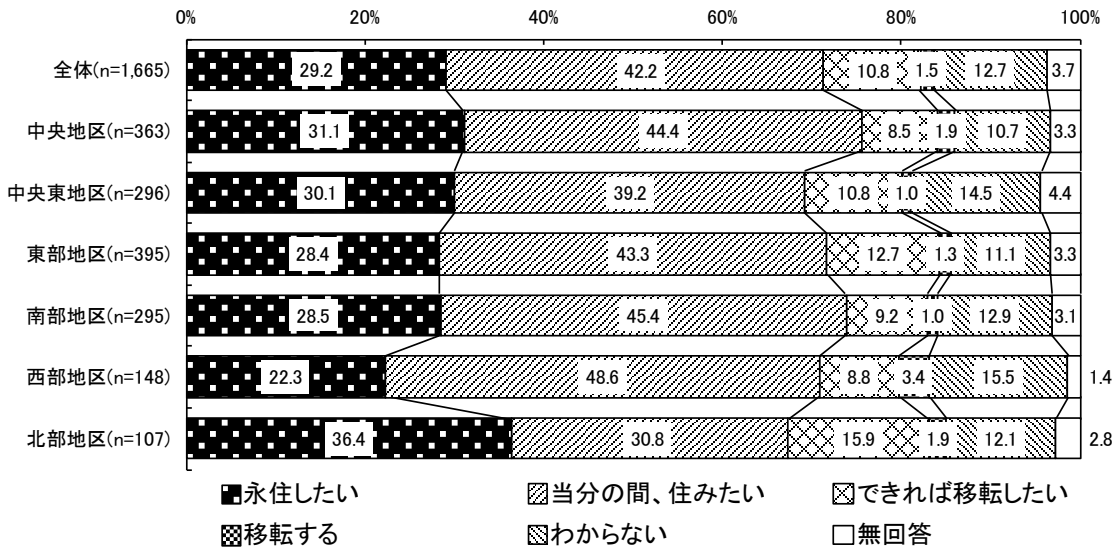
図表 2-2-3 定住意識 年代別



③ 地区別

地区別にみると、“住み続けたい”は中央東地区・北部地区を除く他の地区で7割以上となっています。特に中央地区では7割台半ばとなっています。

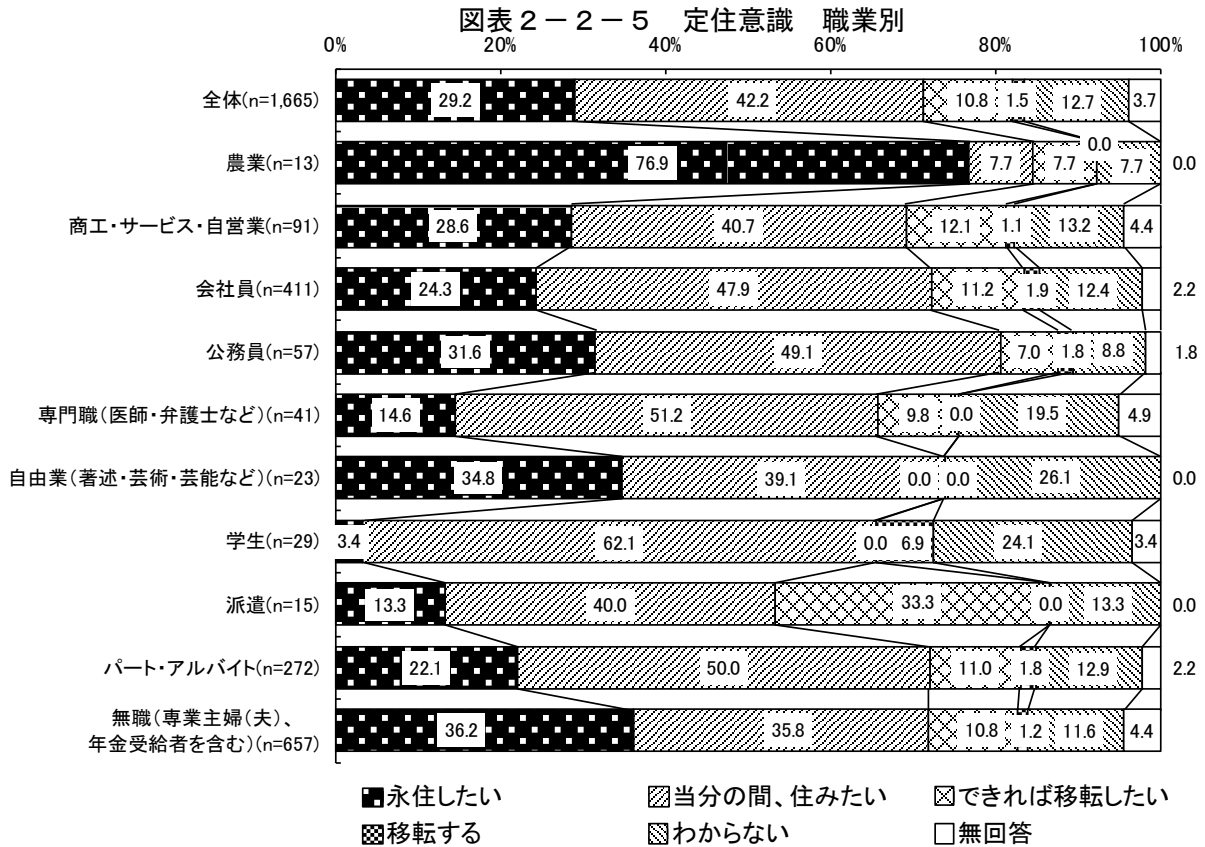
図表 2-2-4 定住意識 地区別



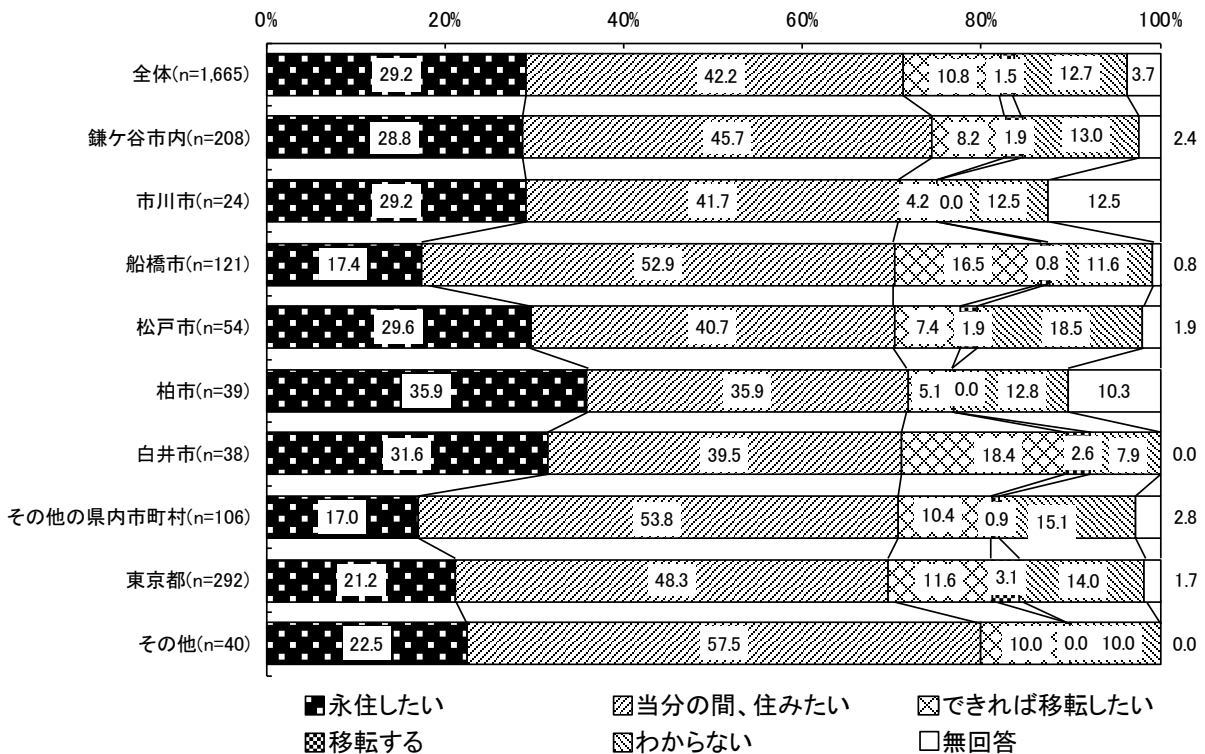
④ 職業別、就業（学）先別

職業別にみると、「永住したい」は「農業」で76.9%と高くなっています。一方、「学生」は3.4%と低くなっています。

就業（学）先別でみると、「柏市」へ通っている人で「永住したい」という人が35.9%と最も高く、次いで「白井市」（31.6%）、「松戸市」（29.6%）へ通う人が続いています。



図表 2-2-6 定住意識 就業（学）先別

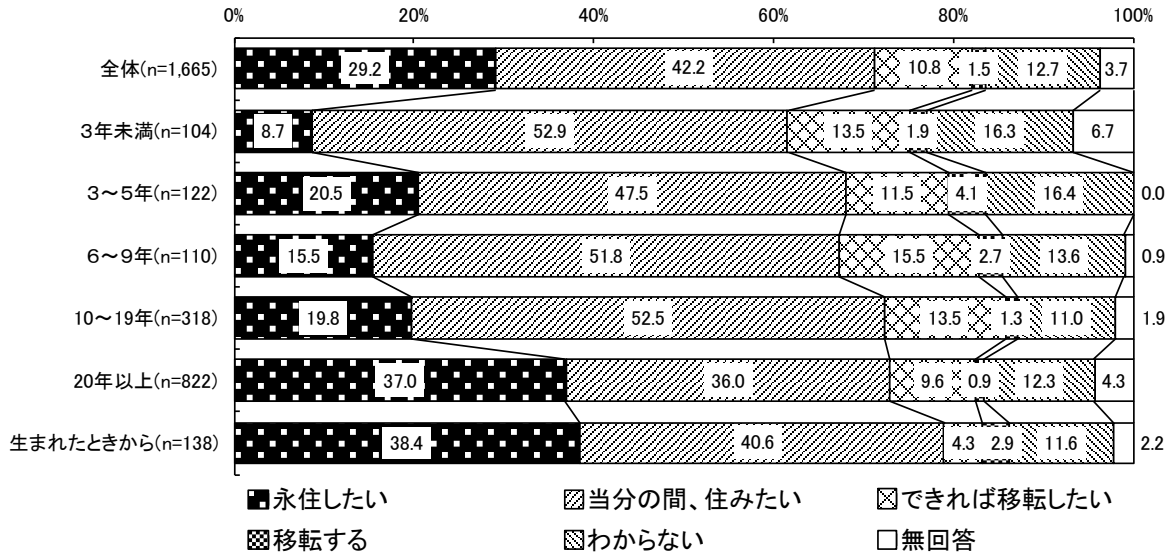


⑤ 居住年数別

居住年数別にみると、「永住したい」は「生まれたときから」で38.4%と最も高くなっています。次いで、「20年以上」(37.0%)、「3～5年」(20.5%)と続いています。

一方、「3年未満」では8.7%と低くなっています。

図表 2-2-7 定住意識 居住年数別



(3) 経年変化

経年変化でみると、平成20年度と比較して“住み続けたい”(永住したい+当分の間、住みたい)は2.4ポイント高くなっています。

図表 2-2-8 定住意識 経年変化

(単位: %)

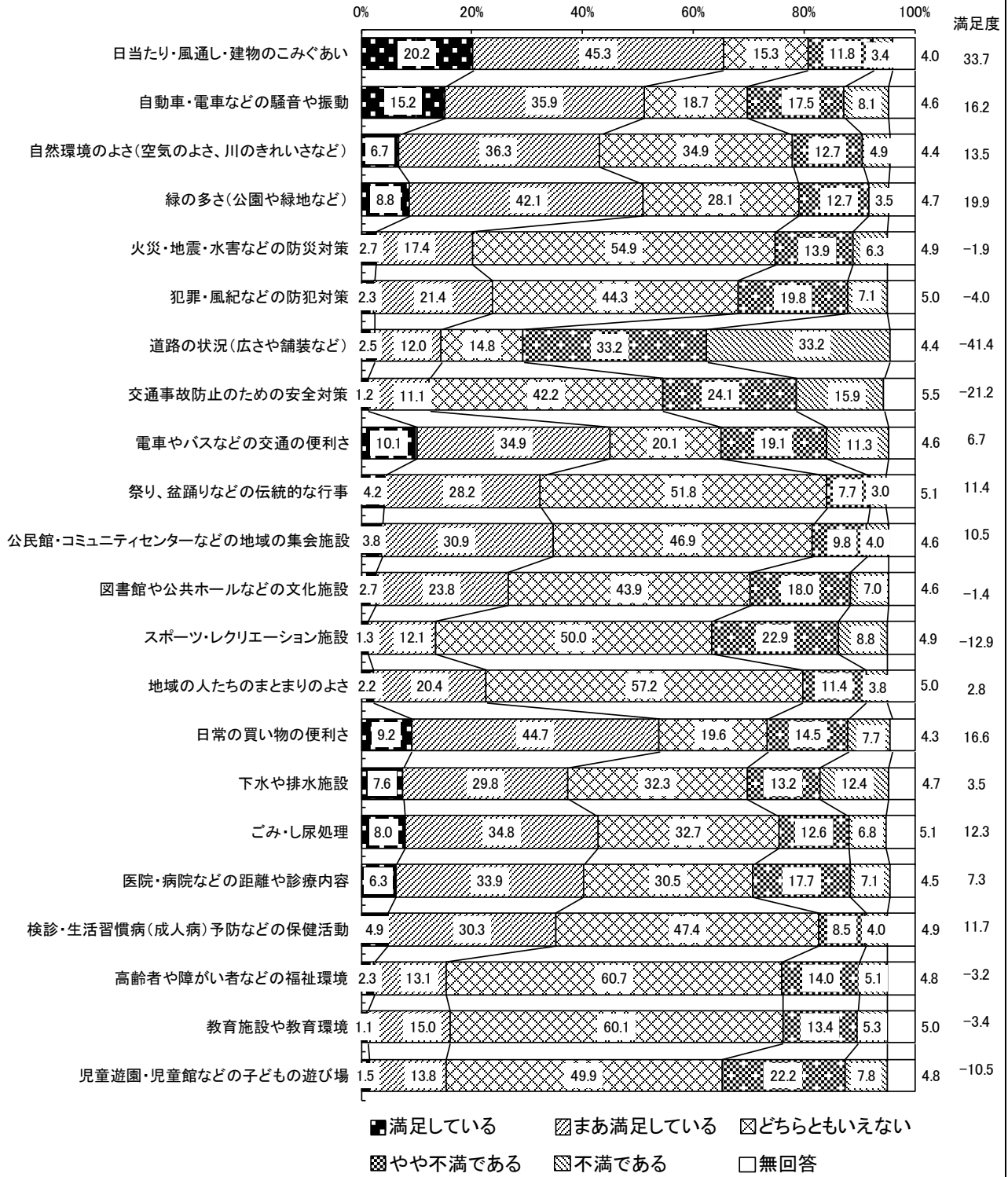
	永住したい	当分の間、住みたい	できれば移転したい	移転する	わからない	無回答
平成15年	33.5	27.9	13.6	3.2	19.4	2.5
平成20年	35.2	33.8	12.2	1.5	15.2	2.0
平成25年	29.2	42.2	10.8	1.5	12.7	3.7

(3) 生活環境の「現在の満足度」・「今後の重要度」

◇「現在の満足度」が高いのは、「日当たり・風通し・建物のこみぐあい」で6割台半ば

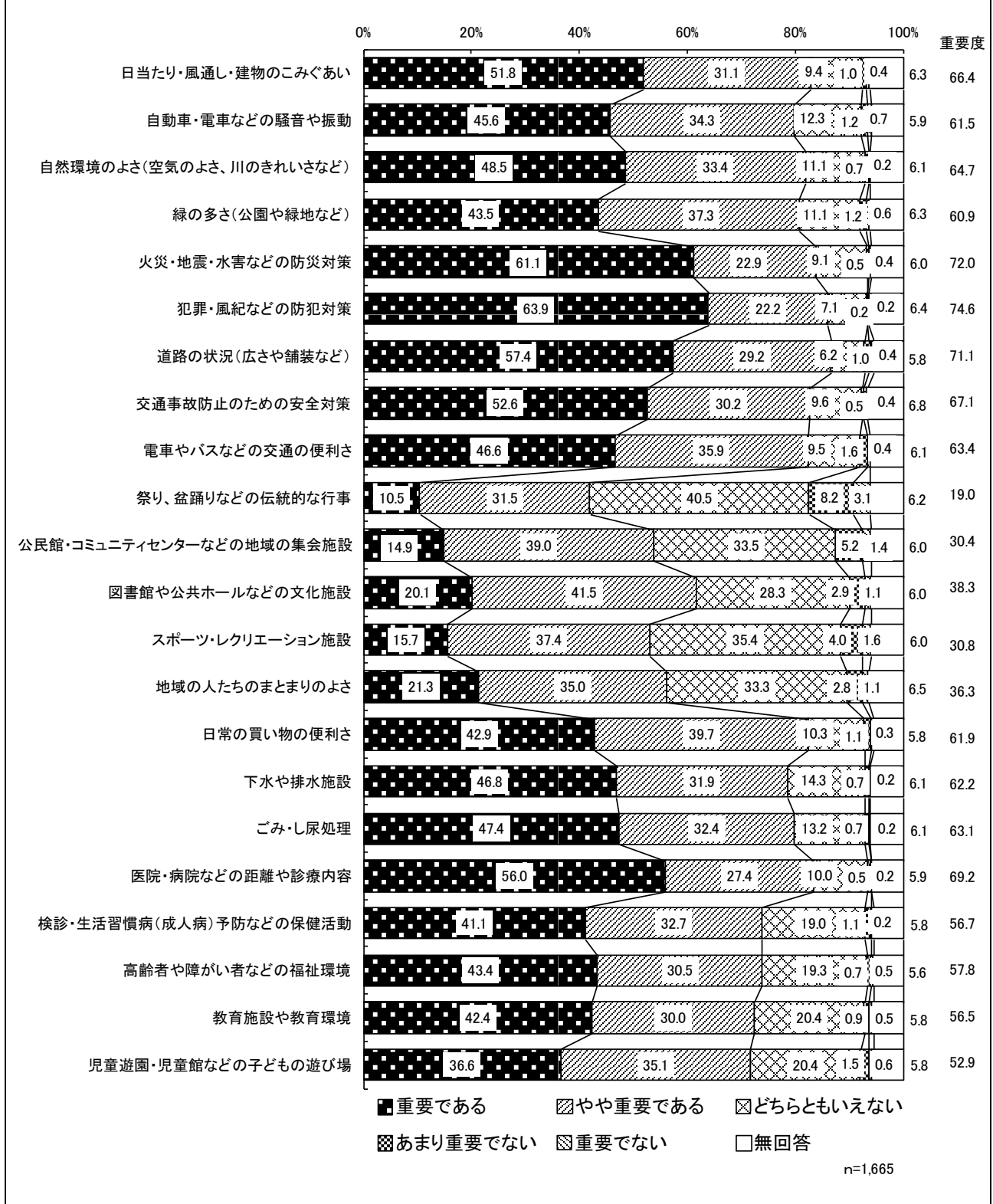
問2-3 あなたは、ご自身の住まいをとりまく環境について、「現在の満足度」と「今後の重要度」をどのようにお考えですか。(項目ごとに〇は1つずつ)

図表2-3-1 現在の満足度



◇「今後の重要度」が高いのは、「道路の状況（広さや舗装など）」で8割台半ば

図表 2-3-2 今後の重要度



(1) 全体の傾向

“現在の満足度”（満足している＋まあ満足している）が高い項目は、「日当たり・風通し・建物のおみぐあい」で65.5%、次いで「日常の買い物の便利さ」（53.9%）、「自動車・電車などの騒音や振動」（51.1%）と続いています。

一方、“現在の不満足度”（やや不満である＋不満である）が高い項目は、「道路の状況（広さや舗装など）」で66.4%、次いで「交通事故防止のための安全対策」（40.0%）、「スポーツ・レクリエーション施設」（31.7%）と続いています。

“今後の重要度”（重要である＋やや重要である）が高い項目は、「道路の状況（広さや舗装など）」で86.6%、次いで「犯罪・風紀などの防犯対策」（86.1%）、「火災・地震・水害などの防災対策」（84.0%）と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、すべての年代で“現在の満足度”が高い項目は「日当たり・風通し・建物のおみぐあい」と「日常の買い物の便利さ」となっています。

「交通事故防止のための安全対策」、「スポーツ・レクリエーション施設」、「ごみ・し尿処理」、「検診・生活習慣病（成人病）予防などの保健活動」、「教育施設や教育環境」の5項目は年代が高くなるにつれて“現在の満足度”が高くなる傾向があります。

② 地区別

地区別にみると、中央地区では他の地区に比べ「電車やバスなどの交通の便利さ」、南部地区では「緑の多さ（公園や緑地など）」の“現在の満足度”が高くなっています。

また、全体的に中央東地区と北部地区では“現在の満足度”の高い項目が高くなっています。

(3) 経年変化

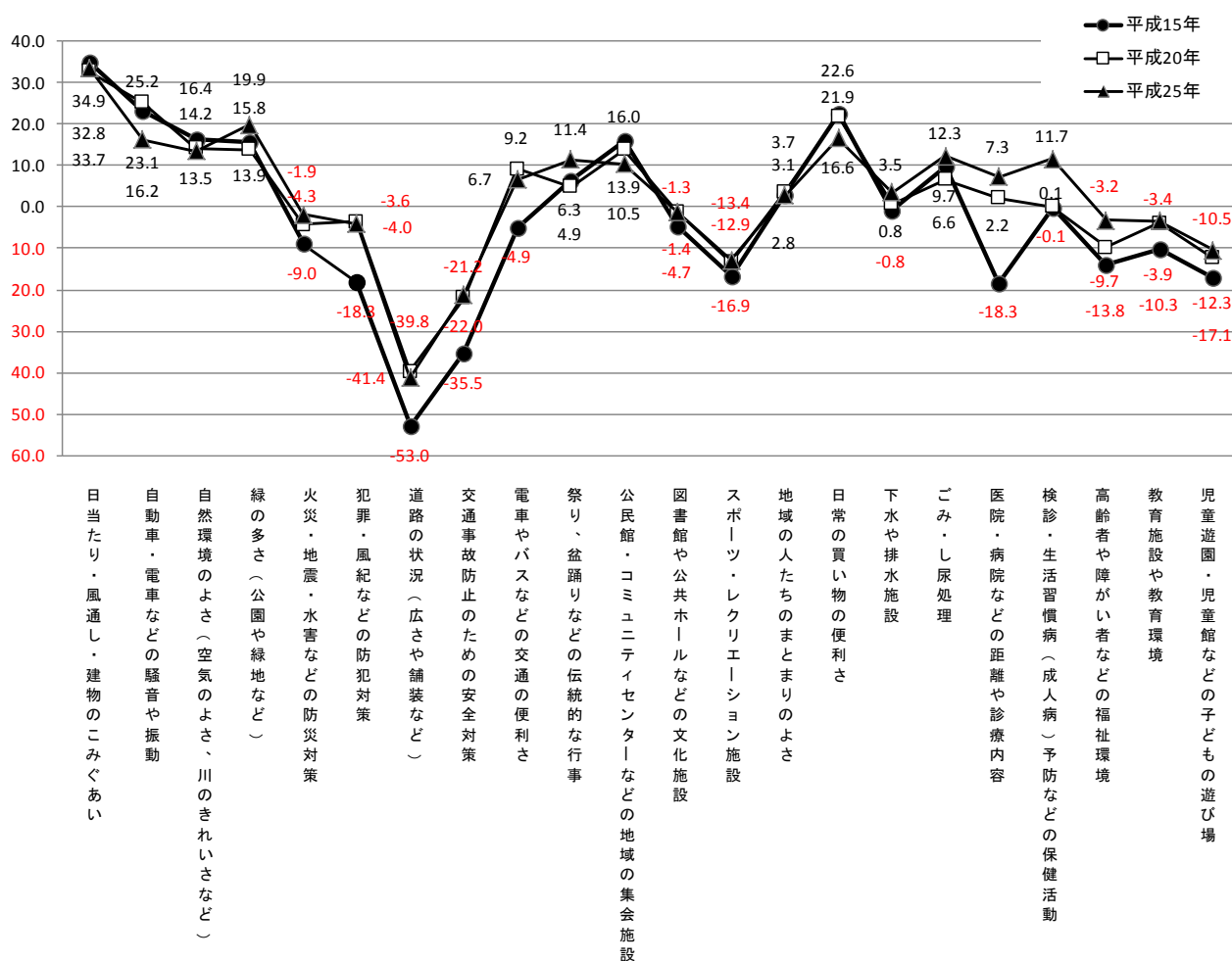
経年変化でみると、前回調査、前々回調査に比べ“満足度”の高くなった項目が多くなっています。

最も“満足度”が高いのは「日当たり・風通し・建物のかみぐあい」となっています。

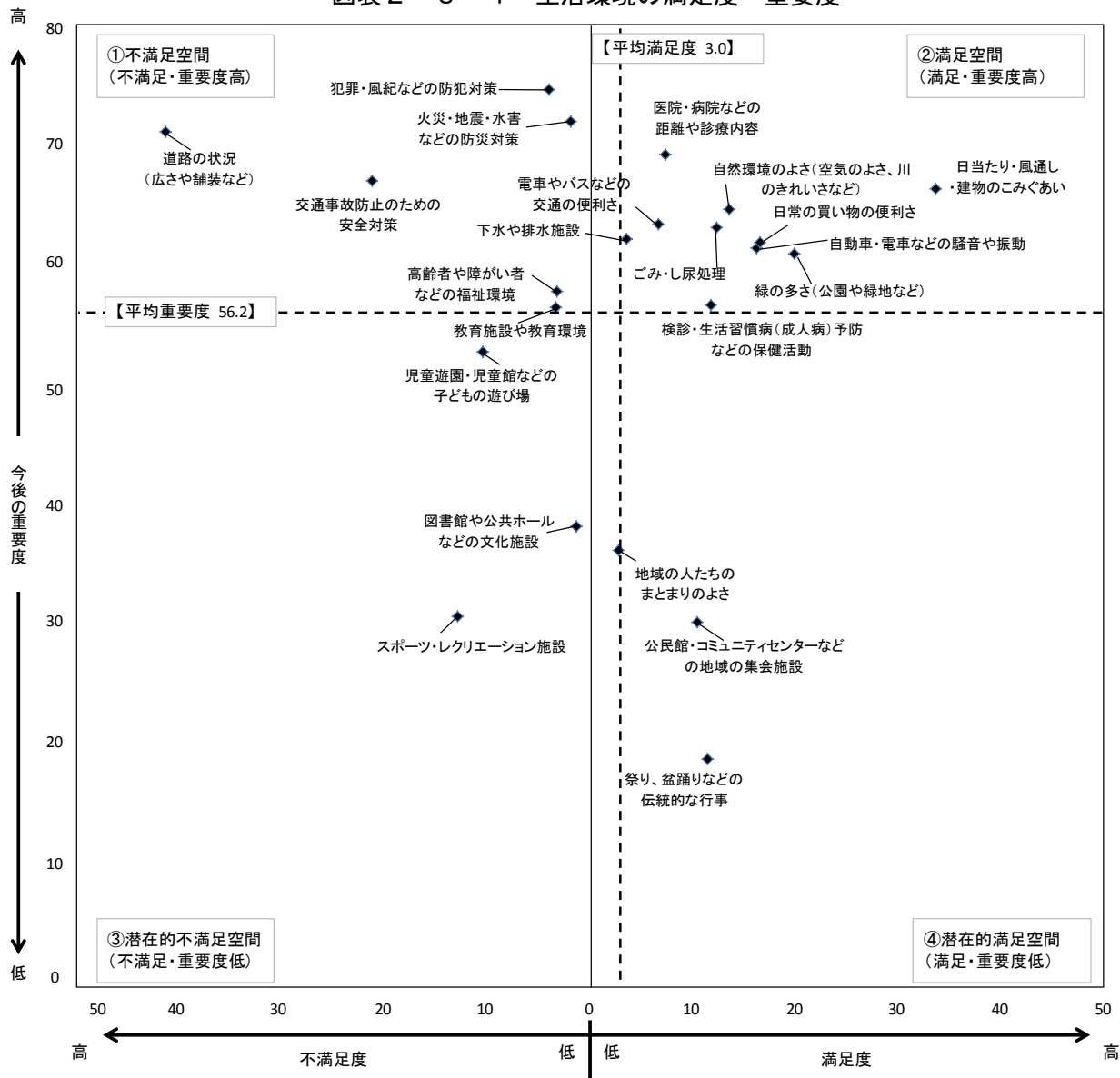
また、「緑の多さ（公園や緑地など）」、「火災・地震・水害などの防災対策」、「祭り、盆踊りなどの伝統的な行事」、「下水や排水施設」、「ごみ・し尿処理」、「医院・病院などの距離や診療内容」、「検診・生活習慣病（成人病）予防などの保健活動」、「高齢者や障がい者などの福祉環境」、「教育施設や教育環境」、「児童遊園・児童館などの子どもの遊び場」は、前回調査、前々回調査に比べ“満足度”が高くなっています。

一方、満足度が下がったのは「自動車・電車などの騒音や振動」、「自然環境のよさ（空気のよさ、川のきれいさなど）」となっています。

図表 2-3-3 今後の満足度



図表 2-3-4 生活環境の満足度・重要度



※満足度・重要度の算出方法

満足度 = (「満足している」 × 1点 + 「まあ満足している」 × 0.5点 + 「やや不満である」 × -0.5点 + 「不満である」 × -1点) ÷ 回答者数 × 100

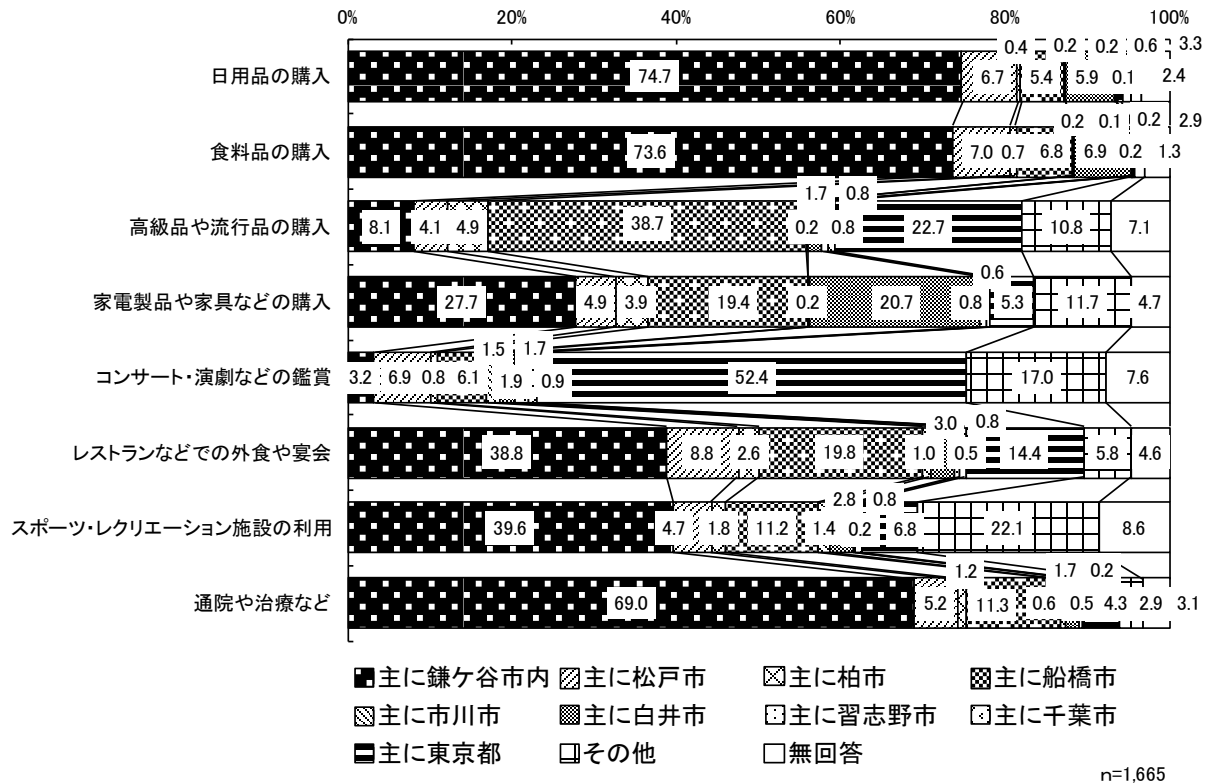
重要度 = (「重要である」 × 1点 + 「やや重要である」 × 0.5点 + 「あまり重要でない」 × -0.5点 + 「重要でない」 × -1点) ÷ 回答者数 × 100

(4) 日常生活圏（現在）

◇現在の日常の生活圏は、主に鎌ケ谷市内は「日用品の購入」が7割台半ば

問2-4 あなたは現在、日常の生活行動をどのようにしていますか。(ア)から(ク)についてあてはまる生活圏をお聞かせください。(項目ごとに○は1つつつ)

図表2-4-1 日常の生活圏（現在）



(1) 全体の傾向

主に鎌ケ谷市内という回答は、「日用品の購入」(74.7%)、「食料品の購入」(73.6%)で7割を超えています。また、「通院や治療など」(69.0%)も主に鎌ケ谷市という回答が高くなっています。

一方、「高級品や流行品の購入」は主に船橋市という回答が38.7%と高くなっています。「コンサート・演劇などの鑑賞」は主に東京都という回答が52.4%と半数を超えています。

鎌ケ谷市内では、「高級品や流行品の購入」(8.1%)、「コンサート・演劇などの鑑賞」(3.2%)が低くなっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

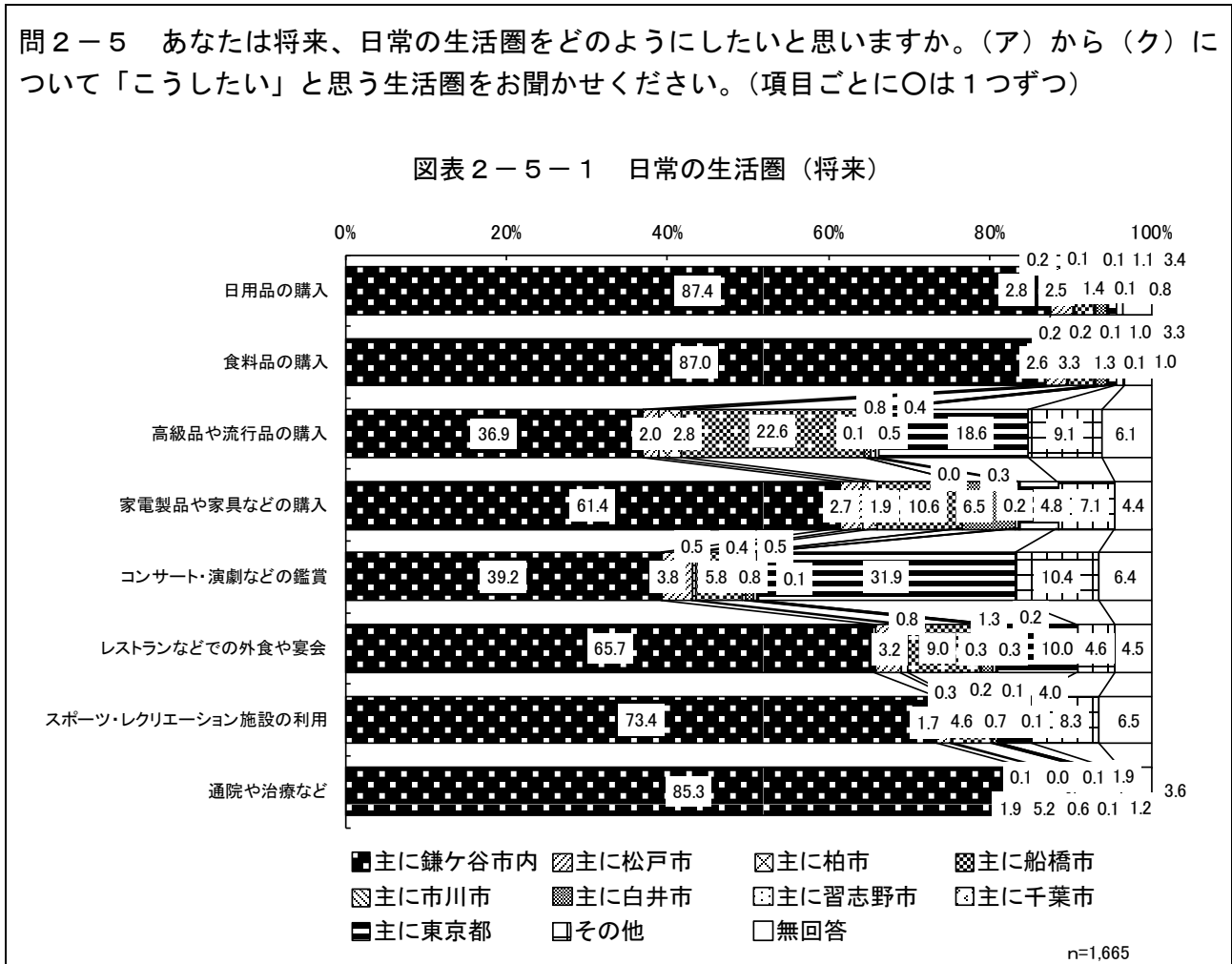
年代別にみると、年代が高くなるにつれて主に鎌ケ谷市内という回答が増加する傾向にあります。

② 地区別

地区別にみると、西部地区・北部地区では「日用品の購入」や「食料品の購入」で鎌ケ谷市だけでなく松戸市という回答も高くなっています。特に西部地区では松戸市という回答が鎌ケ谷市を上回っています。

(5) 日常生活圏 (将来)

◇将来の日常の生活圏は、主に鎌ケ谷市内は「日用品の購入」が8割台半ば



(1) 全体の傾向

現在の日常の生活行動と同様に、主に鎌ケ谷市内という回答が高いのは、「日用品の購入」(87.4%)、「食料品の購入」(87.0%)、「通院や治療など」(85.3%)となっています。

また、現在は「家電製品や家具などの購入」(27.7%)、「レストランなどでの外食や宴会」(38.8%)、「スポーツ・レクリエーション施設の利用」(39.6%)を鎌ケ谷市内で行っているという回答に対して、将来は「家電製品や家具などの購入」(61.4%)、「レストランなどでの外食や宴会」(65.7%)、「スポーツ・レクリエーション施設の利用」(73.4%)を鎌ケ谷市で行いたいと回答しています。また、現在鎌ケ谷市で行っているという回答が低かった「高級品や流行品の購入」(8.1%)、「コンサート・演劇などの鑑賞」(3.2%)も将来は鎌ケ谷市内で行いたいと期待されています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、どの年代でも鎌ケ谷市内という回答が高くなっています。特に年代が高くなるにつれてその傾向は顕著になります。

② 地区別

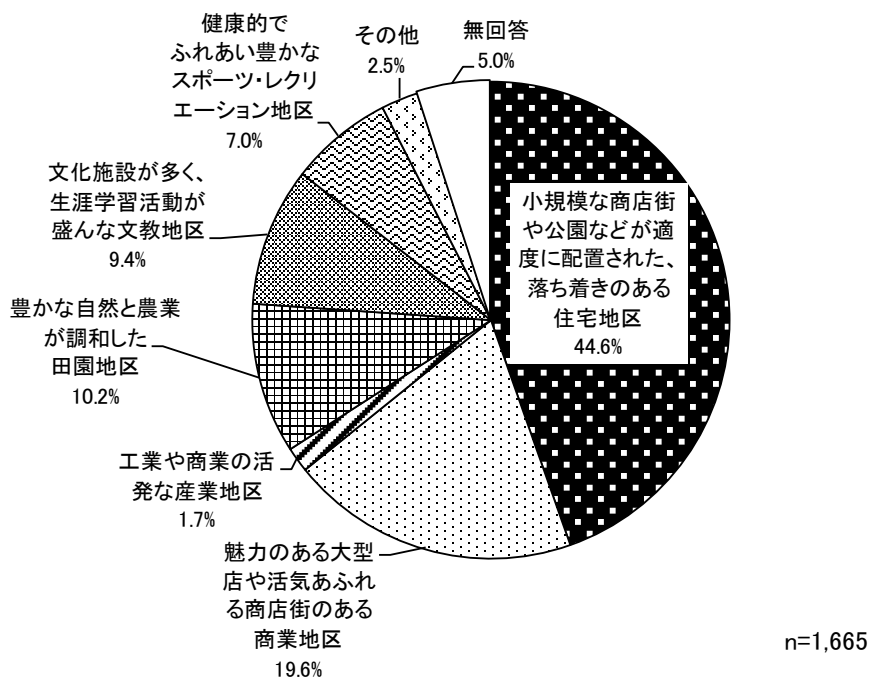
地区別にみると、西部地区・北部地区でも「日用品の購入」、「食料品の購入」は主に鎌ケ谷市内で行いたいという傾向になっていますが、西部地区ではほとんどの項目で松戸市内で行いたいという回答も高くなっています。

(6) 地区の将来像

◇地区の将来像は「小規模な商店街や公園などが適度に配置された、落ち着いた住宅地区」が4割台半ば

問2-6 あなたは、現在お住まいの地域を、将来に向けてどのような地域にしていくべきだ
とお考えですか。(○は1つ)

図表2-6-1 地区の将来像



(1) 全体の傾向

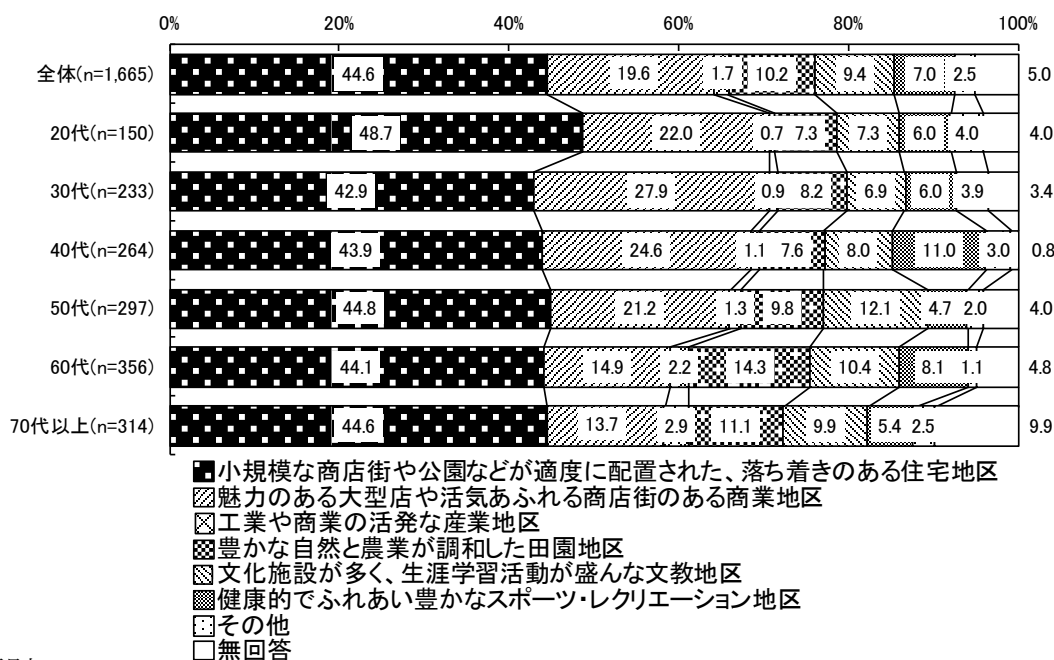
「住宅地区」が44.6%と最も高く、次いで「商業地区」(19.6%)、「田園地区」(10.2%)と続きます。「産業地区」は1.7%と低くなっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、他の年代に比べ20代～50代で「商業地区」という回答がやや高くなっています。また、60代～70代以上では「田園地区」という回答がやや高くなっています。

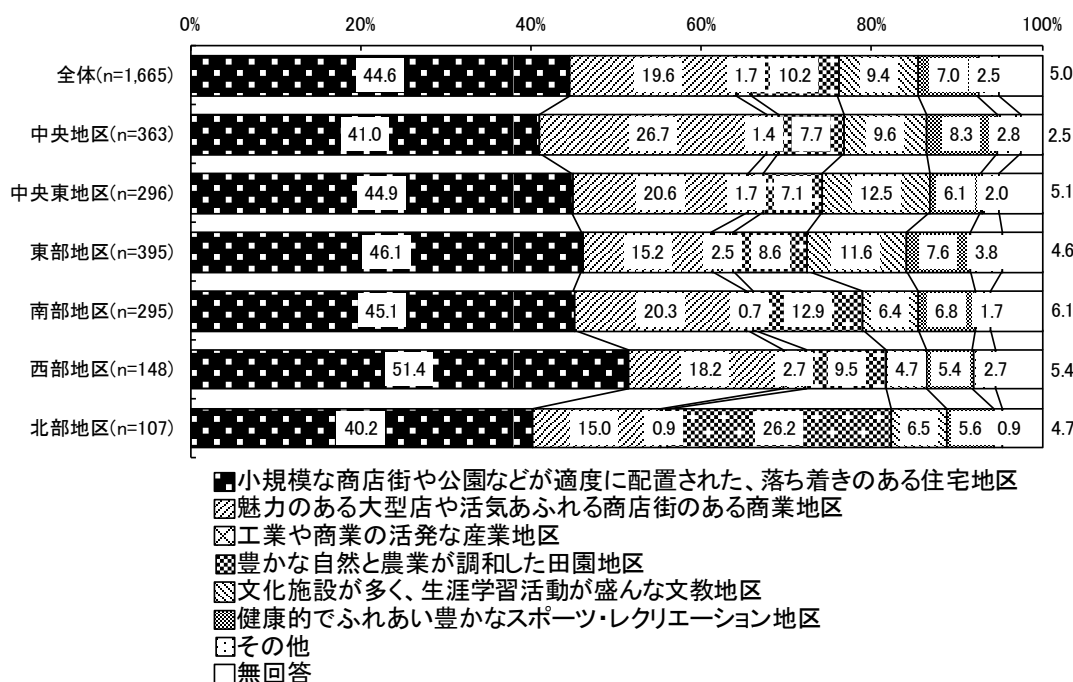
図表 2-6-2 地区の将来像 年代別



② 地区別

地区別にみても、全体と同様の傾向となっていますが、北部地区では「田園地区」という回答が他に比べ高くなっています。

図表 2-6-3 地区の将来像 地区別



(3) 経年変化

全体的に大きな変化はありませんが、「商業地区」という回答が増加し、「住宅地区」という回答が減少しています。

図表 2-6-4 地区の将来像 経年変化

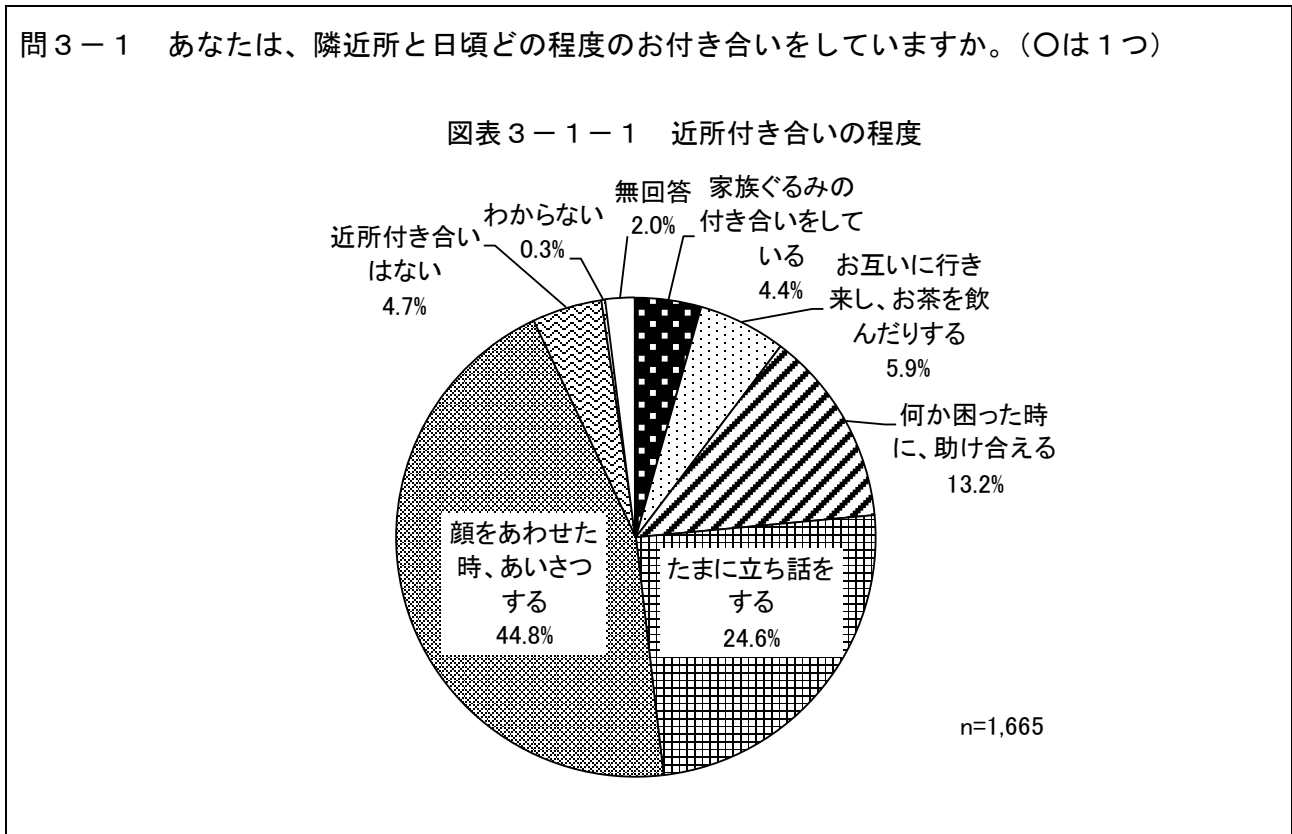
(単位: %)

	置かれた、落ち着いた着きの住宅地区に配	小規模な商店街や公園などが適度に配	街の魅力のある商業地区	魅力的な大型店や活気あふれる商店	工業や商業の活発な産業地区	豊かな自然と農業が調和した田園地区	文化施設が多く、生涯学習活動が盛んな文教地区	健康的でふれあい豊かなスポーツ・レクリエーション地区	その他	無回答
平成15年	49.5	13.3	1.5	9.6	10.4	8.7	3.0	4.2		
平成20年	53.1	13.0	1.3	11.9	8.0	7.7	3.4	1.8		
平成25年	44.6	19.6	1.7	10.2	9.4	7.0	2.5	5.0		

3. 地域活動について

(1) 近所付き合いの程度

◇近所付き合いは「顔をあわせた時、あいさつする」が4割台半ば



(1) 全体の傾向

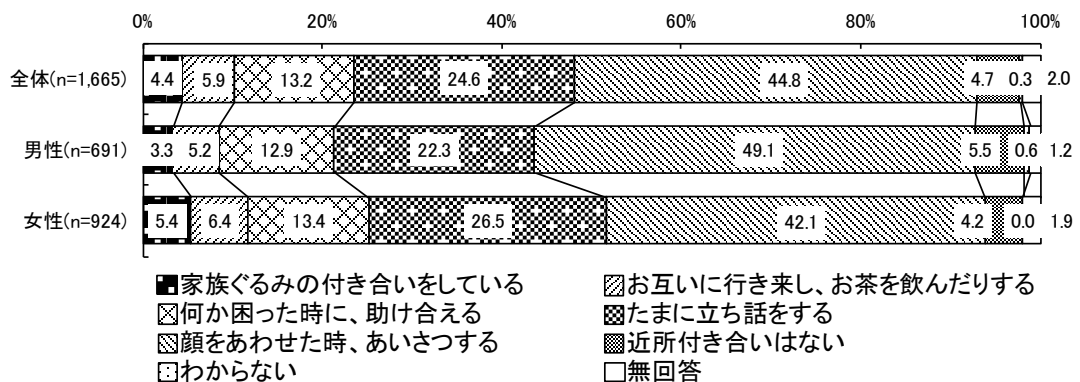
近所付き合いについては「顔をあわせた時、あいさつする」が44.8%と最も高く、次いで「たまに立ち話をする」(24.6%)、「何か困った時に、助け合える」(13.2%)と続いています。「家族ぐるみの付き合いをしている」は4.4%と低くなっています。

(2) 属性別特徴

① 性別

性別にみても全体と傾向と同様になっています。「顔をあわせた時、あいさつする」は男性で49.1%、女性で42.1%となっています。

図表3-1-2 近所付き合いの程度 性別

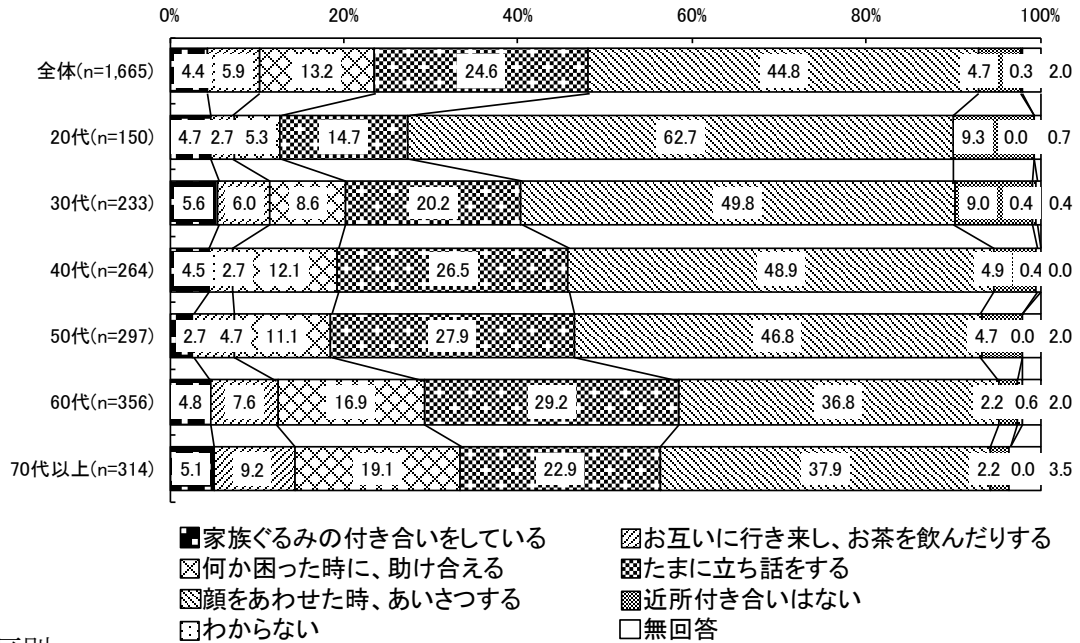


② 年代別

年代別にみると、「顔をあわせた時、あいさつする」は20代で最も高く、年代が高くなるにつれて低くなる傾向にあります。

一方、「近所付き合いはない」という回答も20代～30代で他の年代に比べ、やや高くなっています。

図表 3-1-3 近所付き合いの程度 年代別

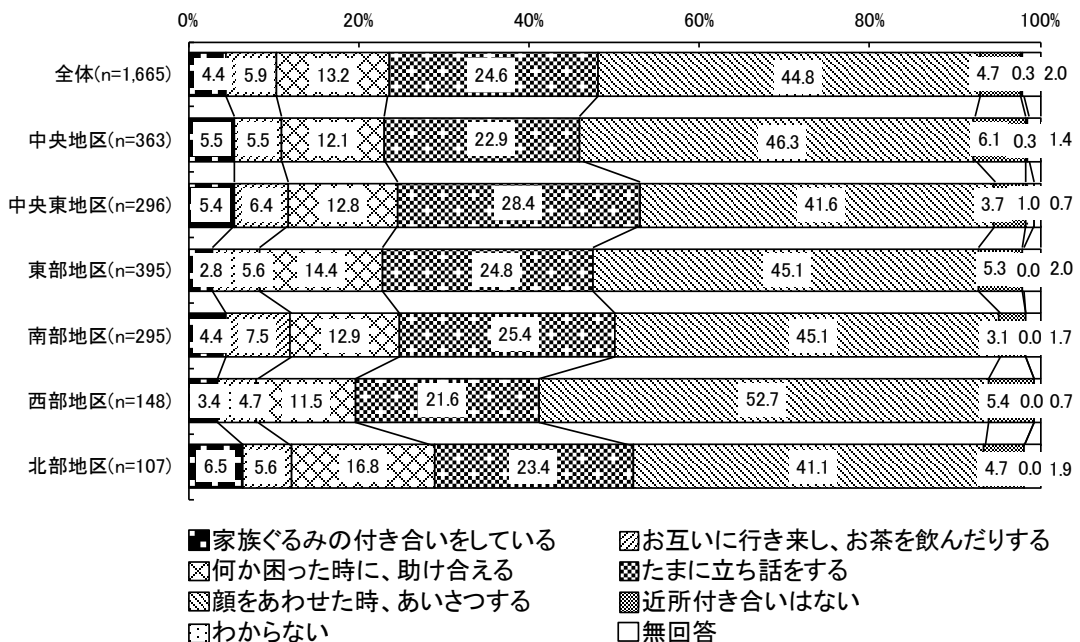


③ 地区別

地区別にみると北部地区で「家族ぐるみの付き合いをしている」が他の地区に比べやや高くなっています。西部地区では「顔をあわせた時、あいさつする」が半数を超えています。

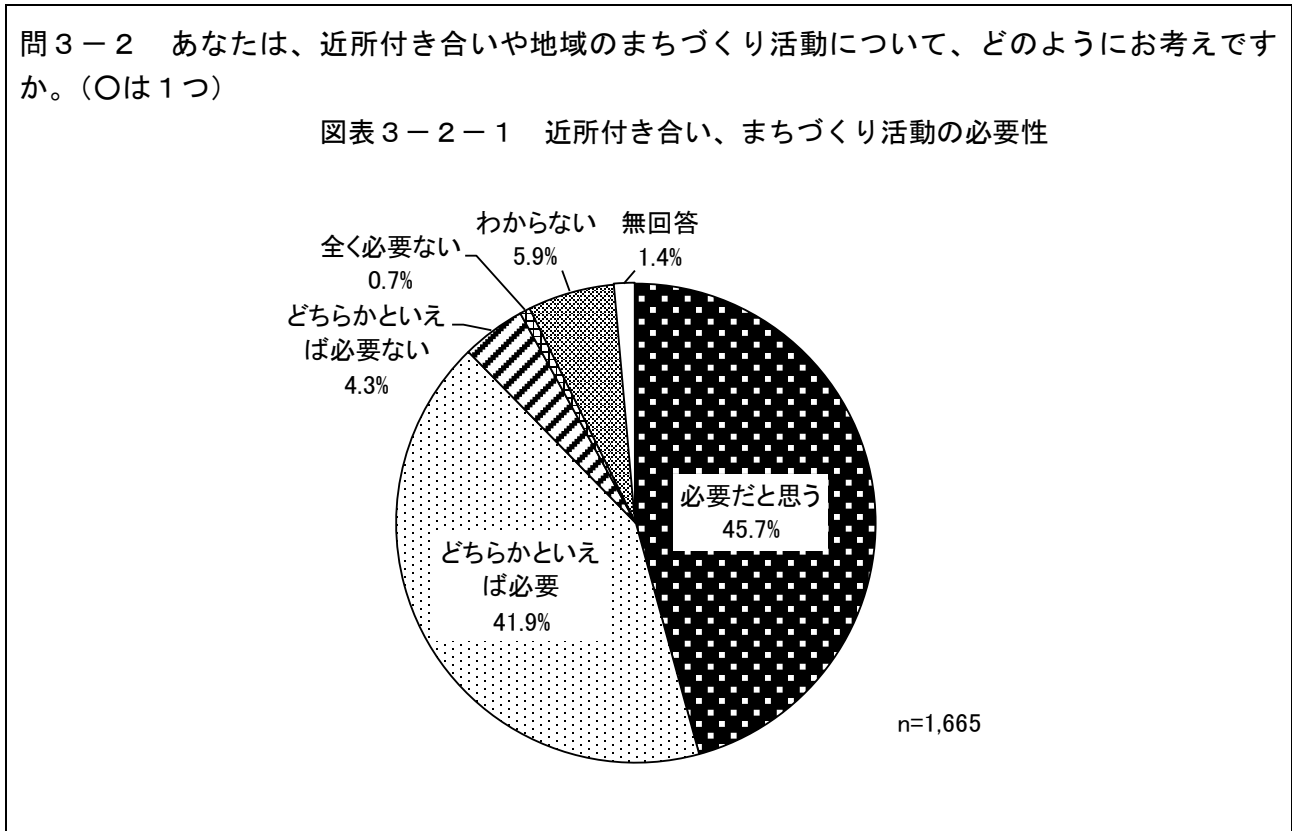
また中央地区では「近所付き合いはない」という回答が他の地区に比べやや高くなっています。

図表 3-1-4 近所付き合いの程度 地区別



(2) 近所付き合い、まちづくり活動の必要性

◇近所付き合いや地域のまちづくり活動については「必要だと思う」が4割台半ば



(1) 全体の傾向

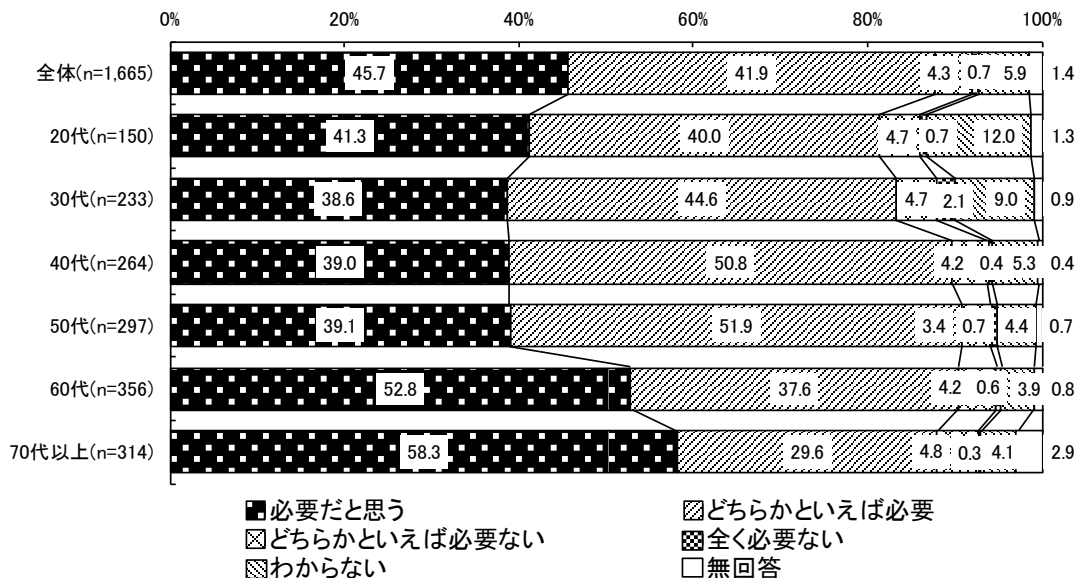
近所付き合いや地域のまちづくり活動については「必要だと思う」が45.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば必要」(41.9%)、「どちらかといえば必要ない」(4.3%)となっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、60代～70代以上で「必要だと思う」が半数を超えています。

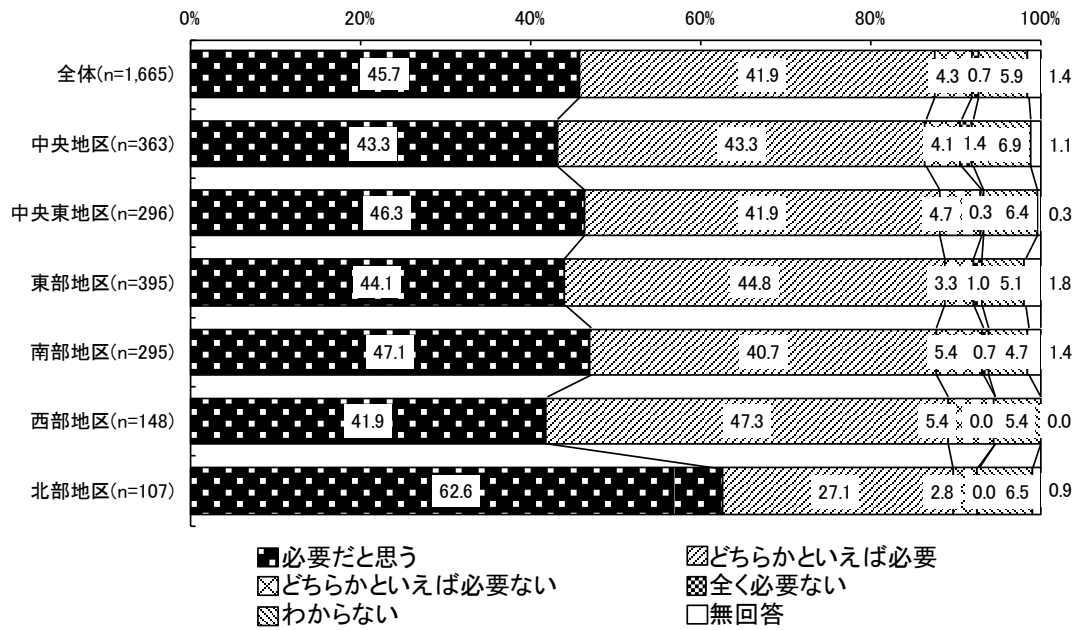
図表3-2-2 近所付き合い、まちづくり活動の必要性 年代別



② 地区別

地区別にみると、北部地区では「必要だと思う」が62.6%と他の地区に比べ高くなっています。南部地区・西部地区では「どちらかといえば必要ない」が他の地区に比べやや高くなっています。

図表 3-2-3 近所付き合い、まちづくり活動の必要性 地区別

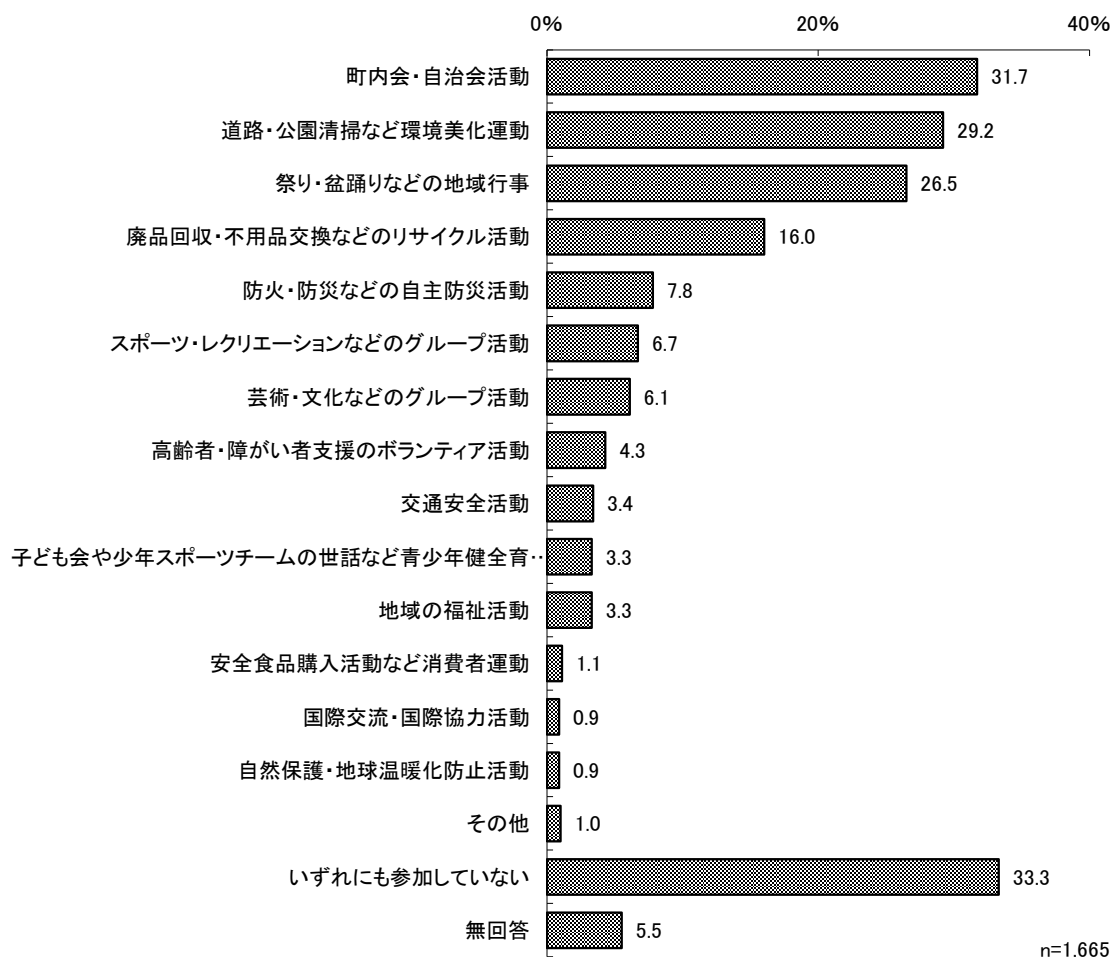


(3) 地域活動への参加

◇地域活動への参加状況は「町内会・自治会活動」が3割強

問3-3 あなたは、地域活動に参加していますか。(この1年間に参加したもの全てに○)

図表3-3-1 地域活動への参加状況



(1) 全体の傾向

この一年間に参加した地域活動は「町内会・自治会活動」が31.7%と最も高く、次いで「道路・公園清掃など環境美化運動」(29.2%)、「祭り・盆踊りなどの地域行事」(26.5%)と続いています。一方、「いずれにも参加していない」も33.3%と高くなっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

概ね全体の傾向と同様に、「町内会・自治会活動」、「祭り・盆踊りなどの地域行事」、「道路・公園清掃など環境美化運動」という回答が高くなっています。特に60代では「町内会・自治会活動」、「道路・公園清掃など環境美化運動」が4割を超え、他の年代に比べ高くなっています。

地域活動への参加が最も低いのは20代で約6割が「いずれにも参加していない」と回答しています。年代が高くなるにつれて「いずれにも参加していない」という回答は減少しています。

② 地区別

地区別にみると、南部地区・北部地区では「祭り・盆踊りなどの地域行事」が、中央東地区では「道路・公園清掃など環境美化運動」が他の地区に比べ高くなっています。

「いずれにも参加していない」人は中央地区で約4割と他の地区に比べ高くなっています。

(3) 経年変化

全体的に大きな変化はありません。

図表3-3-2 地域活動への参加状況 経年変化

(単位:%)

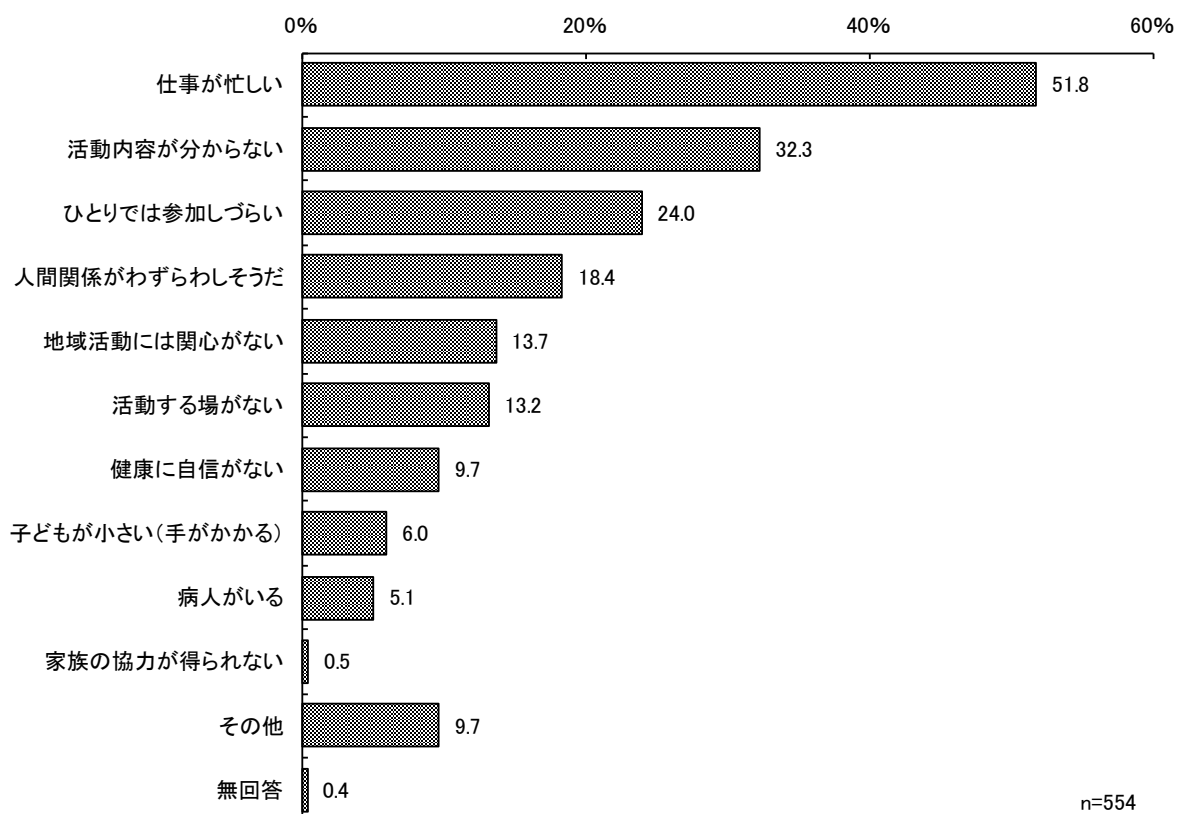
	町内会・自治会活動	祭り・盆踊りなどの地域行事	道路・公園清掃など環境美化運動	防火・防災などの自主防災活動	芸術・文化などのグループ活動	交通安全活動	自然保護・地球温暖化防止活動	国際交流・国際協力活動	安全食品購入活動など消費者運動
平成15年	30.4	25.3	25.4	5.9	8.2	2.7	1.0	1.1	1.5
平成20年	36.1	25.7	31.0	8.3	6.8	3.4	0.9	1.2	1.1
平成25年	31.7	26.5	29.2	7.8	6.1	3.4	0.9	0.9	1.1

	高齢者・障がい者支援のボランティア活動	子ども会や少年健全育成活動	スポーツ・レクリエーションなどのグループ活動	廃品回収・不用品交換などのリサイクル活動	地域の福祉活動	その他	いずれにも参加していない	無回答
平成15年	5.0	3.9	8.8	16.6	-	1.6	36.0	6.7
平成20年	3.4	4.4	8.5	16.7	3.1	1.3	35.1	0.9
平成25年	4.3	3.3	6.7	16.0	3.3	1.0	33.3	5.5

◇地域活動へ参加しない理由は「仕事が忙しい」が5割強

問3-3-1 [問3-3で16. いずれにも参加していないと回答した方にお伺いします]
地域活動に参加されなかった主な理由は何ですか。(〇は3つ以内)

図表3-3-3 地域活動へ参加しない理由



(1) 全体の傾向

「仕事が忙しい」が51.8%と最も高くなっています。次いで、「活動内容が分からない」(32.3%)、「ひとりでは参加しづらい」(24.0%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、20代～50代までは「仕事が忙しい」が最も高く6割を超えています。70代以上になると「健康に自信がない」が最も高くなります。

20代と70代以上を除くすべての年代で「活動内容がわからない」という回答が3割を超えており、特に30代では4割台半ばと高くなっています。

② 地区別

地区別にみると、いずれの地区でも「仕事が忙しい」が最も高くなっています。また、北部地区では「活動内容が分からない」が5割弱と、他の地区に比べ高くなっています。

(3) 経年変化

全体的に増加傾向にあり、特に「ひとりでは参加しづらい」、「活動する場がない」、「人間関係がわずらわしそうだ」は増加が顕著となっています。

図表3-3-4 地域活動へ参加しない理由 経年変化

(単位: %)

	仕事 が忙 しい	活 動 内 容 が 分 か ら な い	ひ と り で は 参 加 し づ ら い	活 動 す る 場 が な い	健 康 に 自 信 が な い	子 ど も が 小 さ い (手 が か か る)
平成15年	46.3	30.4	21.1	11.3	12.5	3.9
平成20年	50.0	31.4	19.8	8.8	12.6	4.8
平成25年	51.8	32.3	24.0	13.2	9.7	6.0

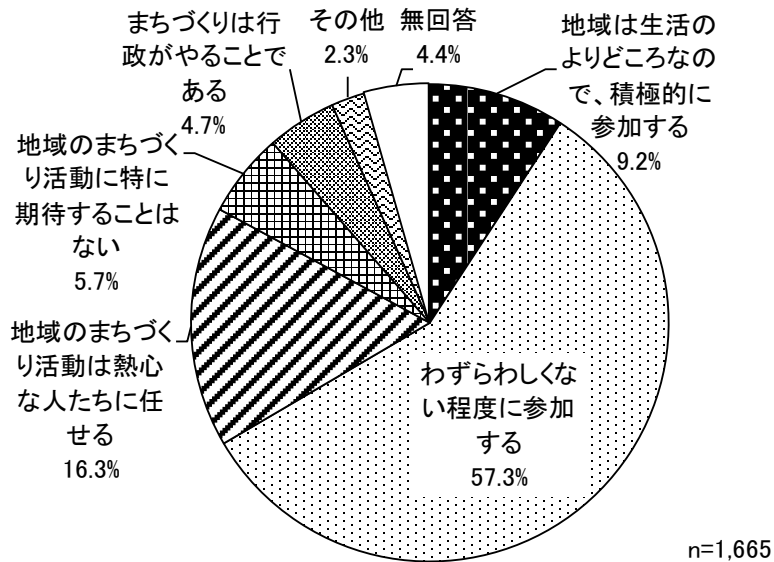
	病 人 が い る	家 族 の 協 力 が 得 ら れ な い	人 間 関 係 が わ ず ら わ し そ う だ	地 域 活 動 に は 関 心 が な い	そ の 他	無 回 答
平成15年	5.1	0.6	12.9	14.3	11.4	1.0
平成20年	3.7	0.9	14.7	12.3	13.8	0.6
平成25年	5.1	0.5	18.4	13.7	9.7	0.4

(4) 地域のまちづくりに対する考え方

◇地域のまちづくりに対する考え方は「わずらわしくない程度に参加する」が5割台半ば

問3-4 あなたは、地域のまちづくりについてどのようにお考えですか（○は1つ）

図表3-4-1 地域のまちづくりに対する考え方



(1) 全体の傾向

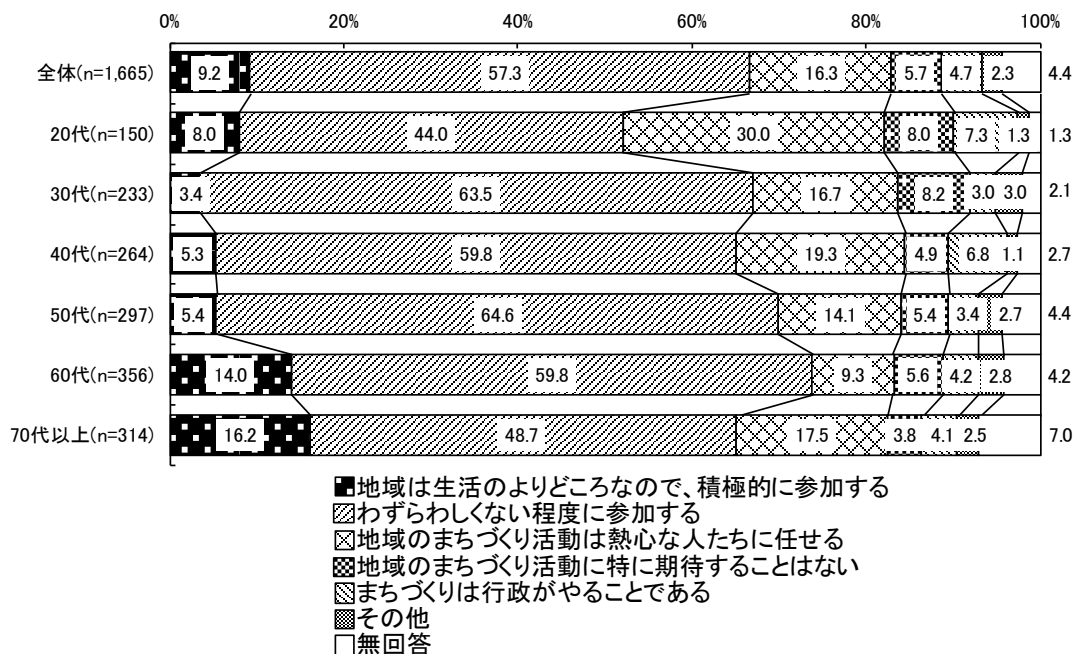
「参加する程度はわずらわしくない」が57.3%と最も高く、次いで「地域のまちづくり活動は熱心な人たちに任せる」(16.3%)、「地域は生活のよりどころなので、積極的に参加する」(9.2%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、「地域は生活のよりどころなので、積極的に参加する」は60代～70代以上で1割台半ばと他の年代に比べ高くなっています。20代では「地域は生活のよりどころなので、積極的に参加する」が1割弱と比較的高くなっていますが、一方で「地域のまちづくり活動は熱心な人たちに任せる」という回答も3割と高くなっています。

図表3-4-2 地域のまちづくりに対する考え方 年代別



(3) 経年変化

全体的に大きな変化はないものの、「地域は生活のよりどころなので、積極的に参加する」は減少し、「地域のまちづくり活動は熱心な人たちに任せる」は増加しています。

図表3-4-3 地域のまちづくりに対する考え方 経年変化

(単位: %)

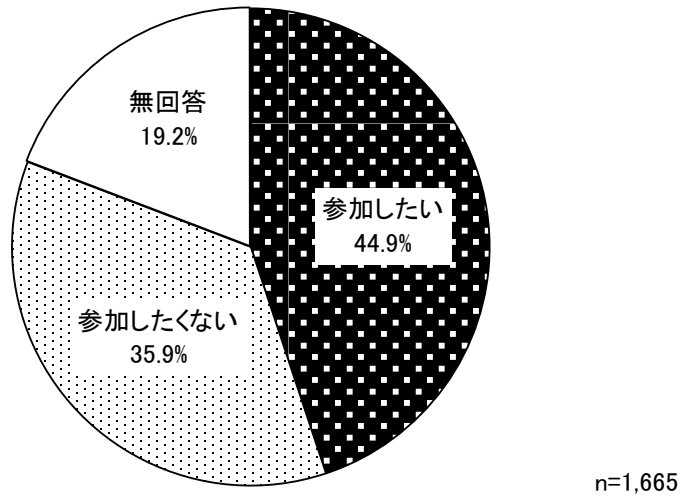
	地域は生活のよりどころなので、積極的に参加する	わずらわしくない程度に参加する	地域のまちづくり活動は熱心な人たちに任せる	地域のまちづくり活動に特に期待することはない	まちづくりは行政がやることである	その他	無回答
平成15年	12.2	54.8	14.5	5.6	4.7	3.2	5.1
平成20年	13.2	57.6	12.5	5.9	4.3	3.2	3.2
平成25年	9.2	57.3	16.3	5.7	4.7	2.3	4.4

(5) 今後のまちづくり活動への参加

◇今後のまちづくり活動へ「参加したい」という人は4割台半ば

問3-5 あなたは、今後、まちづくり活動に参加したいと思いますか。(○は1つ)

図表3-5-1 今後のまちづくり活動への参加希望の有無



(1) 全体の傾向

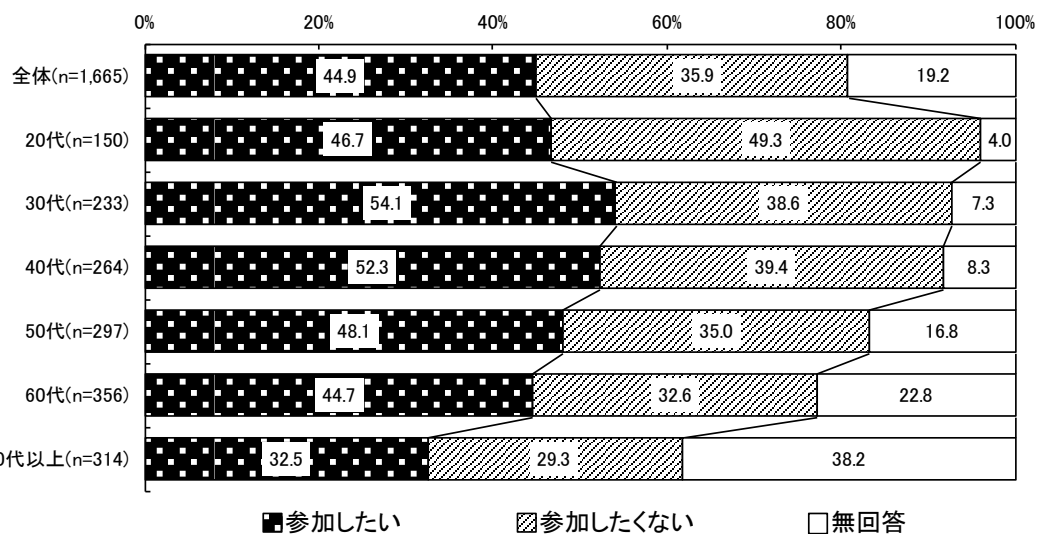
今後のまちづくり活動へ「参加したい」が44.9%、「参加したくない」が35.9%となっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、「参加したい」という回答は30代で最も高く、70代以上は最も低くなっています。

図表 3-5-2 今後のまちづくり活動への参加希望の有無 年代別



(3) 経年変化

「参加したい」という回答は減少しています。一方で「参加したくない」という回答は年々増加しています。

図表 3-5-3 今後のまちづくり活動への参加希望の有無 経年変化

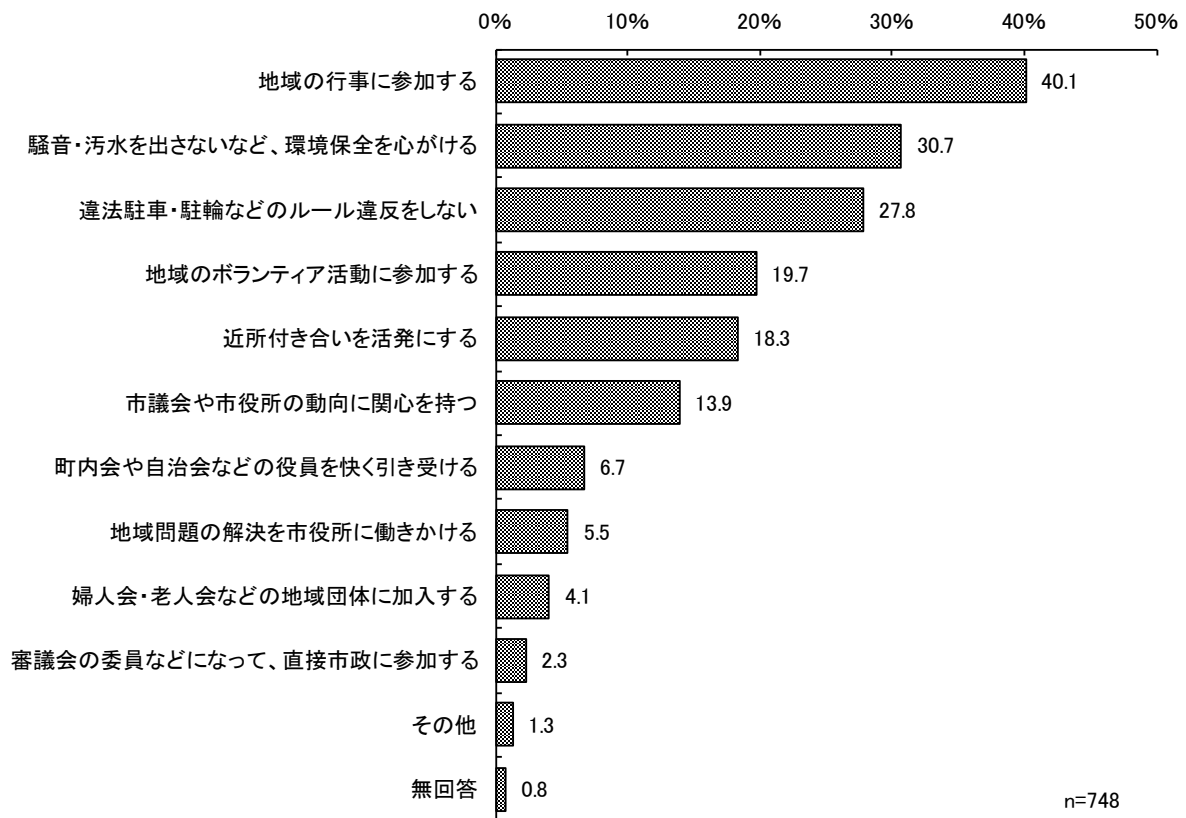
(単位: %)

	参加したい	参加したくない	無回答
平成15年	54.4	32.0	13.6
平成20年	61.5	33.4	5.1
平成25年	44.9	35.9	19.2

◇参加したい活動は「地域の行事に参加する」が約4割

問3-5-1 [問3-5で1. 参加したいと回答した方にお伺いします] あなたご自身ができるまちづくり活動を次の中から選んでください。(〇は2つ以内)

図表3-5-4 参加したいまちづくり活動



(1) 全体の傾向

「地域の行事に参加する」が40.1%と最も高く、次いで「騒音・汚水を出さないなど、環境保全を心がける」(30.7%)、「違法駐車・駐輪などのルール違反をしない」(27.8%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、30代を除くすべての年代で「地域の行事に参加する」が最も高く、特に60代～70代以上では4割を超えています。20代では「近所付き合いを活発にする」が他の年代に比べ高くなっています。30代～50代では「違法駐車・駐輪などのルール違反をしない」、「騒音・汚水を出さないなど、環境保全を心がける」、50代～60代では「地域のボランティア活動に参加する」、70代以上では「市議会や市役所の動向に関心を持つ」が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

地区別にみると、すべての地区で「地域の行事に参加する」、「違法駐車・駐輪などのルール違反をしない」、「騒音・汚水を出さないなど、環境保全を心がける」という回答が高くなっています。

また、中央東地区では「地域のボランティア活動に参加する」が他の地域に比べ高くなっています。

(3) 経年変化

「地域の行事に参加する」は増加し、「騒音・汚水を出さないなど、環境保全を心がける」は減少しています。

図表3-5-5 参加したい活動 経年変化

(単位:%)

	地域の行事に参加する	婦人会・老人会などの地域団体に加入する	町内会や自治会などの役員を快く引き受ける	地域のボランティア活動に参加する	地域問題の解決を市役所に働きかける	市議会や市役所の動向に関心を持つ
平成15年	35.3	7.6	5.7	18.4	7.1	18.8
平成20年	38.4	6.8	6.0	18.7	6.5	16.6
平成25年	40.1	4.1	6.7	19.7	5.5	13.9

	直接市議会の委員などに参加する	違法駐車・駐輪などのルール違反をしない	騒音・汚水を出さないなど、環境保全を心がける	近所付き合いを活発にする	その他	無回答
平成15年	7.4	32.9	39.4	15.6	1.3	0.3
平成20年	5.6	27.3	35.5	18.4	2.3	0.1
平成25年	2.3	27.8	30.7	18.3	1.3	0.8

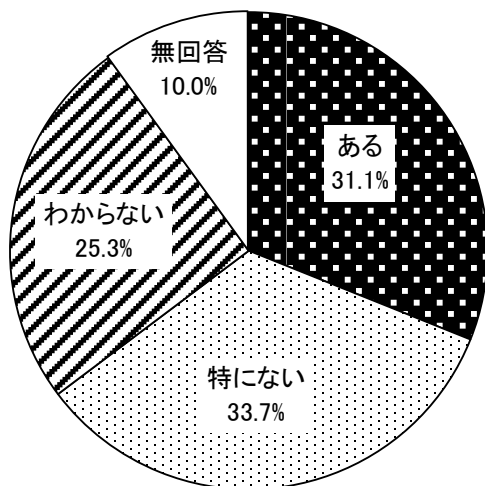
4. 市政について

(1) 市政についての不満等の有無

◇市政についての不満がある人は約3割

問4-1 市政について不満や納得できないこと、あるいは要望などがありますか。(○は1つ)

図表4-1-1 市政についての不満の有無



n=1,665

(1) 全体の傾向

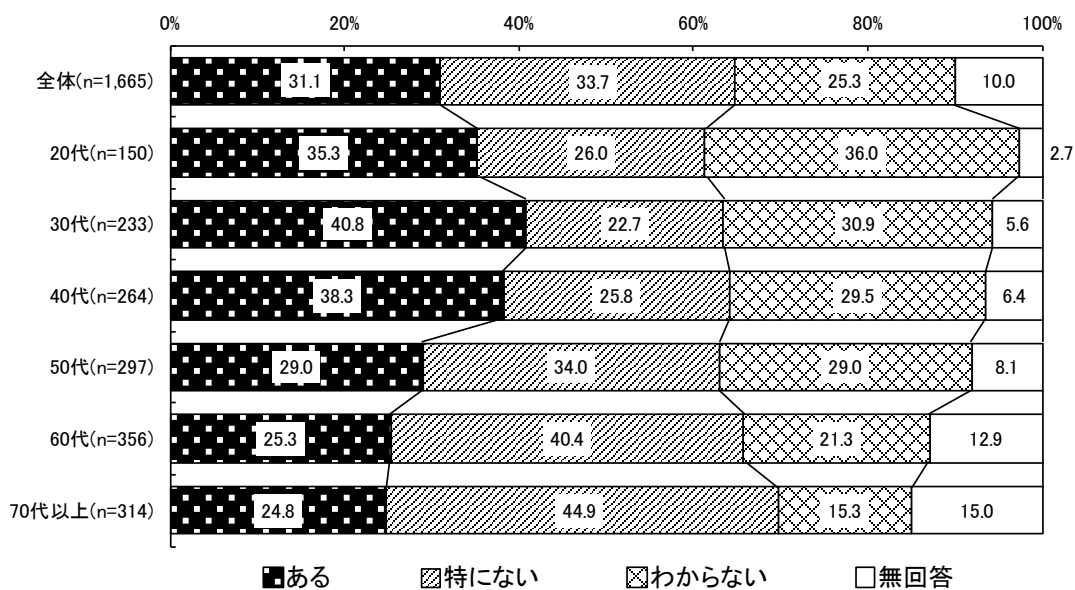
市政についての不満は「特にない」が33.7%で「ある」(31.1%)を上回っています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、「不満がある」は30代で最も高く、年代が高くなるにつれて減少しています。

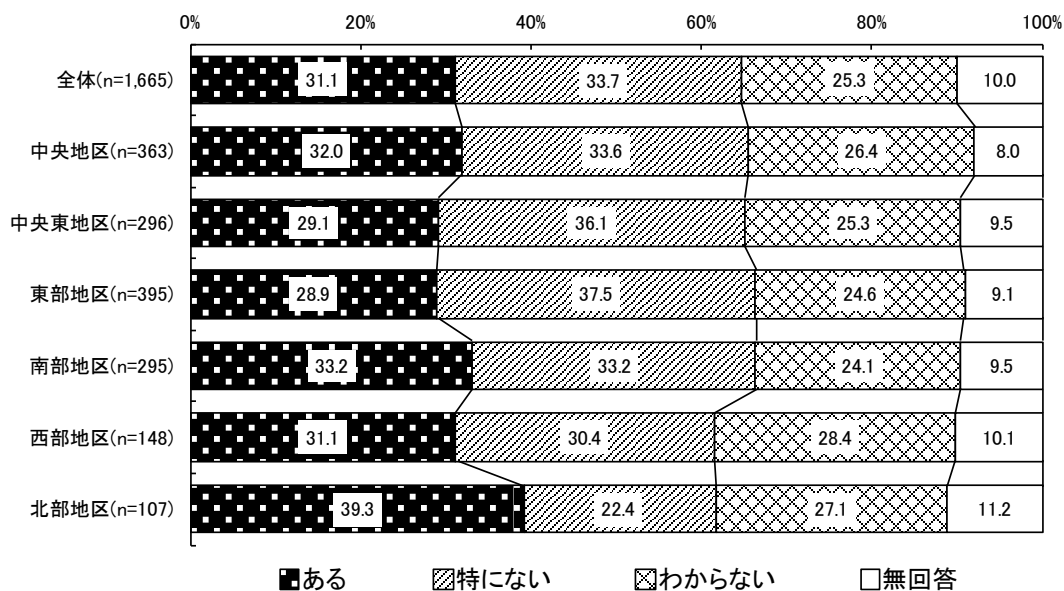
図表 4-1-2 市政についての不満の有無 年代別



② 地区別

地区別にみると、北部地区で他の地区に比べて「不満がある」という回答が高くなっています。

図表 4-1-3 市政についての不満の有無 地区別



(3) 経年変化

経年変化でみると、平成20年度と比較して「特にない」は2.0ポイント高くなっており、「ある」は6.3ポイント低くなっています。

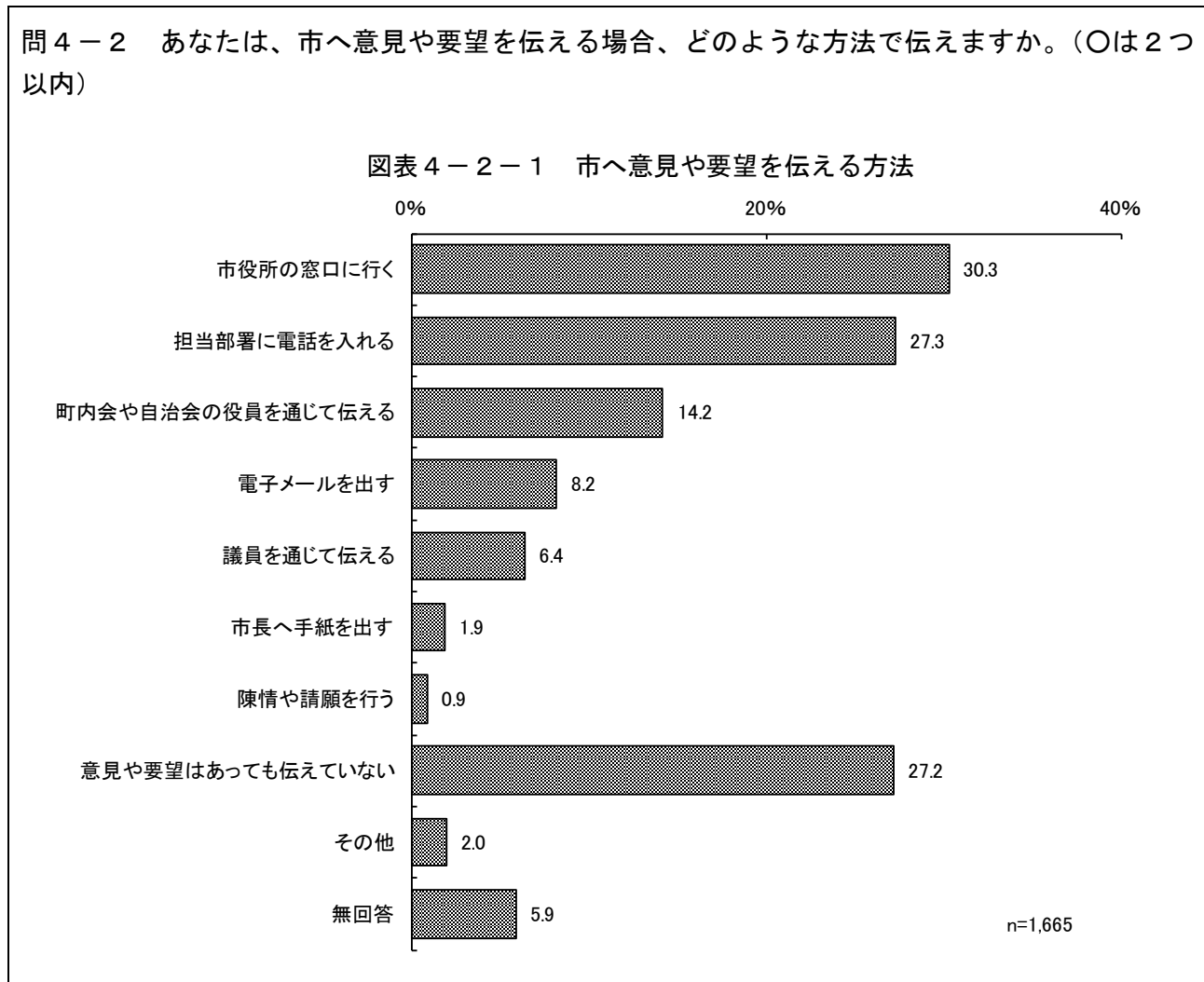
図表4-1-4 市政についての不満の有無 経年変化

(単位:%)

	あ る	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
平成15年	38.6	35.4	19.3	6.7
平成20年	37.4	31.7	25.9	5.0
平成25年	31.1	33.7	25.3	10.0

(2) 市へ意見や要望を伝える方法

◇市へ意見や要望を伝える方法は「市役所の窓口に行く」が約3割



(1) 全体の傾向

市へ意見や要望を伝える方法としては「市役所の窓口に行く」が30.3%と最も高く、次いで「担当部署に電話を入れる」(27.3%)、「町内会や自治会の役員を通じて伝える」(14.2%)と続いています。一方、「意見や要望はあっても伝えていない」は27.2%と高くなっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、20代～40代では「意見や要望はあっても伝えていない」が最も高くなっています。50代～70代以上では「市役所の窓口に行く」、「担当部署に電話を入れる」という回答が高くなっています。

② 地区別

全体的には「市役所の窓口に行く」が高くなっています。また中央地区、北部地区では「意見や要望はあっても伝えていない」、中央東地区、東部地区、南部地区では「担当部署に電話を入れる」という回答が他の地区に比べ高くなっています。

(3) 経年変化

「市役所の窓口に行く」は増加しましたが、「担当部署に電話を入れる」などの回答は減少しています。

図表 4-2-2 市へ意見や要望を伝える方法 経年変化

(単位:%)

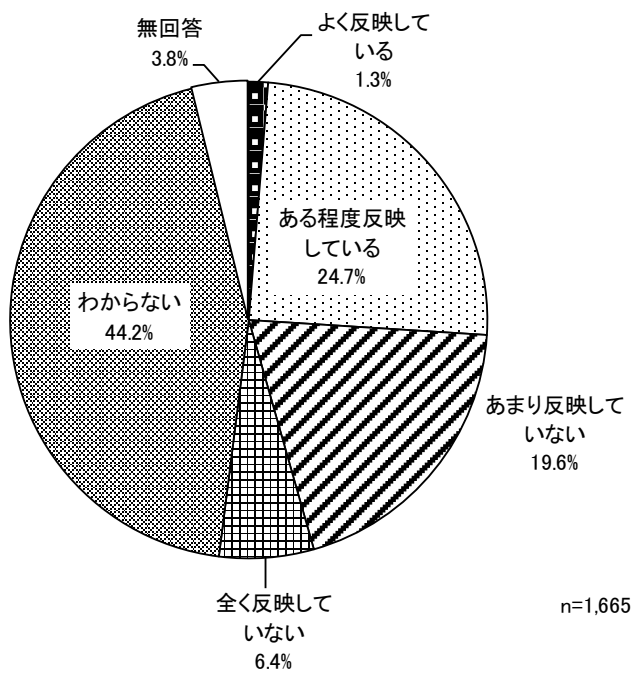
	市役所の窓口に行く	担当部署に電話を入れる	市長へ手紙を出す	電子メールを出す	陳情や請願を行う	議員を通じて伝える	町内会や自治会の役員を通じて伝える	意見や要望はあっても伝えていない	その他	無回答
平成15年	33.6	41.6	7.6	17.5	3.1	12.4	21.6	-	3.2	4.7
平成20年	24.7	32.3	3.9	10.6	0.7	9.7	14.8	31.6	2.8	3.3
平成25年	30.3	27.3	1.9	8.2	0.9	6.4	14.2	27.2	2.0	5.9

(3) 意見や要望の市政への反映状況

◇意見や要望の市政への反映状況は「ある程度反映している」が2割台半ば、「わからない」も4割台半ば

問4-3 あなたは、鎌ヶ谷市は市民の意見や要望を市政に反映していると思いますか。(○は1つ)

図表4-3-1 意見や要望の市政への反映状況



(1) 全体の傾向

“反映している”（よく反映している＋ある程度反映している）という回答は26.0%、“反映していない”（あまり反映していない＋全く反映していない）という回答も26.0%となっています。

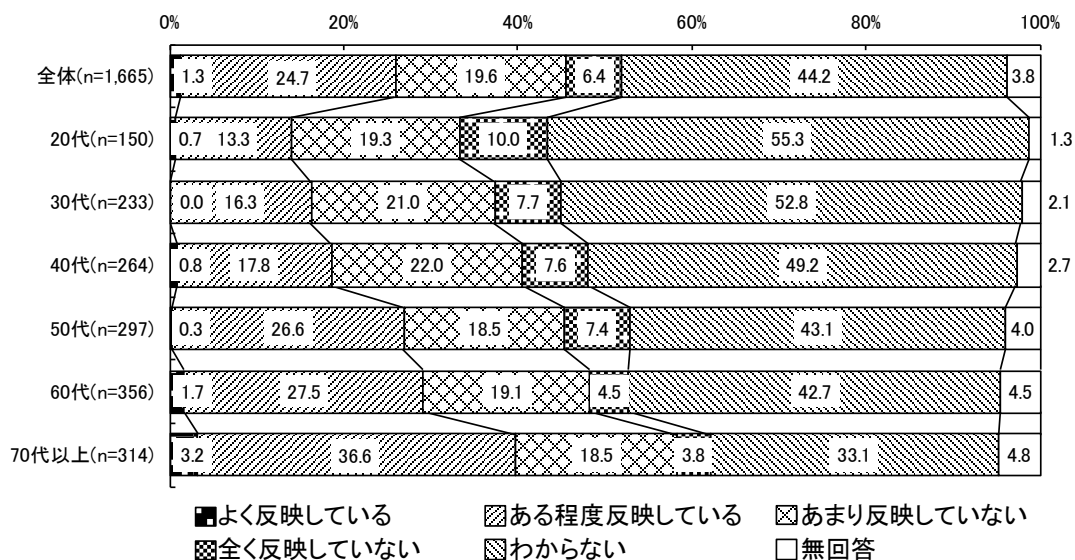
また「わからない」という回答は44.2%と高くなっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

“反映している”（よく反映している+ある程度反映している）という回答は年代が高くなるにつれて高くなる傾向にあります。20代～30代では「わからない」という回答が半数を超えています。

図表 4-3-2 意見や要望の市政への反映状況 年代別

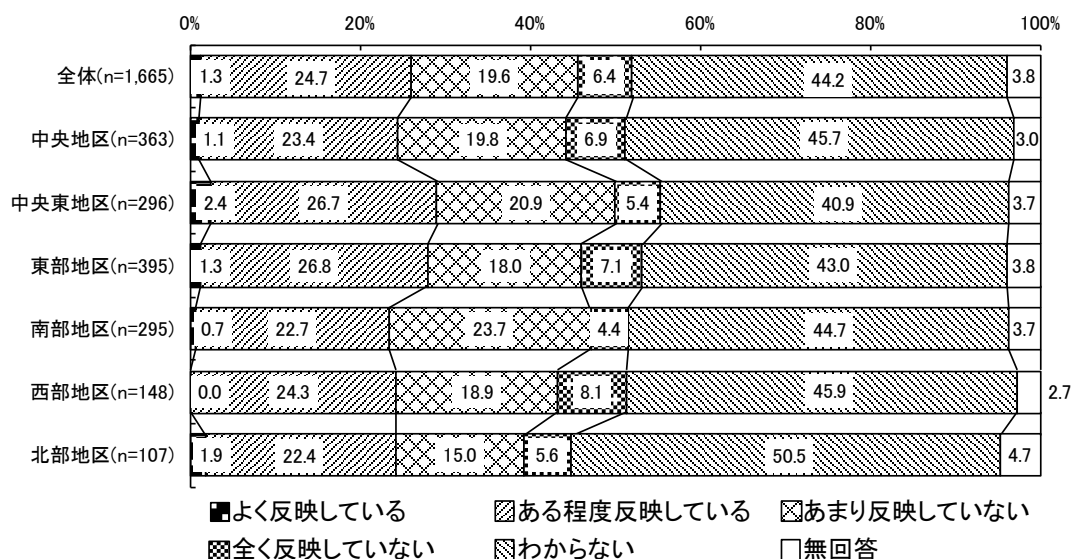


② 地区別

地区別にみると、中央東地区では“反映している”（よく反映している+ある程度反映している）という回答が他の地区に比べ高くなっています。

一方、中央地区、南部地区、西部地区では“反映している”という回答を“反映していない”（あまり反映していない+全く反映していない）が上回っています。

図表 4-3-3 意見や要望の市政への反映状況 地区別



(3) 経年変化

経年変化でみると、平成20年度と比較して“反映していない”（あまり反映していない＋全く反映していない）は1.1ポイント低くなっています。

図表4-3-4 意見や要望の市政への反映状況 経年変化
(単位:%)

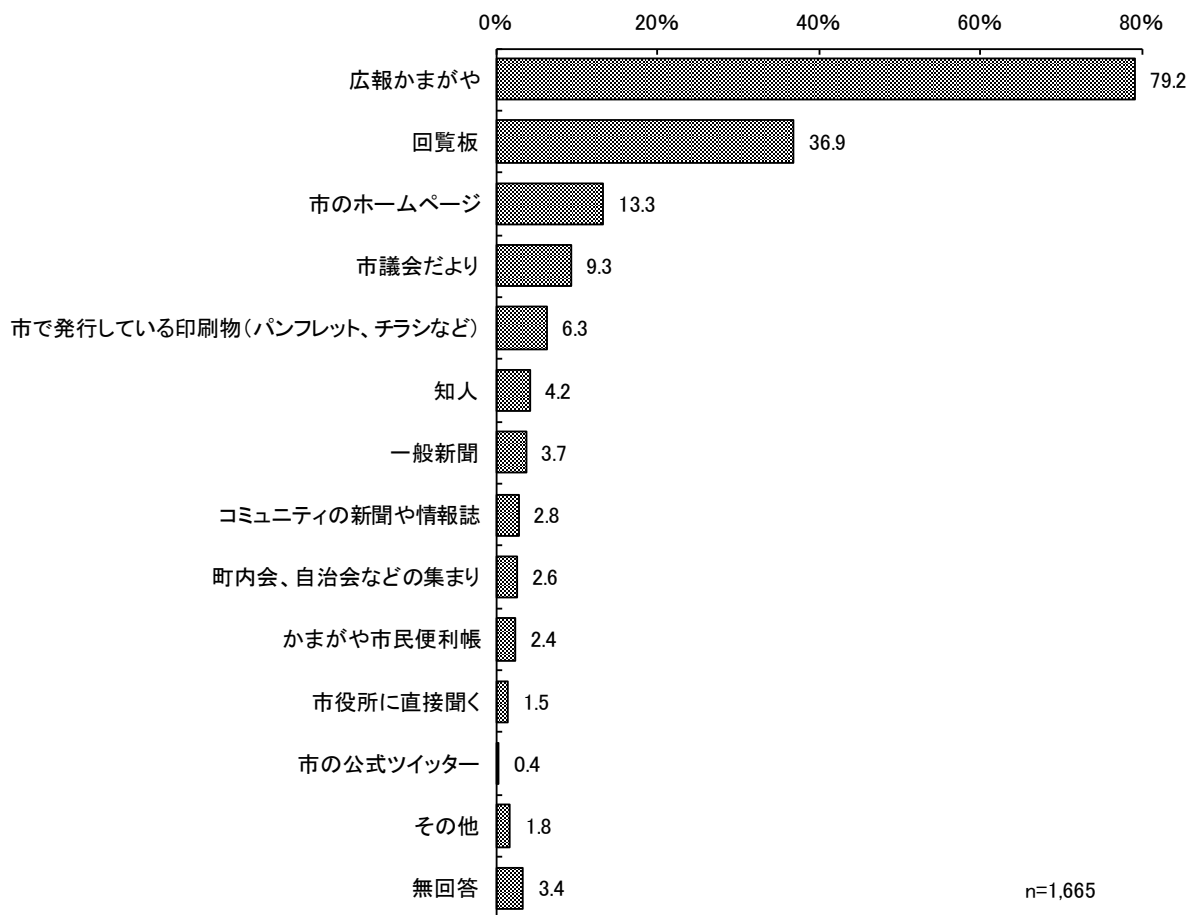
	よく反映している	ある程度反映している	あまり反映していない	全く反映していない	わからない	無回答
平成15年	1.8	24.5	27.4	5.7	37.8	2.9
平成20年	1.9	29.4	22.3	4.8	39.5	2.1
平成25年	1.3	24.7	19.6	6.4	44.2	3.8

(4) 市政情報の入手方法

◇市政情報の入手方法は「広報かまがや」が約8割

問4-4 あなたは、市政に関する情報をどのようなものから得ていますか。(○は2つ以内)

図表4-4-1 市政情報の入手方法



(1) 全体の傾向

市政情報の入手先は「広報かまがや」が79.2%で最も高く、次いで「回覧板」(36.9%)、「市のホームページ」(13.3%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、「広報かまがや」、「回覧板」という回答は年代が高くなるにつれて、高くなっています。また、「市のホームページ」は20代～40代の若い世代では一定の回答を得ています。「市の公式ツイッター」は40代以上の年代では回答が無く、周知が必要であると考えられます。

② 地区別

地区別にみると、「広報かまがや」、「回覧版」がすべての地区で主な入手方法となっています。南部地区、北部地区では「市議会だより」が他の地区に比べ高くなっています。

(3) 経年変化

「広報かまがや」は減少傾向にあり、「市のホームページ」は増加しています。また、これまで2割であった「市議会だより」は1割を下回り大きく減少しています。

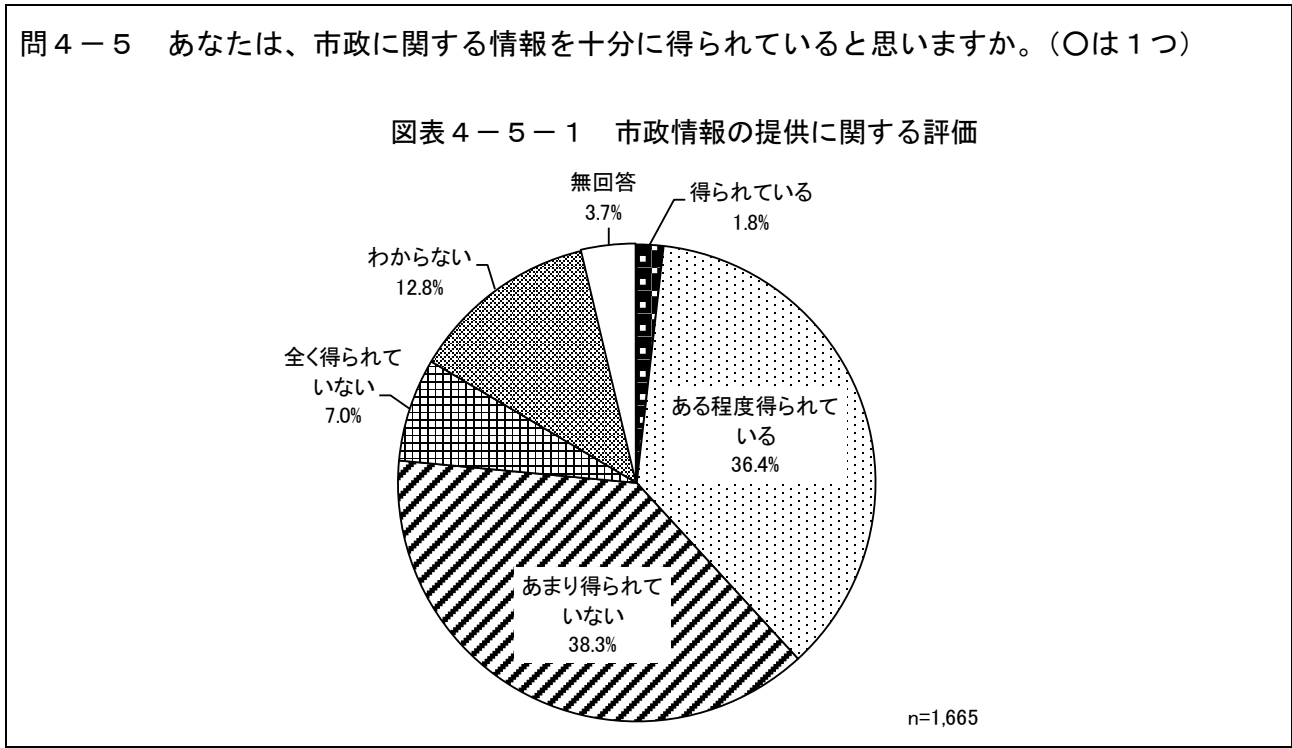
図表 4-4-2 市政情報の入手方法 経年変化

(単位: %)

	広報かまがや	市のホームページ	かまがや市民便利帳	市議会だより	市で発行している印刷物（パンフレット、チラシなど）	市の公式ツイッター	回覧板
平成15年	86.4	3.6	-	22.9	-	-	34.4
平成20年	86.1	5.1	0.6	22.8	4.2	-	30.3
平成25年	79.2	13.3	2.4	9.3	6.3	0.4	36.9
	町内会、自治会などの集まり	一般新聞	コミュニティの新聞や情報誌	知人	市役所に直接聞く	その他	無回答
平成15年	4.9	5.9	4.4	6.2	0.7	1.7	2.3
平成20年	4.2	5.8	4.5	4.8	0.8	2.0	2.2
平成25年	2.6	3.7	2.8	4.2	1.5	1.8	3.4

(5) 市政情報の提供に関する評価

◇市政情報は経年変化でみると、“情報を得られている”は増加



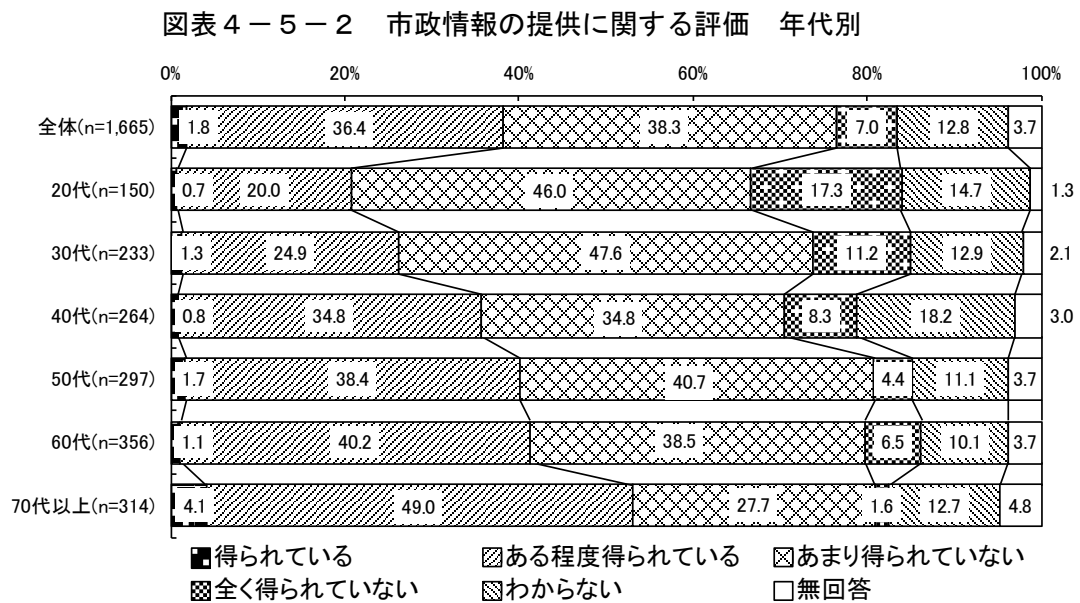
(1) 全体の傾向

“情報を得られている”（得られている+ある程度得られている）という回答は38.2%で、“得られていない”（あまり得られていない+全く得られていない）の45.3%を下回っています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、“情報を得られている”（得られている+ある程度得られている）という回答は年代が高くなるにつれて高くなっています。20代～30代では“得られていない”（あまり得られていない+全く得られていない）という回答が半数を超えて高くなっています。



(3) 経年変化

経年変化でみると、平成20年度と比較して“情報を得られている”（得られている＋ある程度得られている）という回答は1.8ポイント高くなっており、“得られていない”（あまり得られていない＋全く得られていない）という回答は2.2ポイント低くなっています。

図表4-5-3 市政情報の提供に関する評価 経年変化

(単位: %)

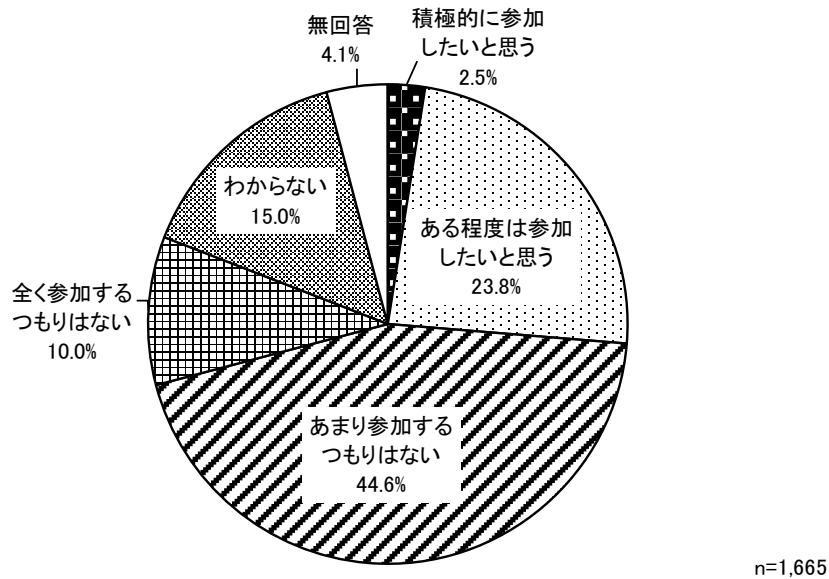
	得られている	ある程度得られている	あまり得られていない	全く得られていない	わからない	無回答
平成15年	1.9	35.7	43.4	6.3	10.9	2.0
平成20年	1.7	34.7	42.7	4.8	14.1	2.1
平成25年	1.8	36.4	38.3	7.0	12.8	3.7

(6) 市政への参加意向

◇市政へは“参加したい”が2割台半ば、一方、“参加するつもりはない”は5割台半ば

問4-6 あなたは、ご自身が市政に参加することについてはどう思われますか。(○は1つ)

図表4-6-1 市政への参加意向



(1) 全体の傾向

“参加したいと思う”（積極的に参加したいと思う＋ある程度は参加したいと思う）は26.3%、“参加するつもりはない”（あまり参加するつもりはない＋全く参加するつもりはない）は54.6%と“参加したいと思う”を大きく上回っています。また、「わからない」という回答も15.0%となっています。

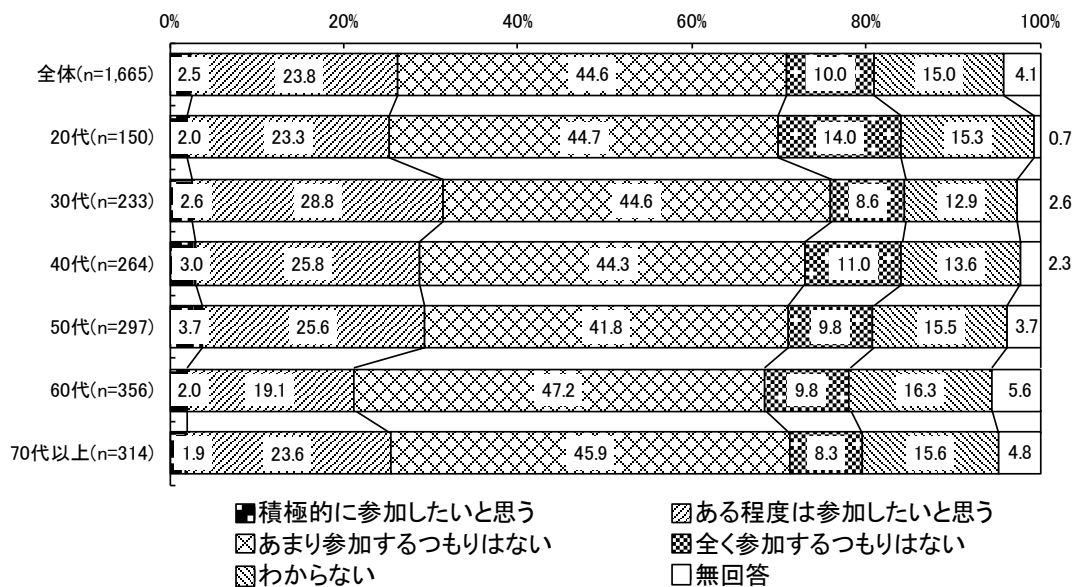
(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、30代で「ある程度は参加したいと思う」、50代で「積極的に参加したいと思う」が他の年代に比べ高くなっています。

20代では「全く参加するつもりはない」が他の年代に比べ高くなっています。

図表 4-6-2 市政への参加意向 年代別



(3) 経年変化

“参加したいと思う”（積極的に参加したいと思う+ある程度は参加したいと思う）はやや減少傾向にあります。“参加するつもりはない”（あまり参加するつもりはない+全く参加するつもりはない）は大きく増加しています。

図表 4-6-3 市政への参加意向 経年変化

(単位: %)

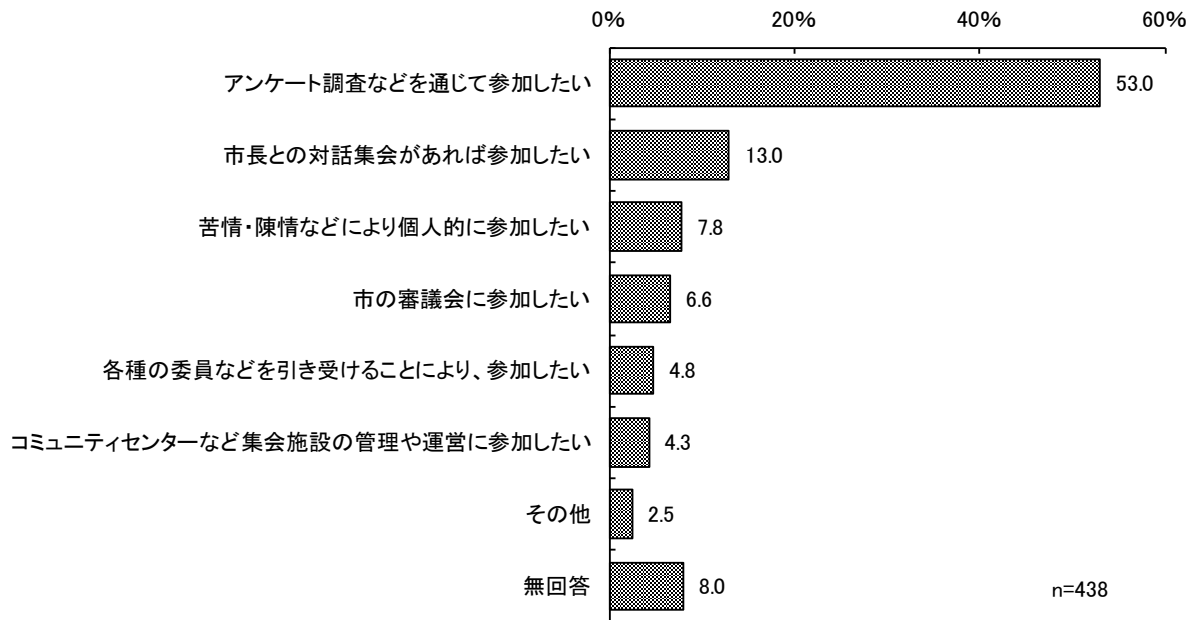
	積極的に参加したいと思う	ある程度は参加したいと思う	あまり参加するつもりはない	全く参加するつもりはない	わからない	無回答
平成15年	2.6	31.0	37.1	6.5	18.8	4.1
平成20年	2.7	26.1	29.9	7.7	27.1	6.6
平成25年	2.5	23.8	44.6	10.0	15.0	4.1

(7) 市政への参加方法

◇市政への参加方法は「アンケート調査などを通じて参加したい」が5割台半ば

問4-6-1 [問4-6で「参加したい(1または2)」と回答した方にお伺いします]
具体的にどのような方法で市政に参加したいと思いますか。(〇は1つ)

図表4-7-1 市政への参加方法



(1) 全体の傾向

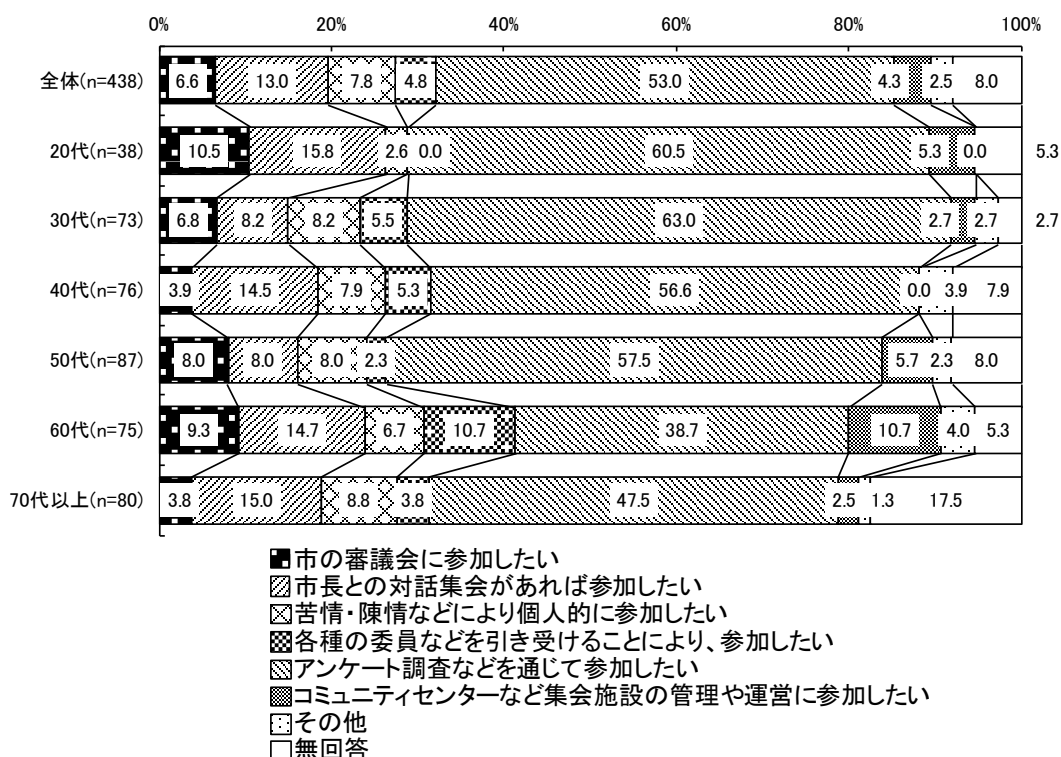
市政への参加方法は「アンケート調査などを通じて参加したい」が53.0%と最も高く、次いで「市長との対話集会があれば参加したい」(13.0%)、「苦情・陳情などにより個人的に参加したい」(7.8%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、全体的に「アンケート調査などを通じて参加したい」が最も高くなっています。また、20代では「市の審議会に参加したい」が約1割、60代では「各種の委員などを引き受けることにより、参加したい」と「コミュニティセンターなど集会施設の管理や運営に参加したい」が他の年代に比べ高くなっています。

図表4-7-2 市政への参加方法 年代別



(3) 経年変化

全体的に大きな変化はありません。

図表4-7-3 市政への参加方法 経年変化

(単位: %)

	市の審議会に参加したい	市長との対話集会があれば参加したい	苦情・陳情などにより個人的に参加したい	各種の委員などを引き受けることにより、参加したい	アンケート調査などを通じて参加したい	コミュニティセンターなど集会施設の管理や運営に参加したい	その他	無回答
平成15年	5.1	19.4	7.0	4.3	52.8	4.8	2.5	4.2
平成20年	6.3	17.9	4.6	4.5	53.8	4.5	2.3	6.3
平成25年	6.6	13.0	7.8	4.8	53.0	4.3	2.5	8.0

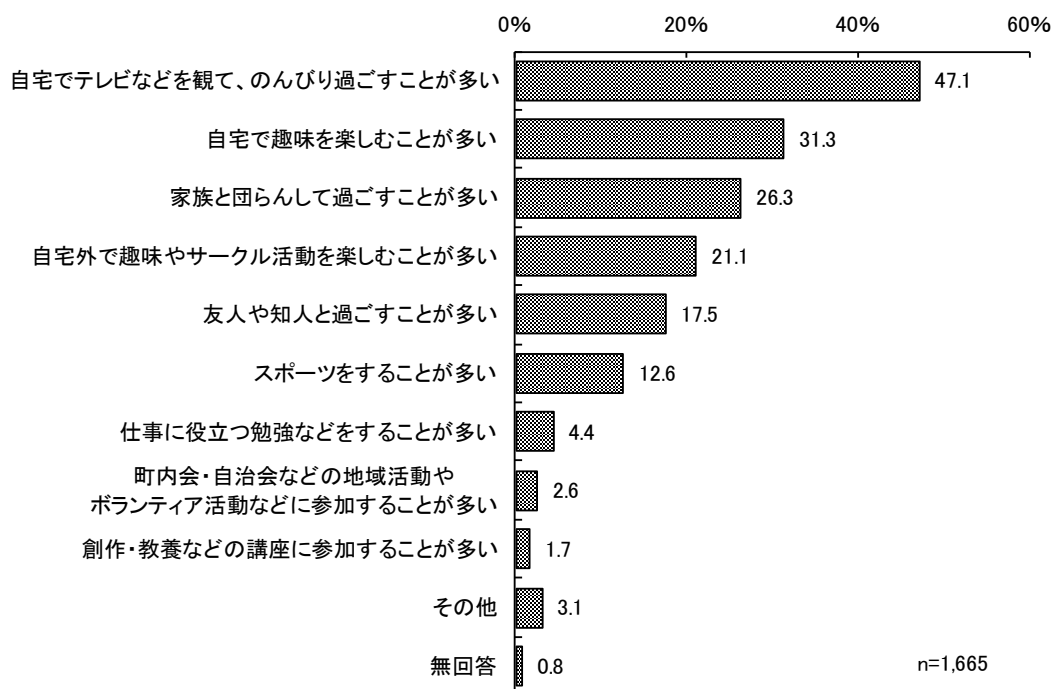
5. 日常生活について

(1) 余暇時間の過ごし方

◇余暇時間の過ごし方は「自宅でテレビなどを観て、のんびり過ごすことが多い」が4割台半ば

問5-1 あなたは、余暇時間をどのように過ごしていますか。(○は2つ以内)

図表5-1-1 余暇時間の過ごし方



(1) 全体の傾向

余暇時間の過ごし方は「自宅でテレビなどを観て、のんびり過ごすことが多い」が47.1%と最も高く、次いで「自宅で趣味を楽しむことが多い」(31.3%)、「家族と団らんして過ごすことが多い」(26.3%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、20代では「友人や知人と過ごすことが多い」、30代～40代では「家族と団らんして過ごすことが多い」、60代～70代以上では「自宅外で趣味やサークル活動を楽しむことが多い」が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

地区別にみると、すべての地区で「自宅で趣味を楽しむことが多い」、「自宅でテレビなどを観て、のんびり過ごすことが多い」、「家族と団らんして過ごすことが多い」が高くなっています。

(3) 経年変化

経年で見ても大きな変化はないものの、「自宅で趣味を楽しむことが多い」、「自宅外で趣味やサークル活動を楽しむことが多い」は微減しています。また、「自宅でテレビなどを観て、のんびり過ごすことが多い」は微増しています。

図表5-1-2 余暇時間の過ごし方 経年変化

(単位:%)

	自宅で趣味を楽しむことが多い	自宅外で趣味やサークル活動を楽しむことが多い	自宅でテレビなどを観て、のんびり過ごすことが多い	家族と団らんして過ごすことが多い	友人や知人と過ごすことが多い	仕事に役立つ勉強などをすることが多い	スポーツをすることが多い	町内会・自治会などの地域活動やボランティア活動などに参加することが多い	創作・教養などの講座に参加することが多い	その他	無回答
平成15年	35.0	23.2	42.7	25.1	19.2	5.2	11.8	2.7	2.2	5.3	2.8
平成20年	34.2	21.6	44.4	25.8	21.4	4.8	12.0	3.0	2.1	5.8	1.5
平成25年	31.3	21.1	47.1	26.3	17.5	4.4	12.6	2.6	1.7	3.1	0.8

(2) 現在行っている学習や文化・スポーツ活動

◇現在行っている学習や文化・スポーツ活動は「趣味や稽古事」が2割強

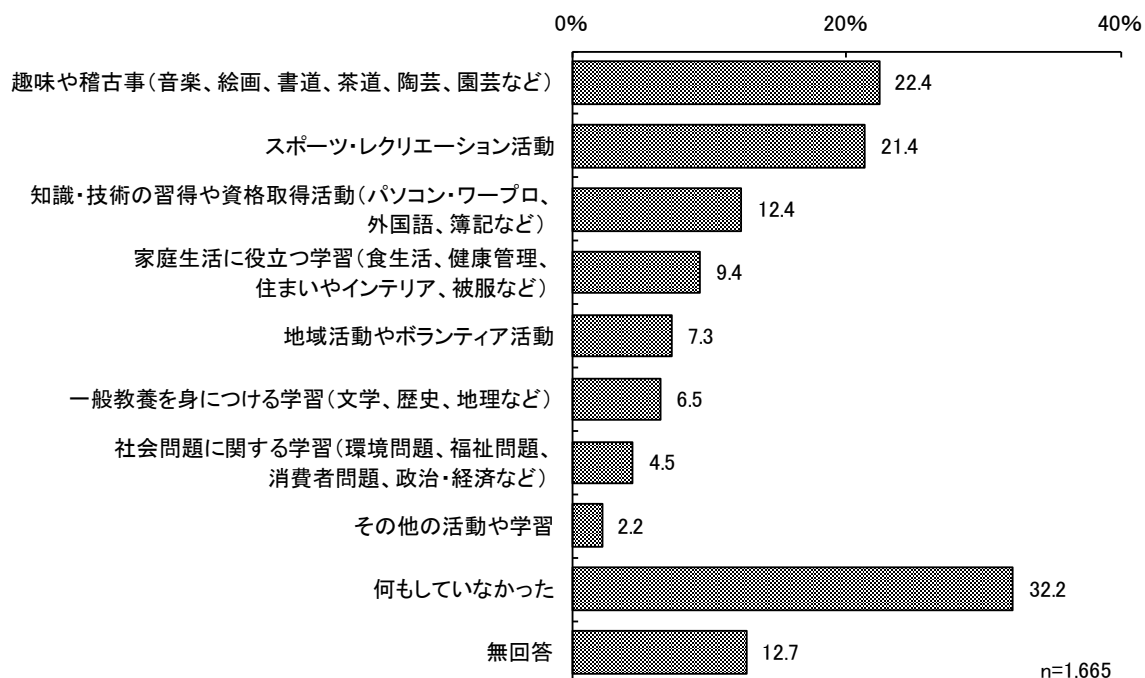
問5-2 あなたは、次の中でこの1年間、継続して行っているものがありますか。

(行っているもの全てに○)

また、今後やってみたい学習や文化・スポーツ活動はありますか。

(これからやってみたいと思うもの全てに○)

図表5-2-1 この1年間継続して行っている生涯学習活動



(1) 全体の傾向

現在行っている生涯学習は「趣味や稽古事」が22.4%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション活動」(21.4%)、「知識・技術の習得や資格取得活動」(12.4%)と続きます。

また、「何もしていなかった」は32.2%と高くなっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、50代～70代以上で「スポーツ・レクリエーション活動」、20代、60代～70代以上では「趣味や稽古事」という回答が最も高くなっています。また、70代以上では「何もしていなかった」という回答は他の年代に比べ低くなっています。

② 地区別

地区別にみると、西部地区では「スポーツ・レクリエーション活動」、北部地区では「趣味や稽古事」という回答が他の地区に比べ高くなっています。

(3) 今後やってみたい学習や文化・スポーツ活動

◇今後やってみたい学習や文化・スポーツ活動は「趣味や稽古事」が約3割

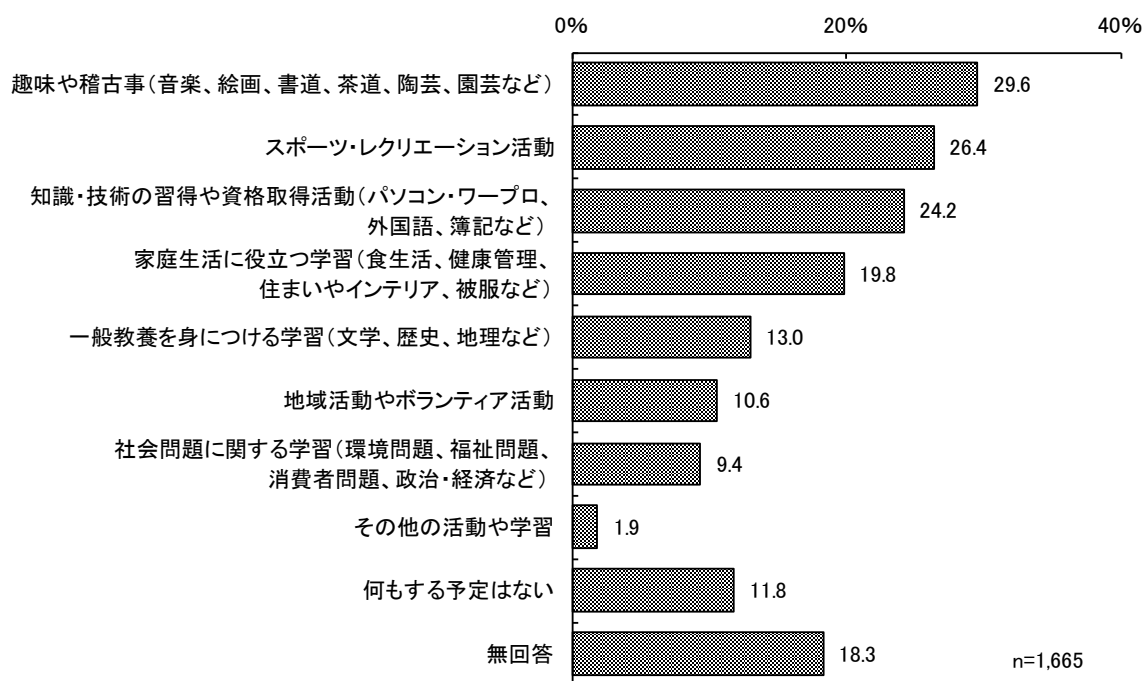
問5-2 あなたは、次の中でこの1年間、継続して行っているものがありますか。

(行っているもの全てに○)

また、今後やってみたい学習や文化・スポーツ活動はありますか。

(これからやってみたいと思うもの全てに○)

図表5-3-1 今後やってみたい生涯学習活動



(1) 全体の傾向

今後やってみたいこととしては「趣味や稽古事」が29.6%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション活動」(26.4%)、「知識・技術の習得や資格取得活動」(24.2%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、「知識・技術の習得や資格取得活動」、「社会問題に関する学習」、「一般教養を身につける学習」は20代が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

地区別にみると、北部地区を除くすべての地区で「趣味や稽古事」という回答が最も高くなっています。北部地区では「スポーツ・レクリエーション活動」という回答が最も高くなっています。

(3) 経年変化

経年でみると「知識・技術の習得や資格取得活動」、「社会問題に関する学習」、「スポーツ・レクリエーション活動」、「趣味や稽古事」は減少傾向にあります。

図表5-3-2 今後やってみたい生涯学習活動 経年変化

(単位:%)

	知識・技術の習得や資格取得活動(外国語、簿記など)	家庭生活に役立つ学習(食生活、健康)	社会問題に関する学習(環境問題、福祉)	地域活動やボランティア活動	史・一般教養を身につける学習(文学、歴史、地理など)	スポーツ・レクリエーション活動	趣味や稽古事(音楽、絵画、書道、茶道、陶芸、園芸など)	その他の活動や学習	何もする予定はない	無回答
平成15年	32.3	20.2	13.1	12.3	13.1	28.2	37.9	1.7	16.9	5.3
平成20年	24.9	19.0	10.5	10.5	10.2	26.9	33.0	1.6	22.2	4.2
平成25年	24.2	19.8	9.4	10.6	13.0	26.4	29.6	1.9	11.8	18.3

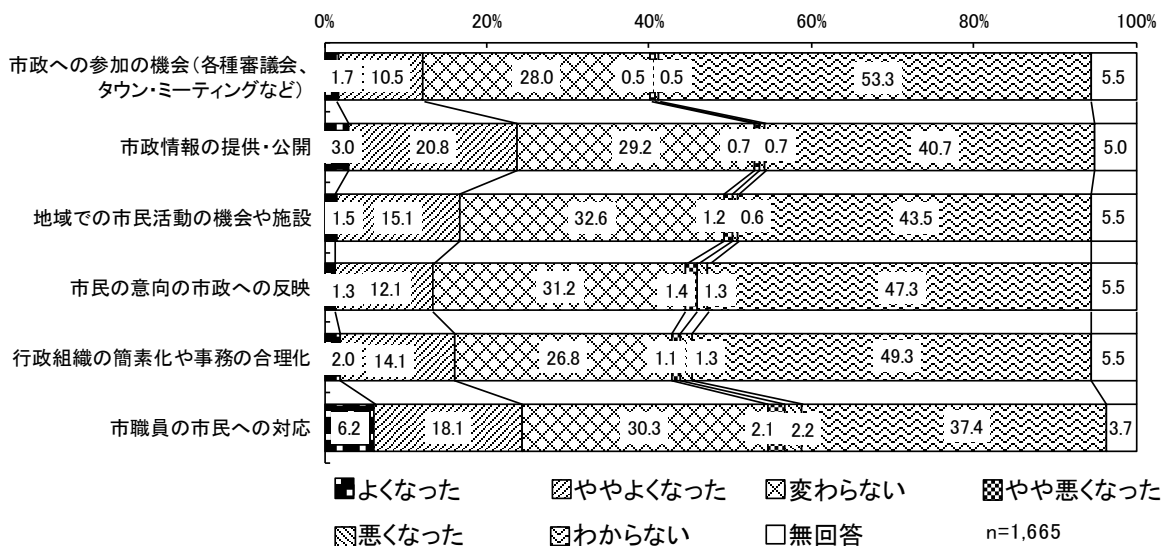
6. 鎌ヶ谷市の施策について

(1) 市の行財政運営

◇5年前と比べ、行財政運営について“よくなった”は“悪くなった”を上回っています。

問6-1 あなたは、5年前に比べて、現在の鎌ヶ谷市の行財政運営はどの程度進んだと思いますか。(項目ごとに、あなたの評価に近い番号に1つずつ○)

図表6-1-1 行財政運営の進展度



(1) 全体の傾向

5年前と比べ、行財政運営について“よくなった”(よくなった+ややよくなった)という回答が最も高いのは「市職員の市民への対応」で24.3%、次いで「市政情報の提供・公開」(23.8%)、「地域での市民活動の機会や施設」(16.6%)と続いています。

一方、“悪くなった”(やや悪くなった+悪くなった)という回答が最も高いのは「市職員の市民への対応」で4.3%となっています。

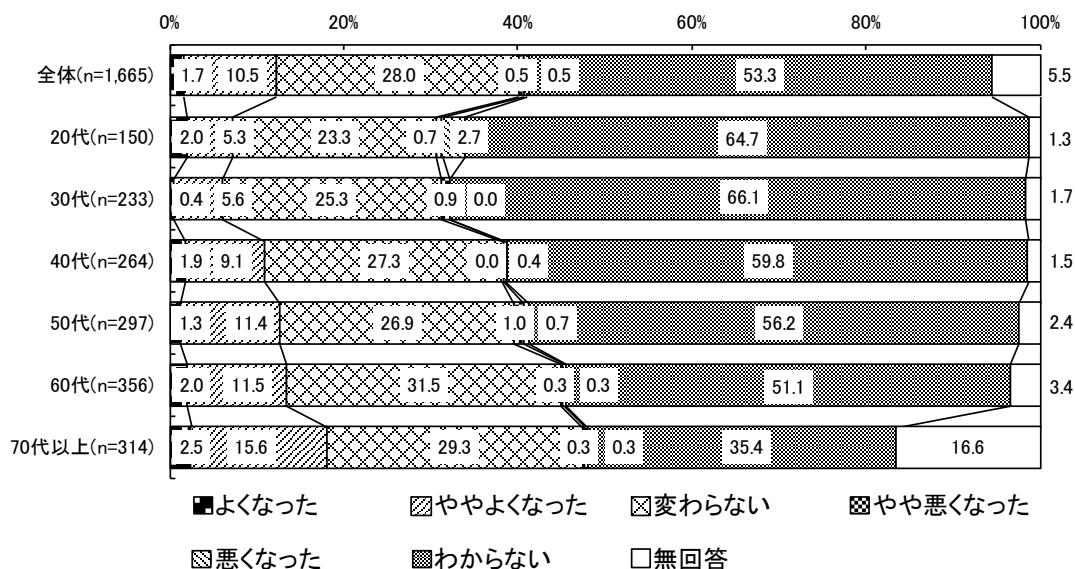
(2) 属性別特徴

① 年代別

(ア) 市政への参加の機会

市政への参加の機会を年代別にみると、30代から70代以上にかけて年代が上がるにつれ“よくなった”という回答は増加傾向にあります。一方、“変わらない”という回答は全体で2割台半ばから3割強を占めています。

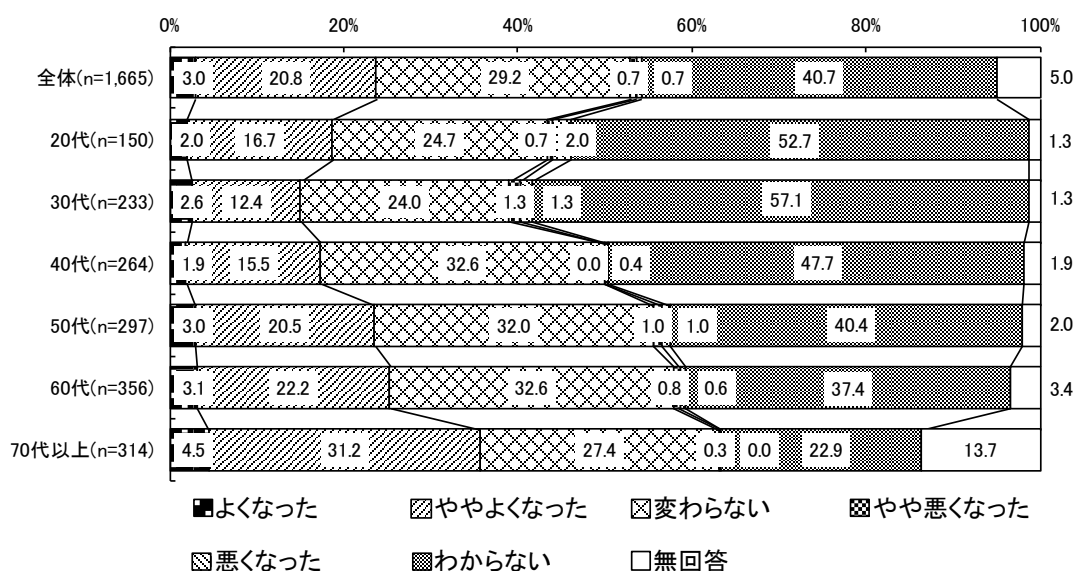
図表 6-1-2 市政への参加の機会 年代別



(イ) 市政情報の提供・公開

市政情報の提供・公開を年代別にみると、30代から70代以上にかけて年代が上がるにつれ“よくなった”という回答は増加傾向にあり、70代以上では3割台半ばを占めています。一方、“変わらない”という回答は全体で2割台半ばから3割台半ばを占めています。

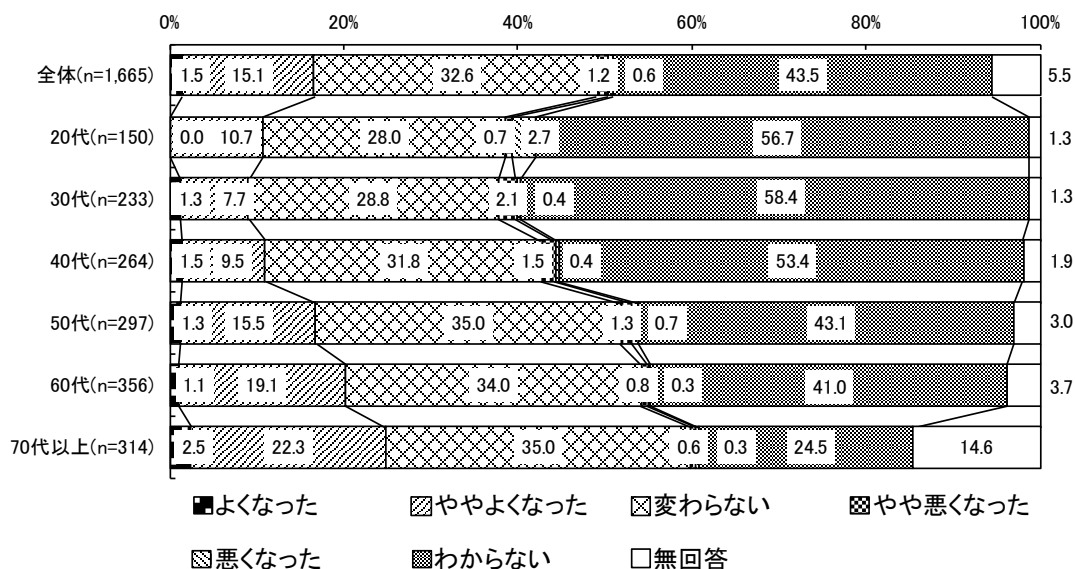
図表 6-1-3 市政情報の提供・公開 年代別



(ウ) 地域での市民活動の機会や施設

地域での市民活動の機会や施設を年代別にみると、30代から70代以上にかけて年代が上がるにつれ“よくなった”という回答は増加傾向にあり、70代以上では2割台半ばを占めています。一方、“変わらない”という回答は全体で3割弱から3割台半ばを占めています。

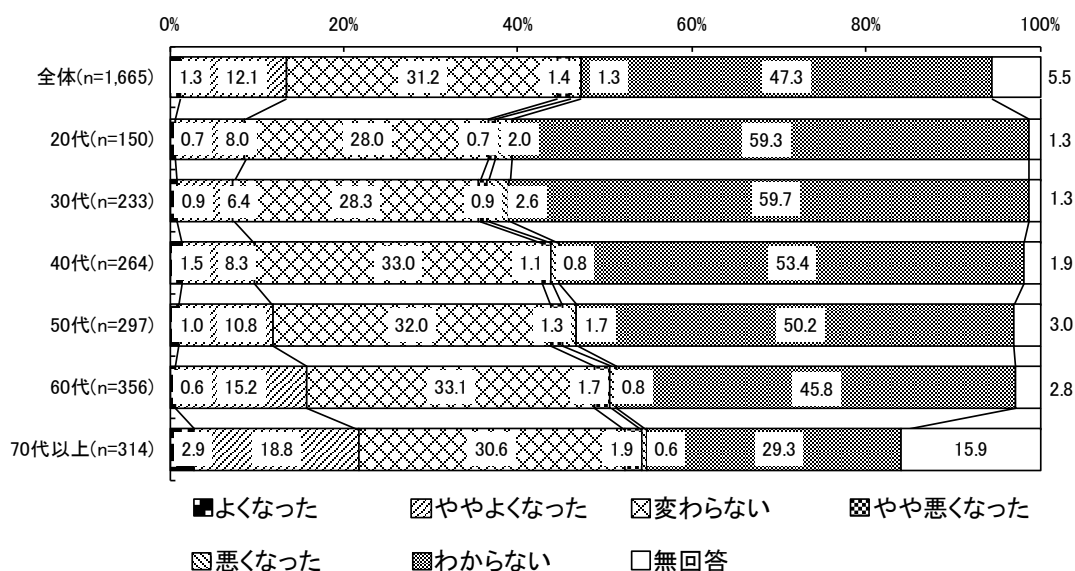
図表 6-1-4 地域での市民活動の機会や施設 年代別



(エ) 市民の意向の市政への反映

市民の意向の市政への反映を年代別にみると、30代から70代以上にかけて年代が上がるにつれ“よくなった”という回答は増加傾向にあり、70代以上では2割強を占めています。一方、“変わらない”という回答は全体で3割弱から3割台半ばを占めています。

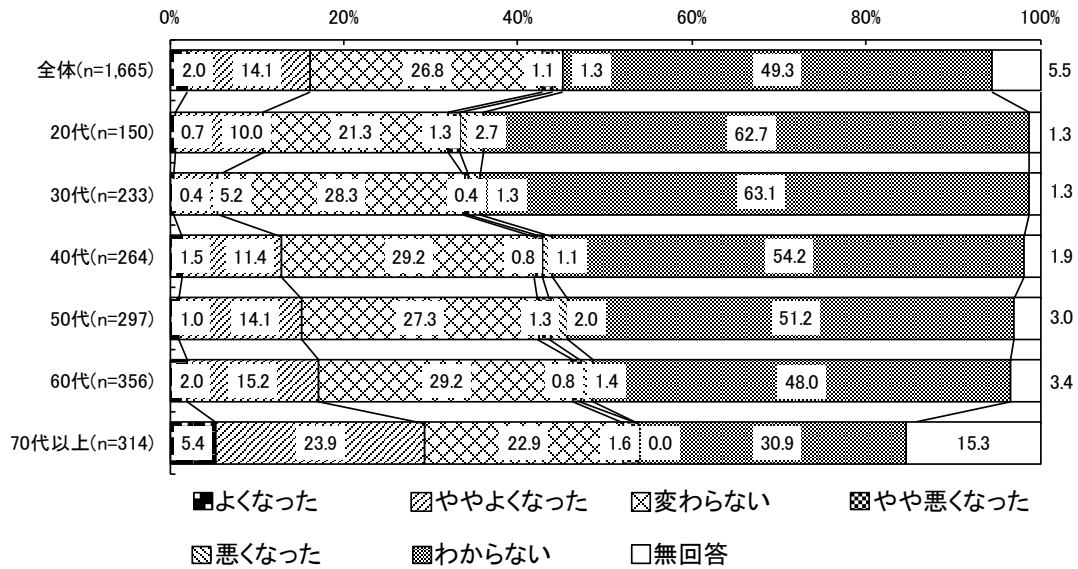
図表 6-1-5 市民の意向の市政への反映 年代別



(オ) 行政組織の簡素化や事務の合理化

行政組織の簡素化や事務の合理化を年代別にみると、30代から70代以上にかけて年代が上がるにつれ“よくなった”という回答は増加傾向にあり、70代以上では3割弱を占めています。一方、“変わらない”という回答は全体で2割から3割弱を占めています。

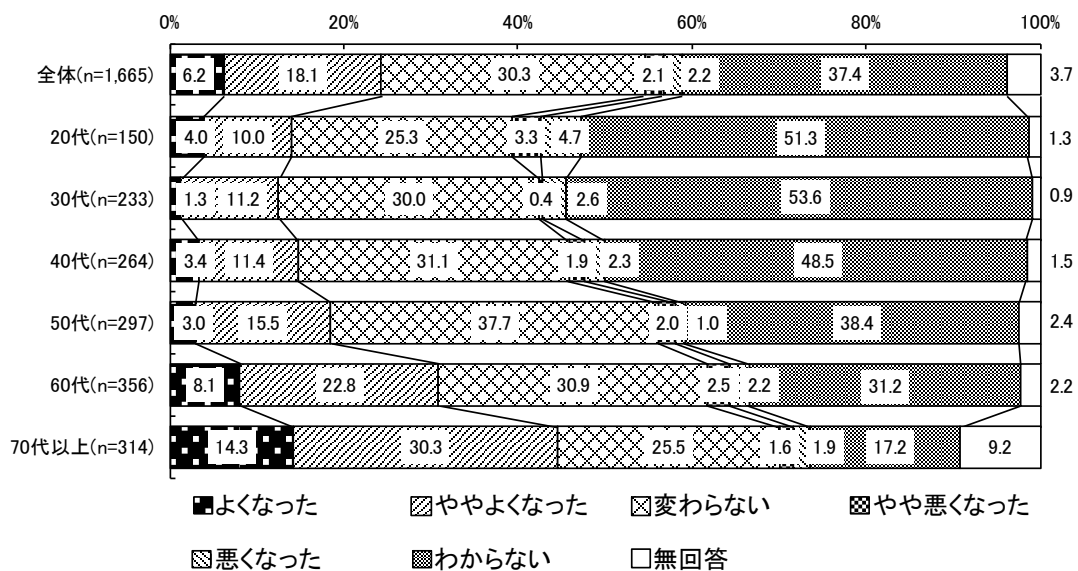
図表 6-1-6 行政組織の簡素化や事務の合理化 年代別



(カ) 市職員の市民への対応

市職員の市民への対応を年代別にみると、30代から70代以上にかけて年代が上がるにつれ“よくなった”という回答は増加傾向にあり、70代以上では3割弱を占めています。一方、“変わらない”という回答は全体で2割から3割弱を占めています。

図表 6-1-7 市職員の市民への対応 年代別



(2) 市の施策・サービスの「現在の満足度」・「今後の重要度」

◇今後の重要度が高いとあげられた施策は「道路の整備」、「防犯対策」、「駅周辺の整備」

問6-2 あなたは、鎌ヶ谷市の施策・サービスについて、「現在の満足度」と「今後の重要度」をどのようにお考えですか。(項目ごとに〇は1つずつ)

(1) 都市の骨格づくり

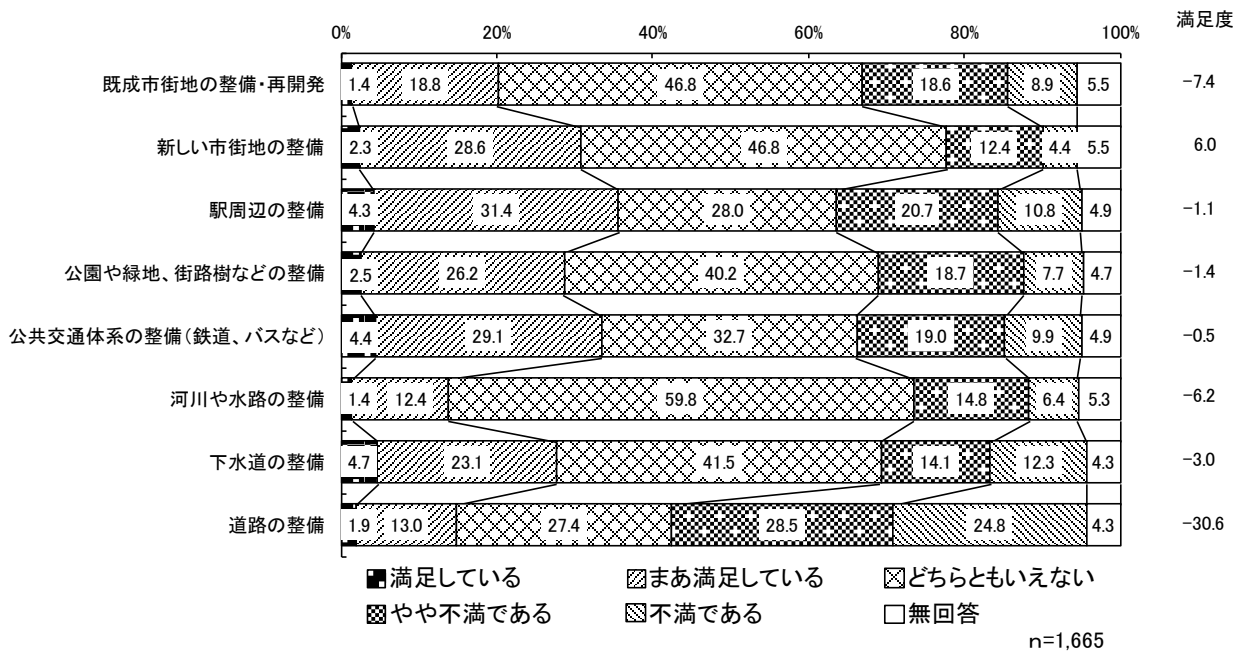
“満足度” (満足している+まあ満足している) の高い項目は、「駅周辺の整備」(35.7%)、「公共交通体系の整備(鉄道、バスなど)」(33.5%)、「新しい市街地の整備」(30.9%)となっています。

一方で、“不満足度” (やや不満である+不満である) の高い項目は、「道路の整備」が53.3%と高くなっています。次いで、満足している項目にもあがった「駅周辺の整備」も31.5%と高くなっています。

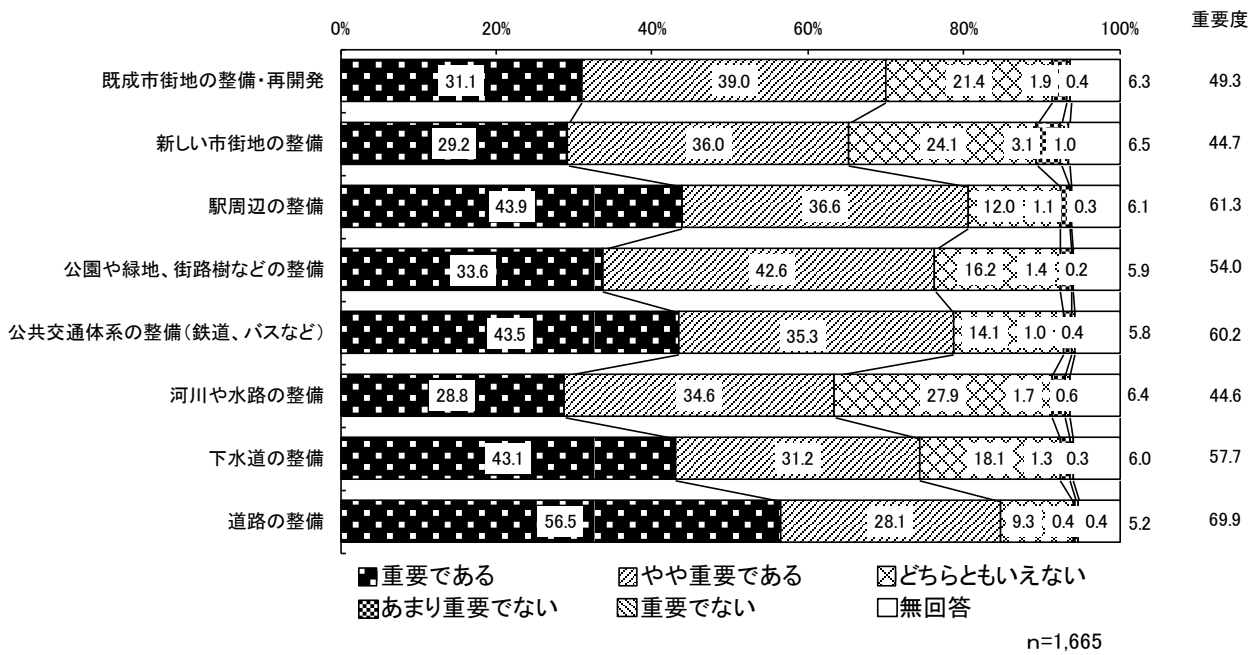
今後、“重要度” (重要である+やや重要である) が高い項目は、「道路の整備」(84.6%)、「駅周辺の整備」(80.5%)、「公共交通体系の整備(鉄道、バスなど)」(78.8%)があげられています。

「道路の整備」は“不満足度”が高く、“重要度”も高い項目となっています。

図表6-2-1 都市の骨格づくりに対する満足度



図表 6-2-2 都市の骨格づくりに対する重要度



(2) 生活環境の向上

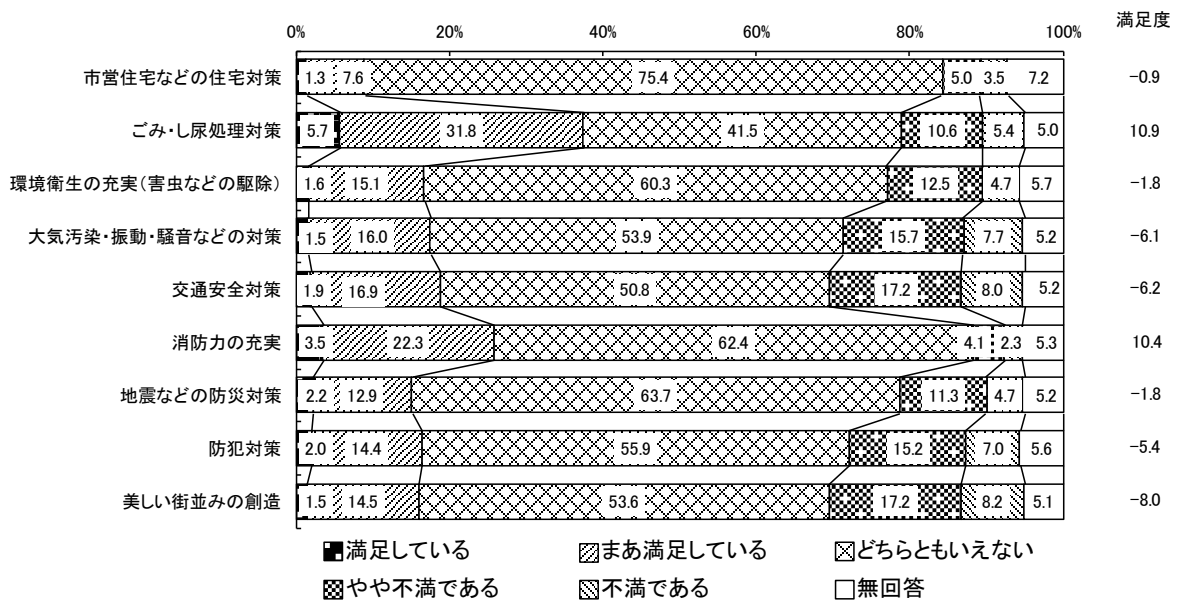
“満足度”（満足している+まあ満足している）の高い項目は、「ごみ・し尿処理対策」（37.5%）、「消防力の充実」（25.8%）、「交通安全対策」（18.8%）となっています。

一方で、“不満足度”（やや不満である+不満である）の高い項目は、「美しい街並みの創造」（25.4%）、「交通安全対策」（25.2%）、「大気汚染・振動・騒音などの対策」（23.4%）となっています。

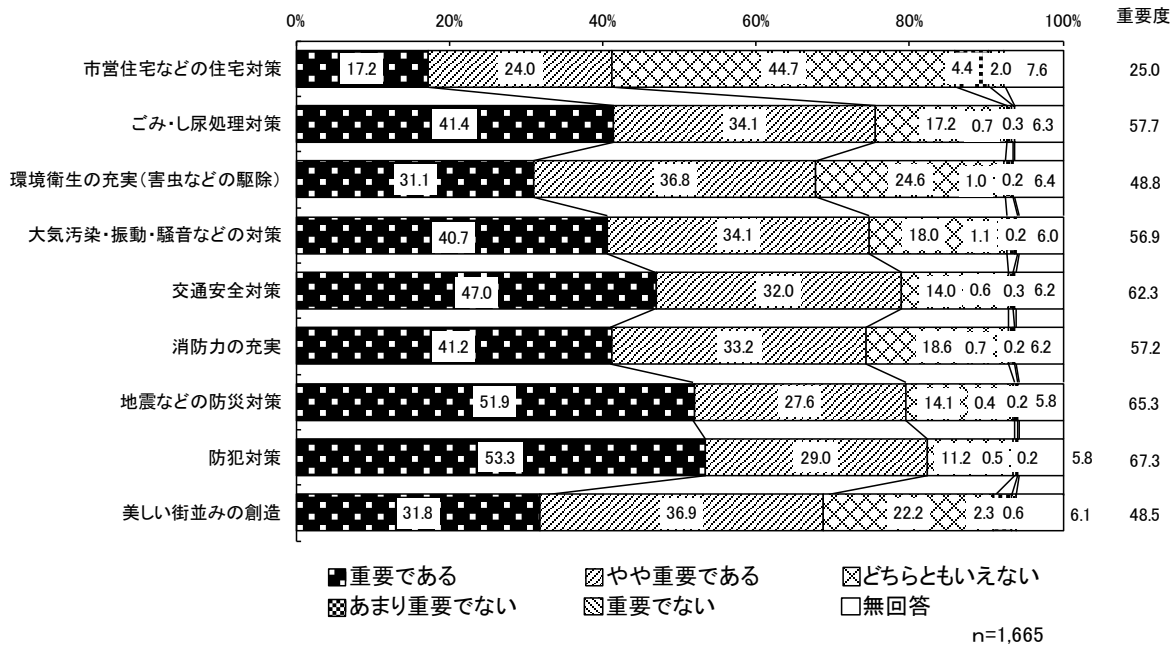
今後、“重要度”（重要である+やや重要である）が高い項目は、「防犯対策」（82.3%）、「地震などの防災対策」（79.5%）、「交通安全対策」（79.0%）があげられています。

「交通安全対策」は満足している、不満であるのどちらにもあげられており、さらに“重要度”の高い項目としてもあげられており、潜在している課題の洗い出しが必要と考えられます。

図表 6-2-3 生活環境の向上に対する満足度



図表 6-2-4 生活環境の向上に対する重要度



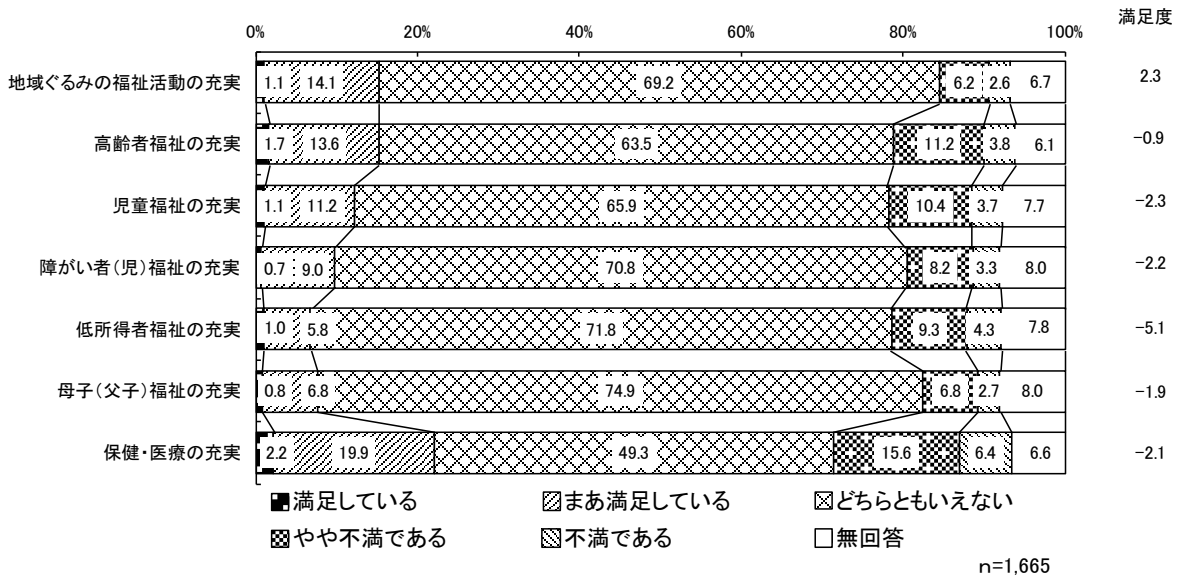
(3) 福祉・保健の充実

“満足度” (満足している+まあ満足している) の高い項目は、「保健・医療の充実」(22.1%)、「高齢者福祉の充実」(15.3%)、「地域ぐるみの福祉活動の充実」(15.2%) となっています。

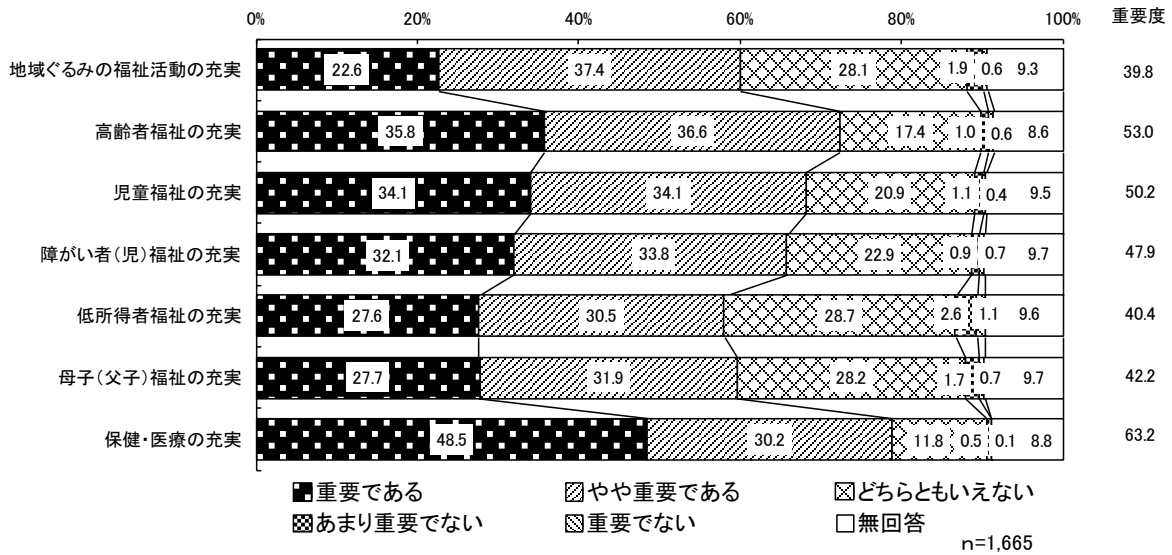
一方、“不満足度” (やや不満である+不満である) の高い項目は、「保健・医療の充実」(22.0%)、「高齢者福祉の充実」(15.0%)、「児童福祉の充実」(14.1%) となっています。

今後、“重要度” (重要である+やや重要である) が高い項目は、「保健・医療の充実」(78.7%)、「高齢者福祉の充実」(72.4%)、「児童福祉の充実」(68.2%) となっており、“不満足度” の高い項目が今後の“重要度” も高い項目としてあげられています。

図表 6-2-5 福祉・保健の充実に対する満足度



図表 6-2-6 福祉・保健の充実に対する重要度



(4) 教育・文化の向上

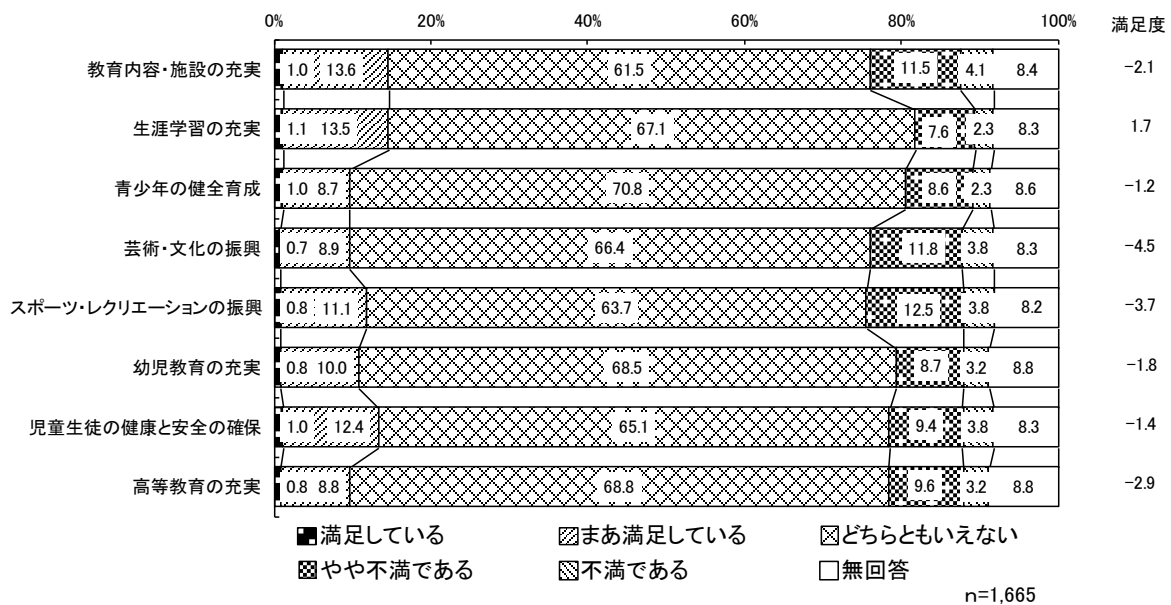
“満足度”（満足している+まあ満足している）の高い項目は、「教育内容・施設の充実」（14.6%）、
 「生涯学習の充実」（14.6%）、「児童生徒の健康と安全の確保」（13.4%）となっています。

一方、“不満足度”（やや不満である+不満である）の高い項目は、「スポーツ・レクリエーションの
 振興」（16.3%）、「教育内容・施設の充実」（15.6%）、「芸術・文化の振興」（15.6%）となっています。

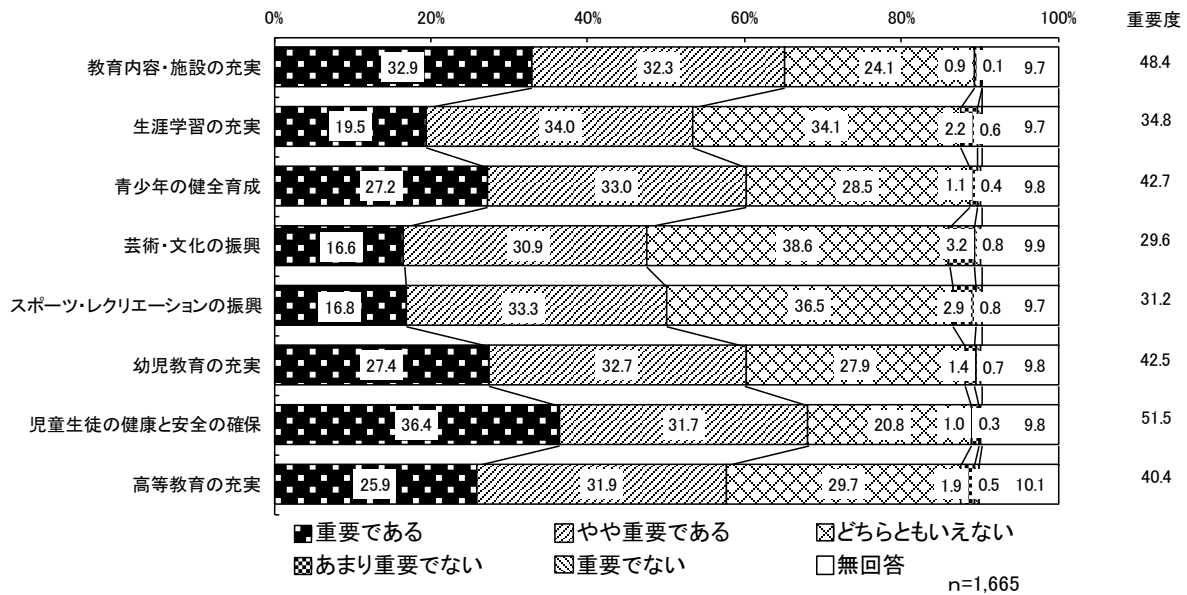
今後、“重要度”（重要である+やや重要である）が高い項目は、「児童生徒の健康と安全の確保」
 （68.1%）、「教育内容・施設の充実」（65.2%）、「青少年の健全育成」（60.2%）があげられています。

最も“不満足度”の高かった「スポーツ・レクリエーションの振興」の“重要度”は50.1%となっ
 ており、不満ではあるものの、“重要度”としては「児童生徒の健康と安全の確保」、「教育内容・施設
 の充実」に比べ、やや下になると考えられます。

図表 6-2-7 教育・文化の向上に対する満足度



図表6-2-8 教育・文化の向上に対する重要度



(5) 産業分野の振興

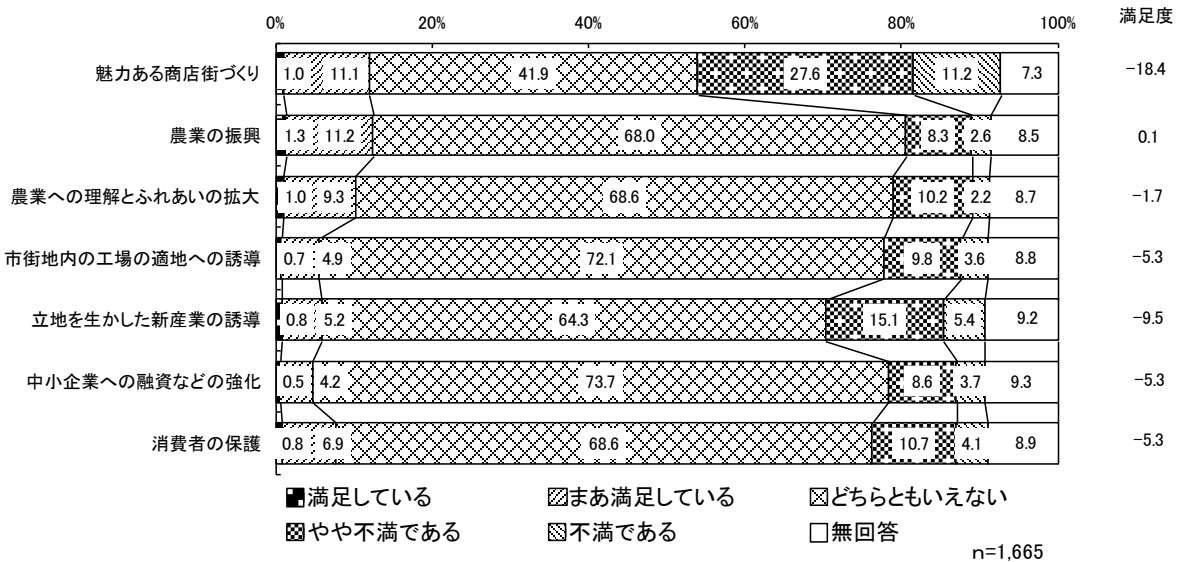
“満足度”（満足している+まあ満足している）の高い項目は、「農業の振興」（12.5%）、「魅力ある商店街づくり」（12.1%）、「農業への理解とふれあいの拡大」（10.3%）となっています。

一方、“不満足度”（やや不満である+不満である）の高い項目は、「魅力ある商店街づくり」（38.8%）、「立地を生かした新産業の誘導」（20.5%）、「消費者の保護」（14.8%）となっています。

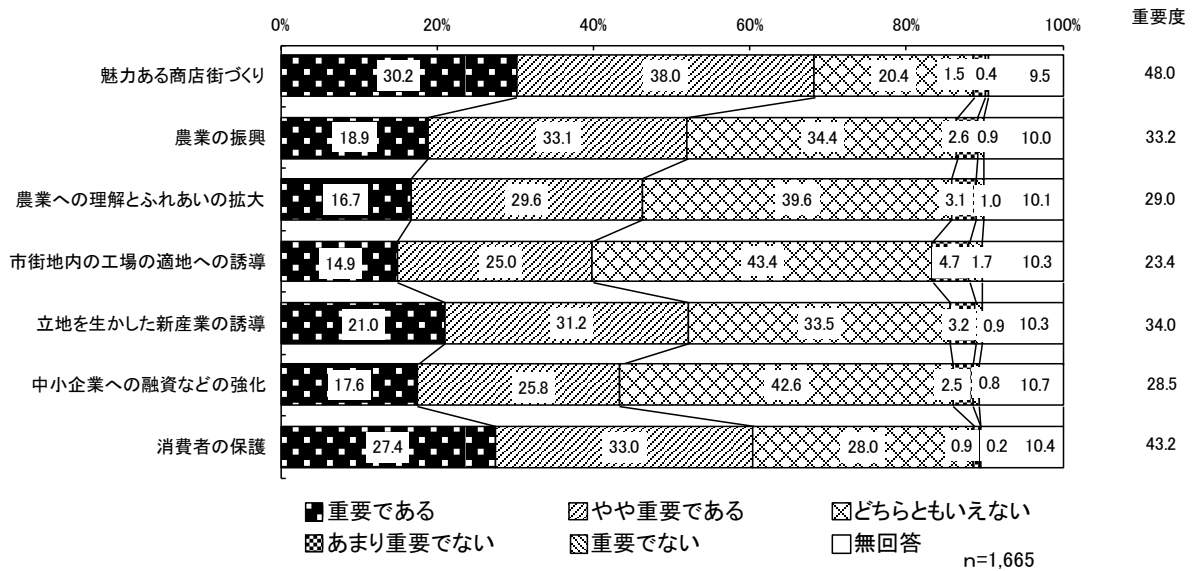
今後、“重要度”（重要である+やや重要である）が高い項目は、「魅力ある商店街づくり」（68.2%）、「消費者の保護」（60.4%）、「立地を生かした新産業の誘導」（52.2%）があげられています。

“不満足度”の高い項目が、“重要度”の高い項目としてあげられています。

図表6-2-9 産業分野の振興に対する満足度



図表 6-2-10 産業分野の振興に対する重要度



(6) 市民活動・行政運営

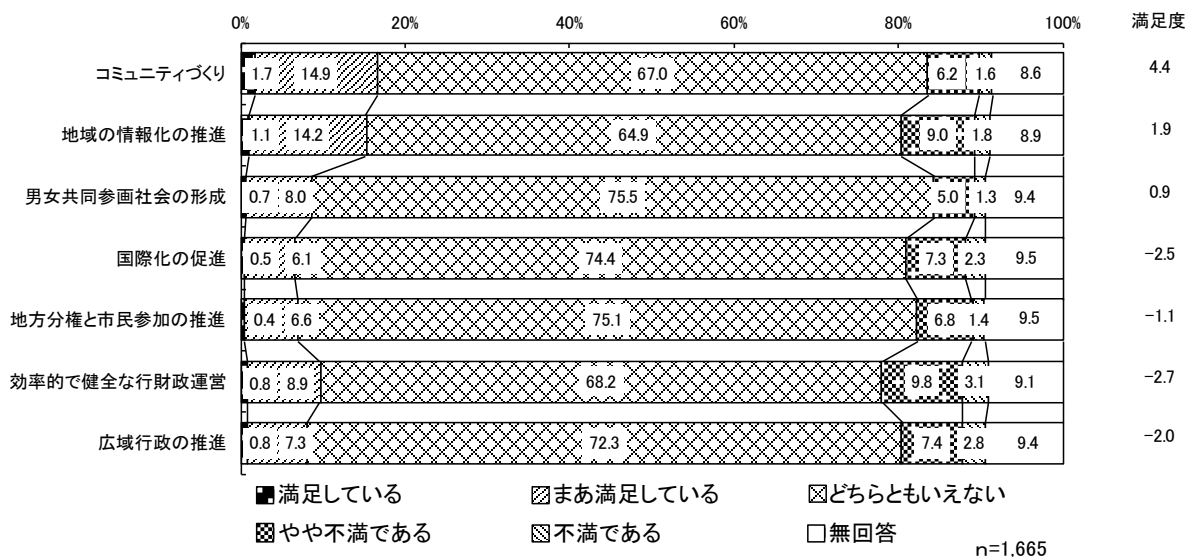
“満足度”（満足している+まあ満足している）の高い項目は、「コミュニティづくり」（16.6%）、「地域の情報化の推進」（15.3%）、「効率的で健全な行財政運営」（9.7%）となっています。

一方、“不満足度”（やや不満である+不満である）の高い項目は、「効率的で健全な行財政運営」（12.9%）、「地域の情報化の推進」（10.8%）、「広域行政の推進」（10.2%）となっています。

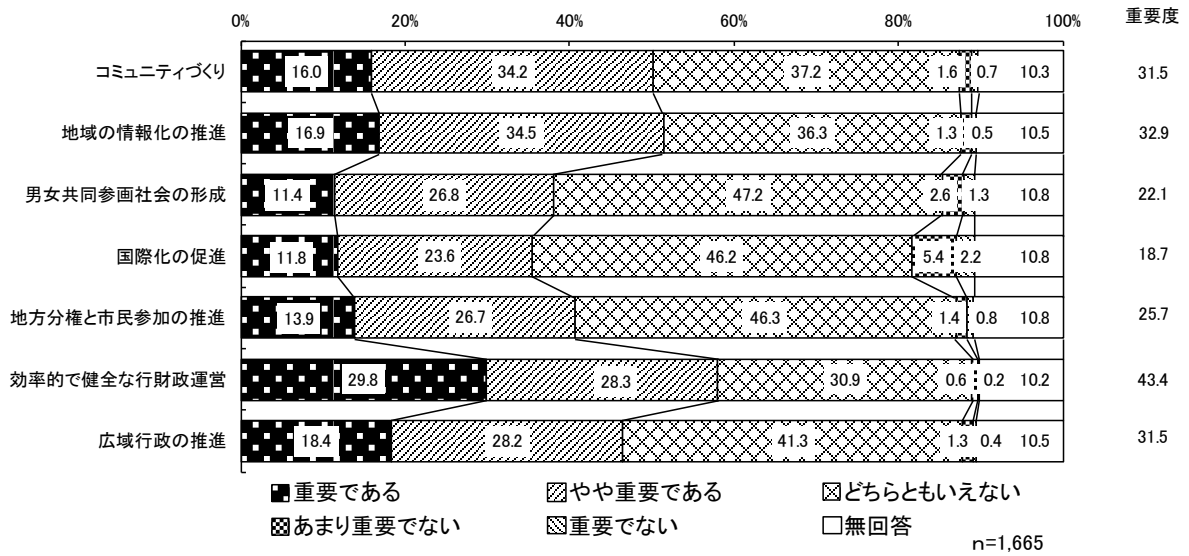
今後、“重要度”（重要である+やや重要である）が高い項目は、「効率的で健全な行財政運営」（58.1%）、「地域の情報化の推進」（51.4%）、「コミュニティづくり」（50.2%）があげられています。

「効率的で健全な行財政運営」は“満足度”の高い項目、“不満足度”の高い項目のどちらにもあげられ、さらに“重要度”の高い項目としてあげられており、課題の洗い出しが必要と考えられます。また、“満足度”の高い「コミュニティづくり」は“重要度”の高い項目としてもあげられており、今以上にコミュニティの醸成が求められていると考えられます。

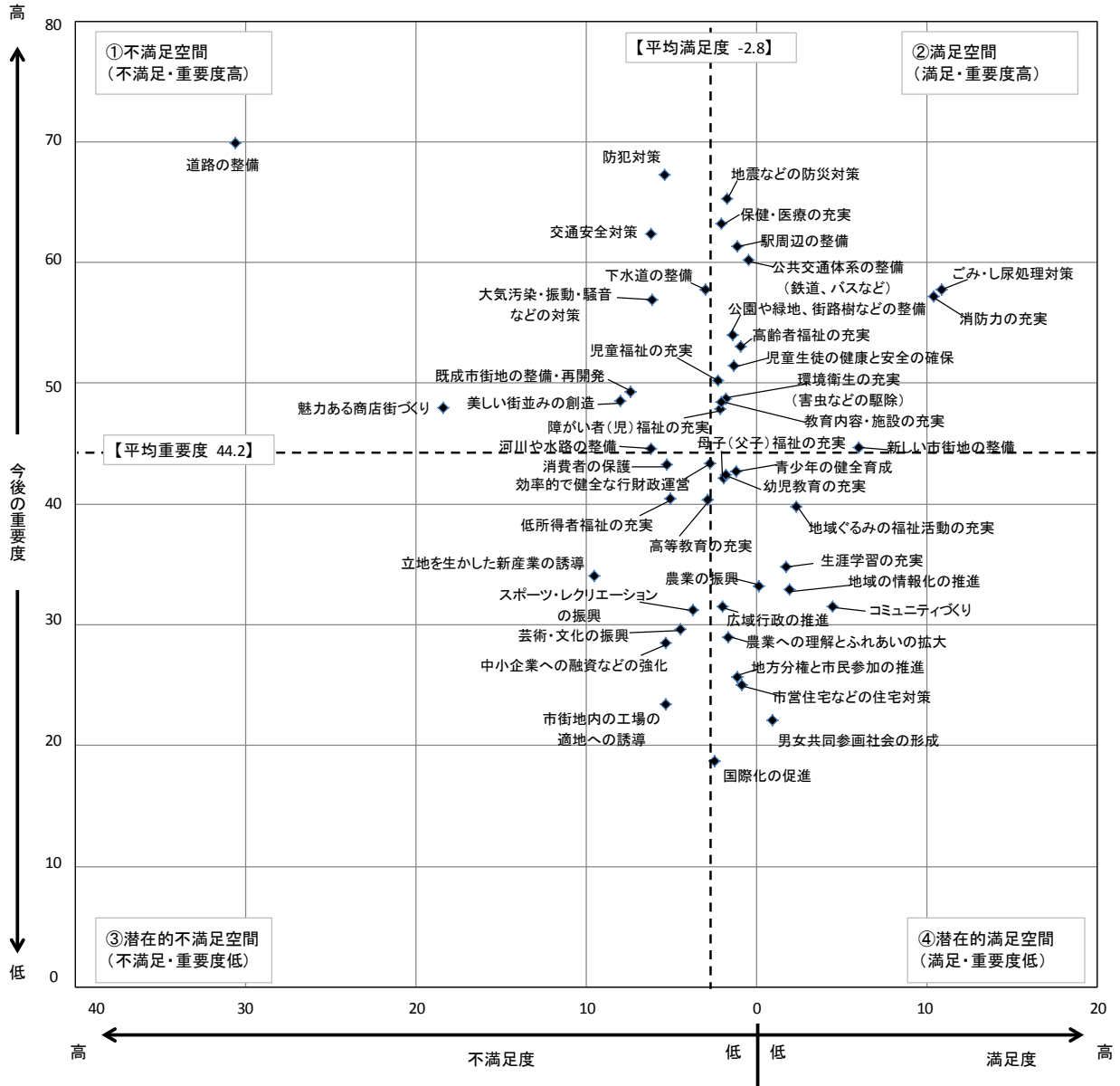
図表 6-2-11 市民活動・行政運営に対する満足度



図表 6-2-12 市民活動・行政運営に対する重要度



図表 6-2-13 市の施策・サービスの満足度・重要度



※満足度・重要度の算出方法

満足度 = (「満足している」×1点 + 「まあ満足している」×0.5点 + 「やや不満である」×-0.5点 + 「不満である」×-1点) ÷ 回答者数 × 100

重要度 = (「重要である」×1点 + 「やや重要である」×0.5点 + 「あまり重要でない」×-0.5点 + 「重要でない」×-1点) ÷ 回答者数 × 100

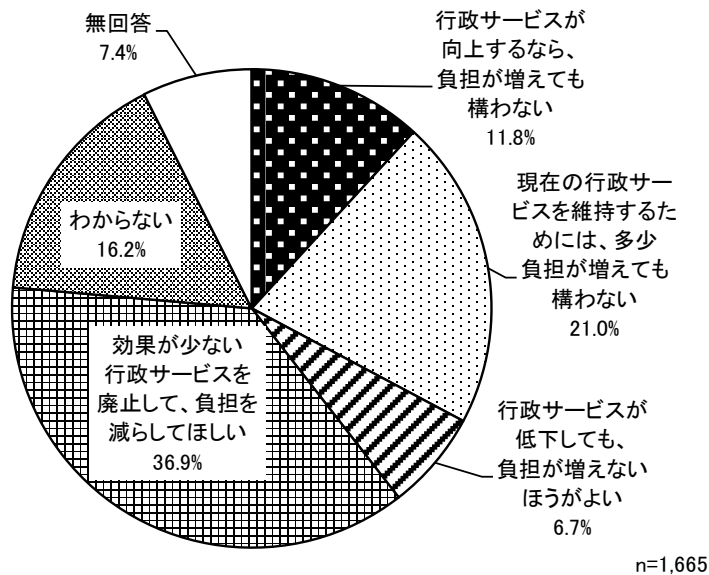
7. 行政サービスについて

(1) 行政サービスと市民の費用負担

◇行政サービスと市民の費用負担については「効果が少ない行政サービスを廃止して、負担を減らしてほしい」が3割台半ば

問7-1 あなたは、より効果的で効率的な行政サービスを行うために、「行政サービス」と「市民の費用負担」の関係についてどのようにお考えですか。(○は1つ)

図表7-1-1 行政サービスと市民の費用負担



(1) 全体の傾向

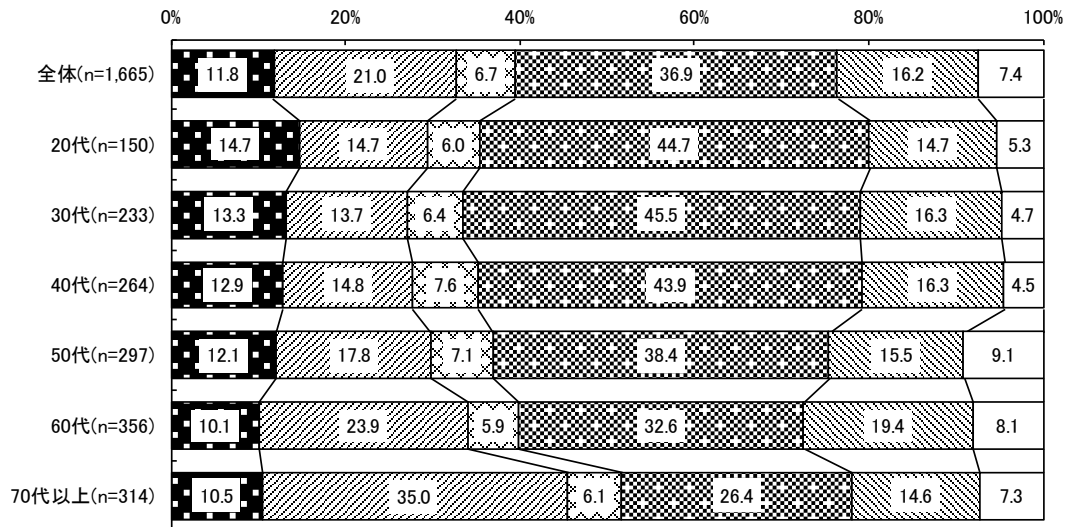
行政サービスと市民の費用負担については「効果が少ない行政サービスを廃止して、負担を減らしてほしい」が36.9%と最も高く、次いで「現在の行政サービスを維持するためには、多少負担が増えても構わない」(21.0%)、「行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない」(11.8%)と続きます。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、70代以上を除いて「効果が少ない行政サービスを廃止して、負担を減らしてほしい」が最も高くなっています。50代以上では「現在の行政サービスを維持するためには、多少負担が増えても構わない」が他の年代に比べ高くなっています。

図表 7-1-2 行政サービスと市民の費用負担 年代別



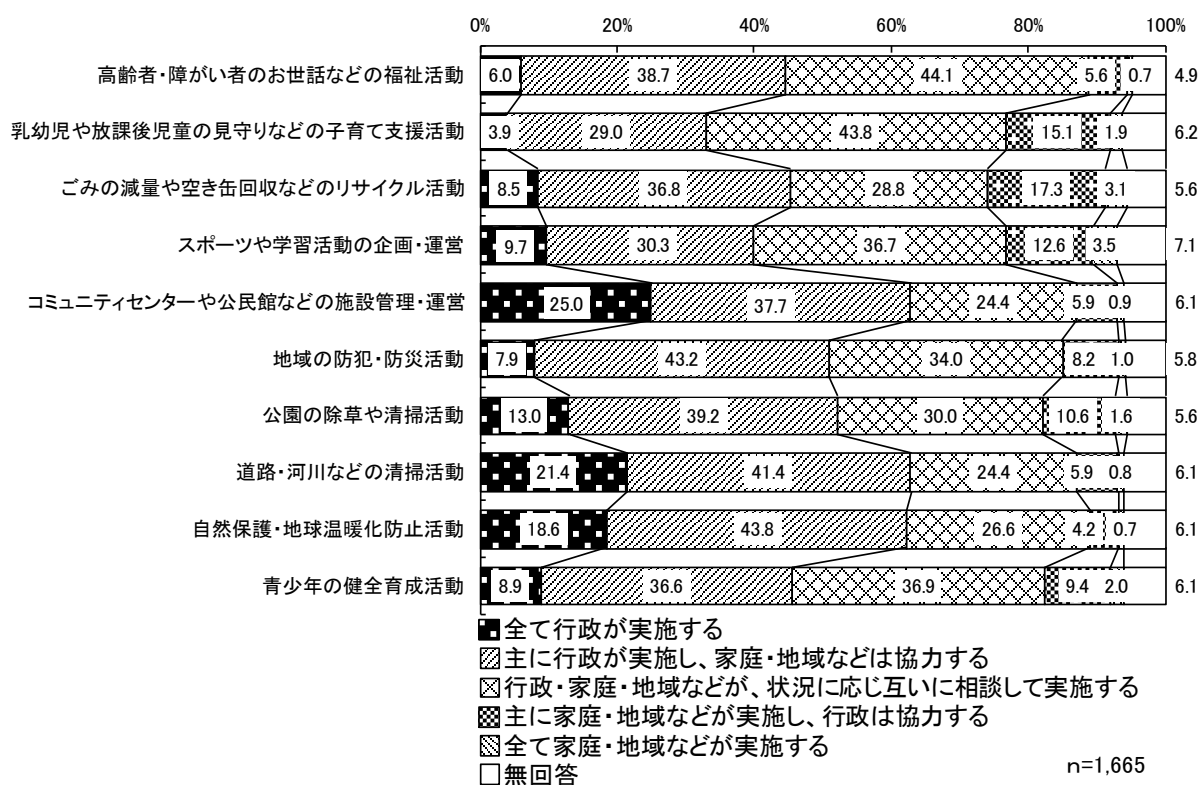
- 行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない
- ▨ 現在の行政サービスを維持するためには、多少負担が増えても構わない
- ⊠ 行政サービスが低下しても、負担が増えないほうがよい
- ⊞ 効果が少ない行政サービスを廃止して、負担を減らしてほしい
- ▤ わからない
- 無回答

(2) 行政と家庭や地域コミュニティの役割分担

◇行政と家庭や地域コミュニティの役割分担は「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高い

問7-2 これからの地域社会では、行政と家庭や地域コミュニティ、ボランティア、NPO（民間非営利団体・組織）などとの適切な役割分担のもとに、まちづくりを進めていくことが重要です。あなたは、次の項目について最も適切な役割分担はどれだとお考えですか。（項目ごとに、あなたの考えに近い番号に1つずつ○）

図表7-2-1 行政と家庭や地域コミュニティの役割分担



(1) 全体の傾向

上記10項目のうち、6項目で「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高くなっています。残り4項目は「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」が最も高くなっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

(ア) 高齢者・障がい者のお世話などの福祉活動

30代で「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が他の年代に比べ高くなっています。

(イ) 乳幼児や放課後児童の見守りなどの子育て支援活動

すべての年代で「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」が最も高くなっています。特に40代では5割弱となっています。

(ウ) ごみの減量や空き缶回収などのリサイクル活動

すべての年代で「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高くなっています。特に20代で4割台半ばと他の年代に比べ高くなっています。

(エ) スポーツや学習活動の企画・運営

30代を除くすべての年代で「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」、30代では「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高くなっています。

(オ) コミュニティセンターや公民館などの施設管理・運営

すべての年代で「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」という回答が最も高くなっていますが、「全て行政が実施する」や「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」といった回答も高くなっています。

(カ) 地域の防犯・防災活動

全体的に「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が高くなっています。40代では「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」が最も高くなっています。

(キ) 公園の除草や清掃活動

すべての年代で「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高くなっています。特に30代～50代では4割を超えています。

(ク) 道路・河川などの清掃活動

すべての年代で「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高くなっています。50代では「全て行政が実施する」が他の年代に比べ高くなっています。

(ケ) 自然保護・地球温暖化防止活動

すべての年代で「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高くなっています。20代では「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」が他の年代に比べ高くなっています。

(コ) 青少年の健全育成活動

20代および40代では「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」、30代および50代～70代以上では「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高くなっています。

② 地区別

(ア) 高齢者・障がい者のお世話などの福祉活動

すべての地区で「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」が最も高くなっています。特に北部地区では半数を超えています。

(イ) 乳幼児や放課後児童の見守りなどの子育て支援活動

すべての地区で「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」が最も高くなっています。

(ウ) ごみの減量や空き缶回収などのリサイクル活動

すべての地区で「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高くなっています。特に南部地区では4割強と他の地区に比べ高くなっています。

(エ) スポーツや学習活動の企画・運営

北部地区をのぞくすべての地区で「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」、北部地区では「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高くなっています。

(オ) コミュニティセンターや公民館などの施設管理・運営

すべての地区で「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」という回答が最も高くなっています。中央地区、南部地区、西部地区では「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」が他の地区に比べ高くなっています。

(カ) 地域の防犯・防災活動

全体的に「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が高くなっています。北部地区では「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」が他の地区に比べ高くなっています。

(キ) 公園の除草や清掃活動

すべての地区で「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高くなっています。中央東地区、東部地区では「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」が他の地区に比べ高くなっています。

(ク) 道路・河川などの清掃活動

すべての地区で「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高くなっています。

(ケ) 自然保護・地球温暖化防止活動

すべての地区で「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」が最も高くなっています。特に北部地区では半数を超えています。

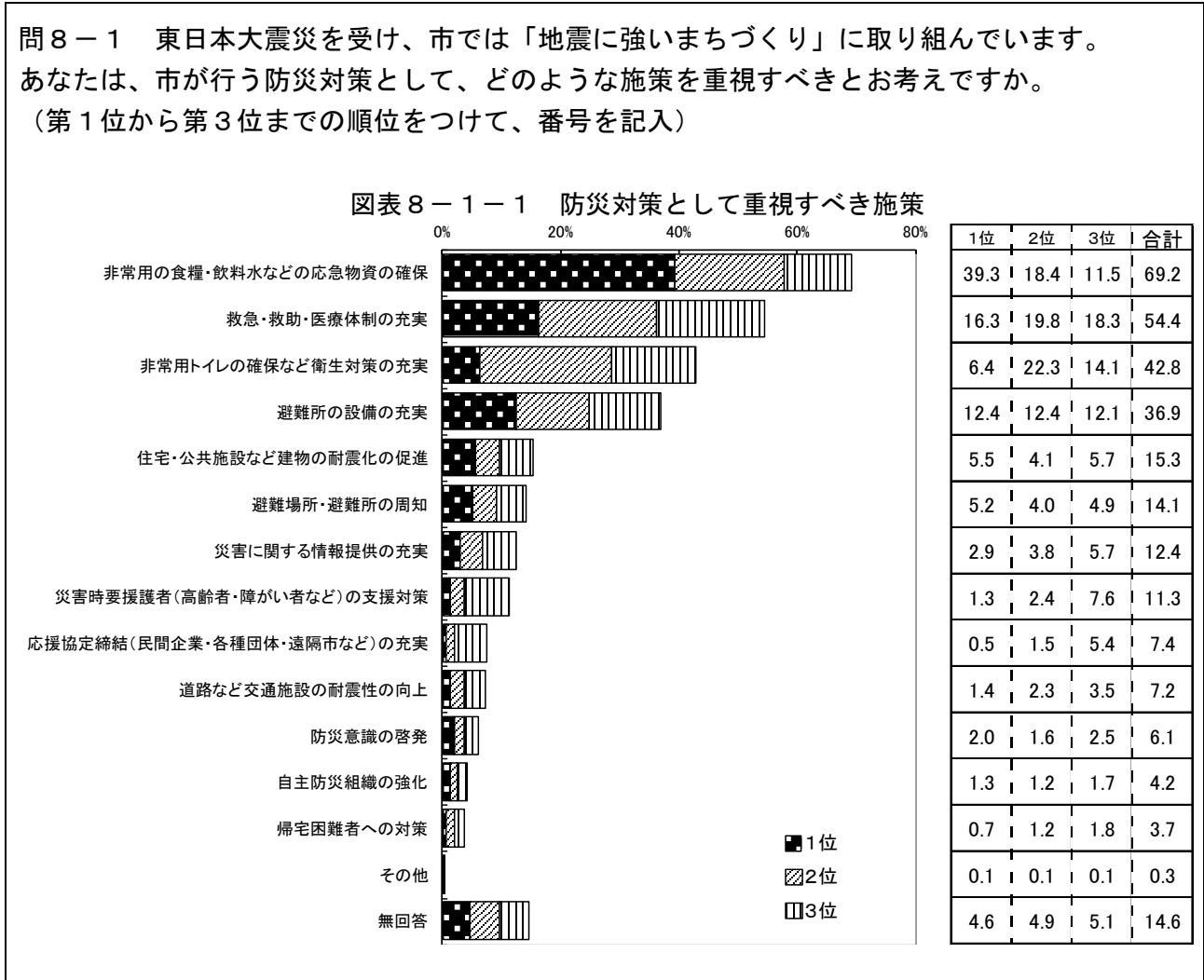
(コ) 青少年の健全育成活動

中央地区、南部地区、西部地区では「主に行政が実施し、家庭・地域などは協力する」、中央東地区、東部地区、北部地区では「行政・家庭・地域などが、状況に応じ互いに相談して実施する」が最も高くなっています。

8. 防災対策について

(1) 防災対策として重視すべき施策

◇防災対策として重視すべき施策の1位は「非常用の食糧・飲料水などの応急物資の確保」で約4割



(1) 全体の傾向

防災対策として重視すべき施策の1位は「非常用の食糧・飲料水などの応急物資の確保」が39.3%、次いで、「救急・救助・医療体制の充実」(16.3%)、「避難所の設備の充実」(12.4%)となっています。

1位～3位を合わせると、最も重視すべき施策は「非常用の食糧・飲料水などの応急物資の確保」、次いで「救急・救助・医療体制の充実」、「非常用トイレの確保など衛生対策の充実」があげられています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみても全体と同様の傾向となっています。50代では1位に「避難所の設備の充実」とした割合が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

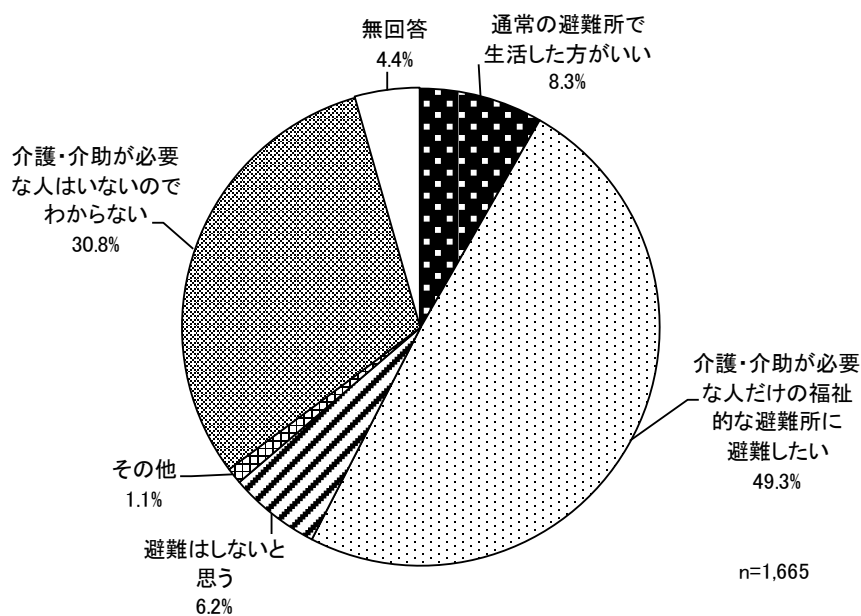
地区別にみても全体と同様の傾向となっています。

(2) 福祉避難所の必要性

◇「介護・介助が必要な人だけの福祉的な避難所に避難したい」が約5割

問8-2 あなた自身、もしくはあなたが同居している家族に介護・介助が必要な人、障がいのある人がいる場合、大震災などの災害が起こった時に、介護・介助が必要な人向けの避難所の必要性についてどのようにお考えですか。(〇は1つ)

図表8-2-1 福祉避難所の必要性



(1) 全体の傾向

「介護・介助が必要な人だけの福祉的な避難所に避難したい」が49.3%と最も高く、次いで「介護・介助が必要な人はいないのでわからない」(30.8%)、「通常避難所で生活した方がいい」(8.3%)となっています。

(2) 属性別特徴

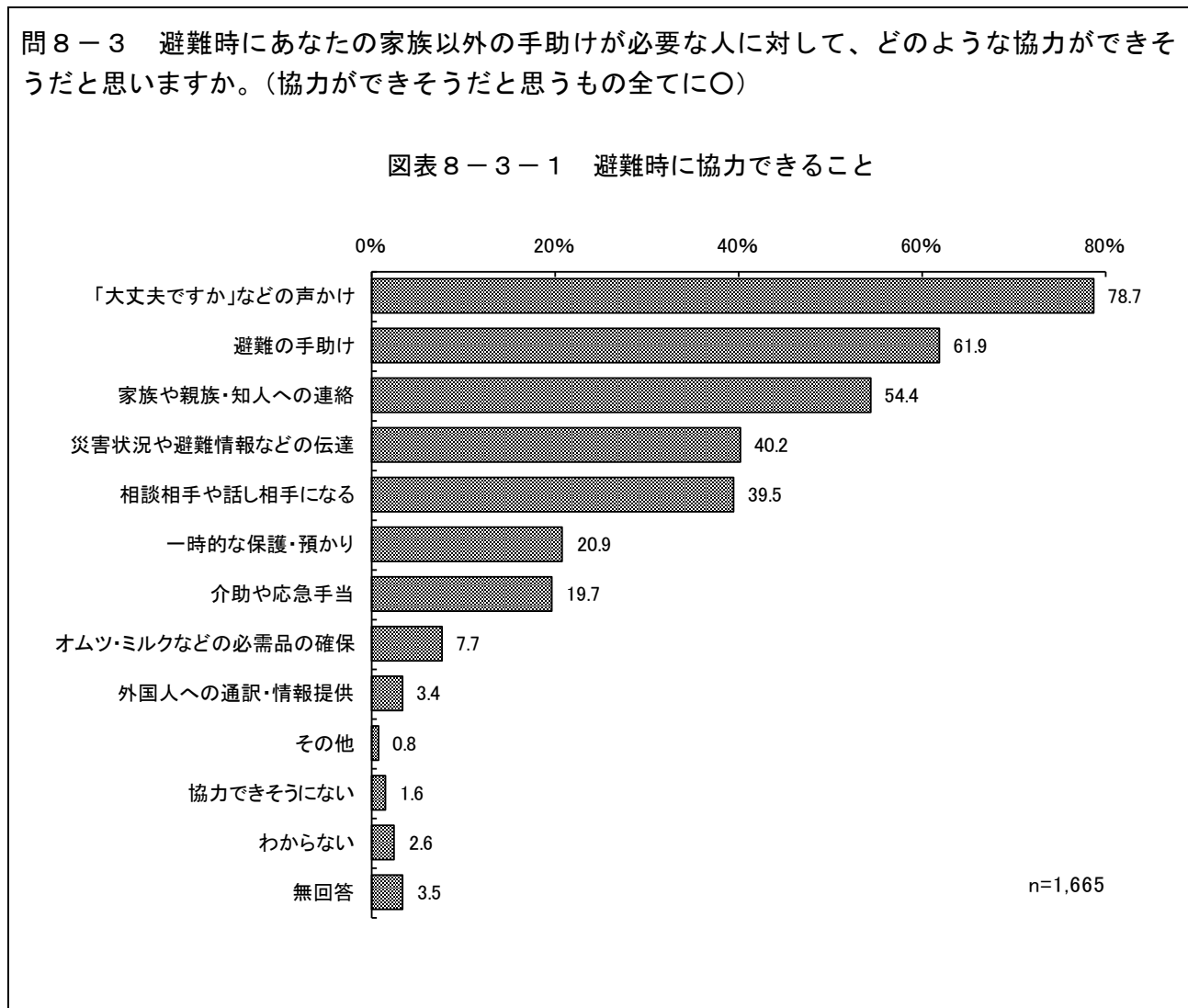
① 年代別

年代別にみると、すべての年代で「介護・介助が必要な人だけの福祉的な避難所に避難したい」が最も高くなっています。20代では「通常避難所で生活した方がいい」が他の年代に比べ高くなっています。

また、概ね年代が高くなるにつれて「避難はしないと思う」という回答が増加しています。

(3) 避難時に協力できること

◇避難時に協力できることは、「大丈夫ですか」などの声かけが8割弱



(1) 全体の傾向

避難時に協力できることは、「大丈夫ですか」などの声かけが78.7%と最も高くなっています。次いで、「避難の手助け」(61.9%)、「家族や親族・知人への連絡」(54.4%)となっています。

(2) 属性別特徴

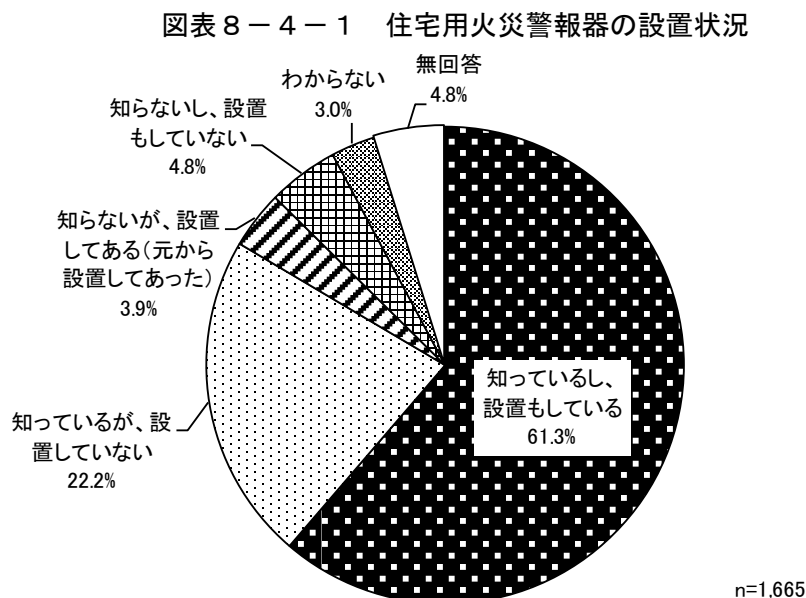
① 年代別

年代別にみても全体とほぼ同様の傾向となっています。20代～30代では「オムツ・ミルクなどの必需品の確保」が他の年代に比べ高くなっています。また、70代以上では「協力ができそうにない」が他の年代に比べ高くなっています。

(4) 住宅用火災警報器の設置状況

◇住宅用火災警報器の設置の義務付けは「知っているし、設置もしている」が6割強

問8-4 あなたは、住宅用火災警報器の設置が義務付けされたことを知っていますか。また、ご家庭で設置していますか。(○は1つ)



(1) 全体の傾向

住宅用火災警報器について「知っているし、設置もしている」が61.3%と最も高くなっています。次いで、「知っているが、設置していない」(22.2%)、「知らないし、設置もしていない」(4.8%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

すべての年代で「知っているし、設置もしている」が最も高く、20代では「知らないが、設置してある(元から設置してあった)」、「知らないし、設置もしていない」、50代では「知っているが、設置していない」が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

中央地区では「知っているし、設置もしている」が7割を超えていますが、北部地区では4割台半ばとなっています。

③ 居住年数別

居住年数が「3年未満」、「3～5年」では「知っているし、設置もしている」が8割を超えているのに対し、「10～19年」、「20年以上」、「生まれたときから」では5割となっています。概ね居住年数が長くなるほど「知っているし、設置もしている」が減少しています。

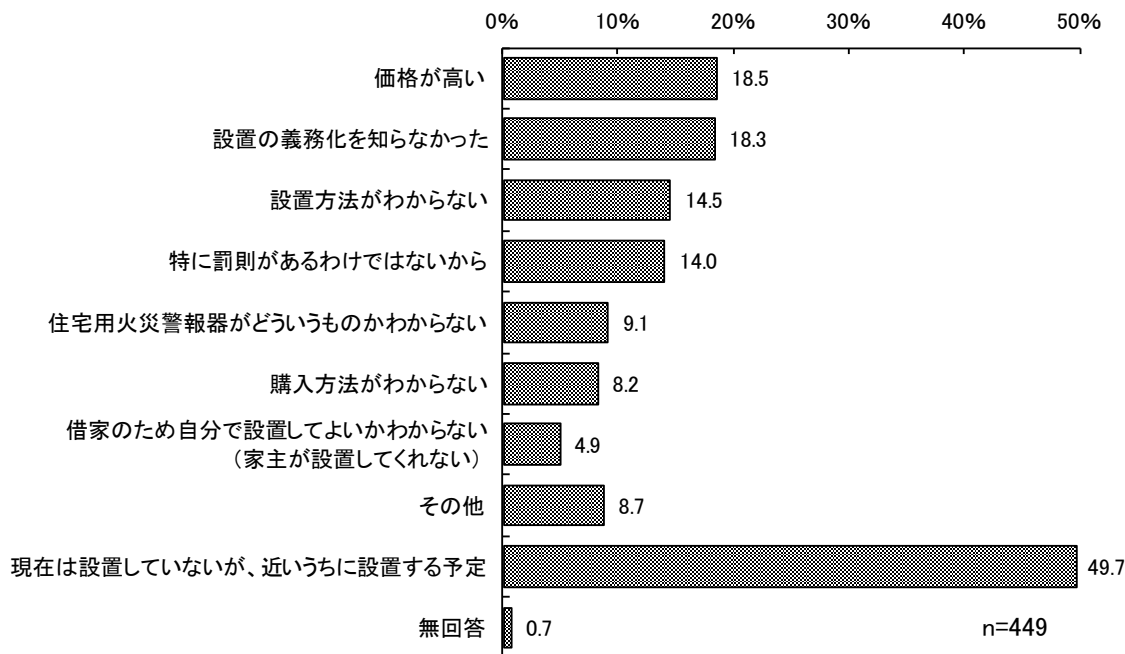
④ 居住形態別

居住形態が「持ち家(一戸建て)」では「知っているし、設置もしている」が6割弱であるのに対し、「公営借家」では9割を超えています。

◇住宅用火災警報器を設置していない理由は「価格が高い」、「設置の義務化を知らなかった」がそれぞれ2割弱

問8-4-1 [問8-4で「2. 知っているが、設置していない」、「4. 知らないし、設置もしていない」と回答した方にお伺いします。]住宅用火災警報器を設置していない理由をお聞かせください。(該当するもの全てに○)

図表8-4-2 住宅用火災警報器を設置していない理由



(1) 全体の傾向

住宅用火災警報器を設置していない理由は「価格が高い」が18.5%と最も高くなっています。次いで、「設置の義務化を知らなかった」(18.3%)、「設置方法がわからない」(14.5%)となっています。また、「現在は設置していないが、近いうちに設置する予定」は49.7%となっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、20代では「設置の義務化を知らなかった」、30代では「設置方法がわからない」が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

地区別にみると、中央地区、中央東地区では「設置の義務化を知らなかった」、西部地区、北部地区では「設置方法がわからない」が他の地区に比べ高くなっています。

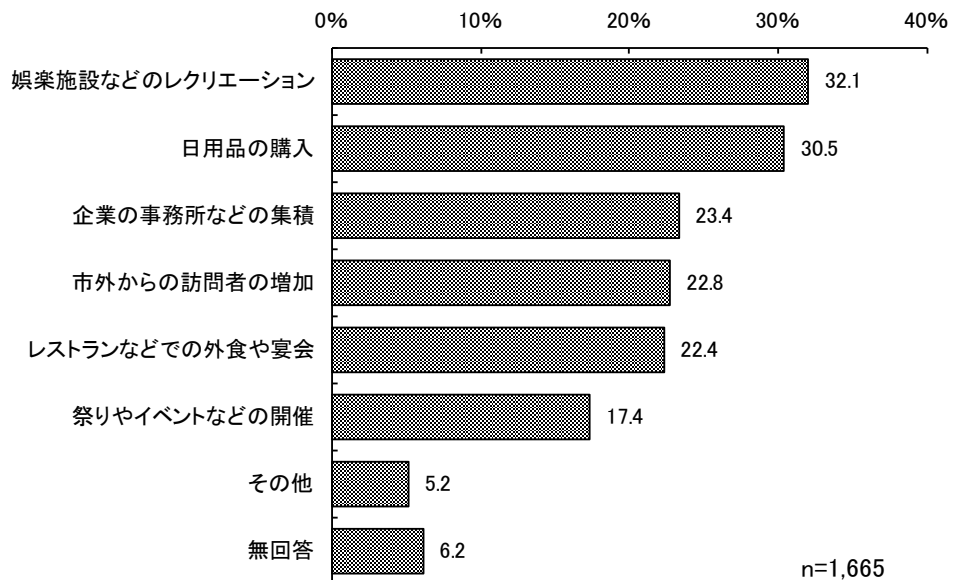
9. 魅力あるまちづくり・都市基盤整備について

(1) 新鎌ヶ谷地区の今後の方向性

◇新鎌ヶ谷地区の今後の方向性に期待していることは「娯楽施設などのレクリエーション」が3割強

問9-1 あなたは、新鎌ヶ谷地区の今後の方向性についてどのような期待をしていますか。
(○は2つ以内)

図表9-1-1 新鎌ヶ谷地区の今後の方向性



(1) 全体の傾向

新鎌ヶ谷地区の今後の方向性に期待していることは「娯楽施設などのレクリエーション」が32.1%と最も高くなっています。次いで、「日用品の購入」(30.5%)、「企業の事務所などの集積」(23.4%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

20代～40代では「娯楽施設などのレクリエーション」、50代～70代以上では「市外からの訪問者の増加」が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

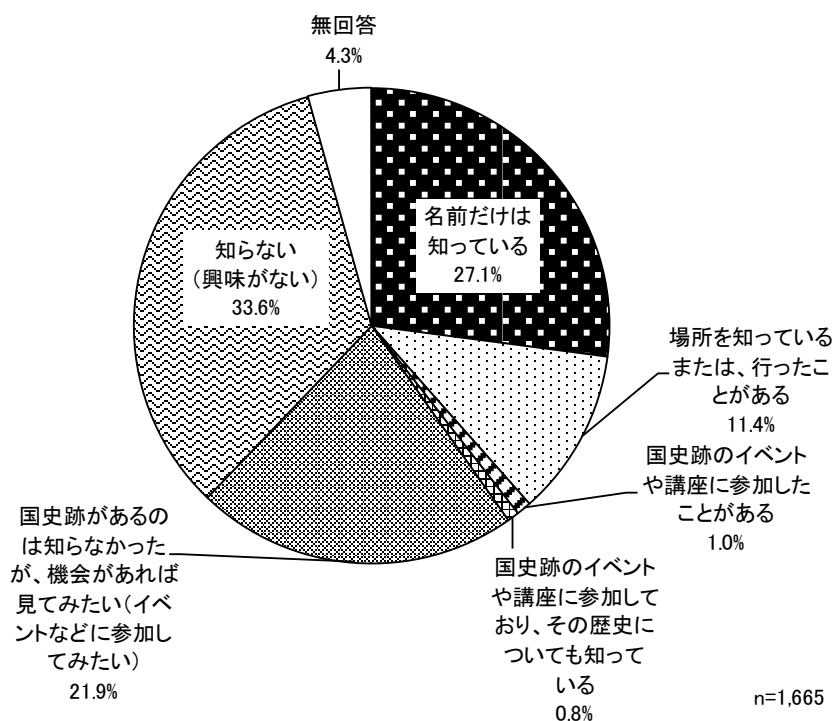
中央地区では「祭りやイベントなどの開催」、中央東地区、東部地区では「市外からの訪問者の増加」、南部地区、北部地区では「日用品の購入」が他の地区に比べ高くなっています。

(2) 国史跡「下総小金中野牧跡」の認知度

◇国史跡「下総小金中野牧跡」の認知度は「知らない」が3割台半ば

問9-2 あなたは、国史跡「下総小金中野牧跡」について、次のうちどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

図表9-2-1 国史跡「下総小金中野牧跡」の認知度



(1) 全体の傾向

国史跡「下総小金中野牧跡」の認知度について「知らない」を除くと、「名前だけは知っている」が27.1%と最も高くなっています。次いで、「国史跡があるのは知らなかったが、機会があれば見てみたい(イベントなどに参加してみたい)」(21.9%)、「場所を知っているまたは、行ったことがある」(11.4%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、年代が高くなるにつれて「名前だけは知っている」、「場所を知っているまたは、行ったことがある」という回答が高くなっています。

② 地区別

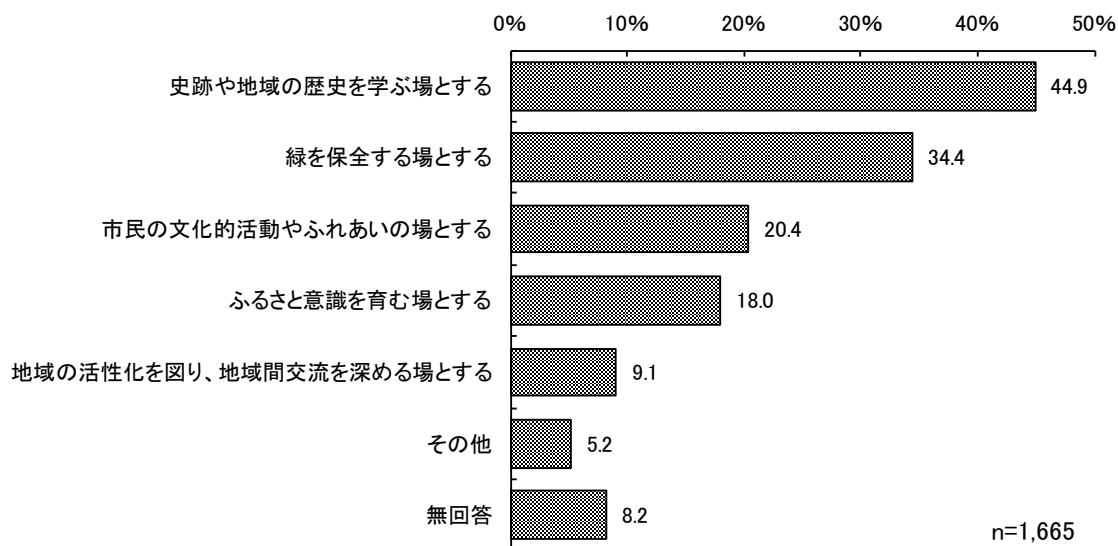
地区別にみると、南部地区では「場所を知っているまたは、行ったことがある」が他の地区に比べ高くなっています。

(3) 国史跡「下総小金中野牧跡」の活用方法

◇国史跡「下総小金中野牧跡」の活用方法は「史跡や地域の歴史を学ぶ場とする」が4割台半ば

問9-3 あなたは、国史跡「下総小金中野牧跡」について、今後、活用を図るため、どのような取り組みを進めていく必要があると思いますか。(〇は2つ以内)

図表9-3-1 国史跡「下総小金中野牧跡」の活用方法



(1) 全体の傾向

国史跡「下総小金中野牧跡」の活用方法は「史跡や地域の歴史を学ぶ場とする」が44.9%と最も高くなっています。次いで、「緑を保全する場とする」(34.4%)、「市民の文化的活動やふれあいの場とする」(20.4%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

20代では「緑を保全する場とする」、30代では「史跡や地域の歴史を学ぶ場とする」、70代以上では「市民の文化的活動やふれあいの場とする」、60代～70代以上では「地域の活性化を図り、地域間交流を深める場とする」が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

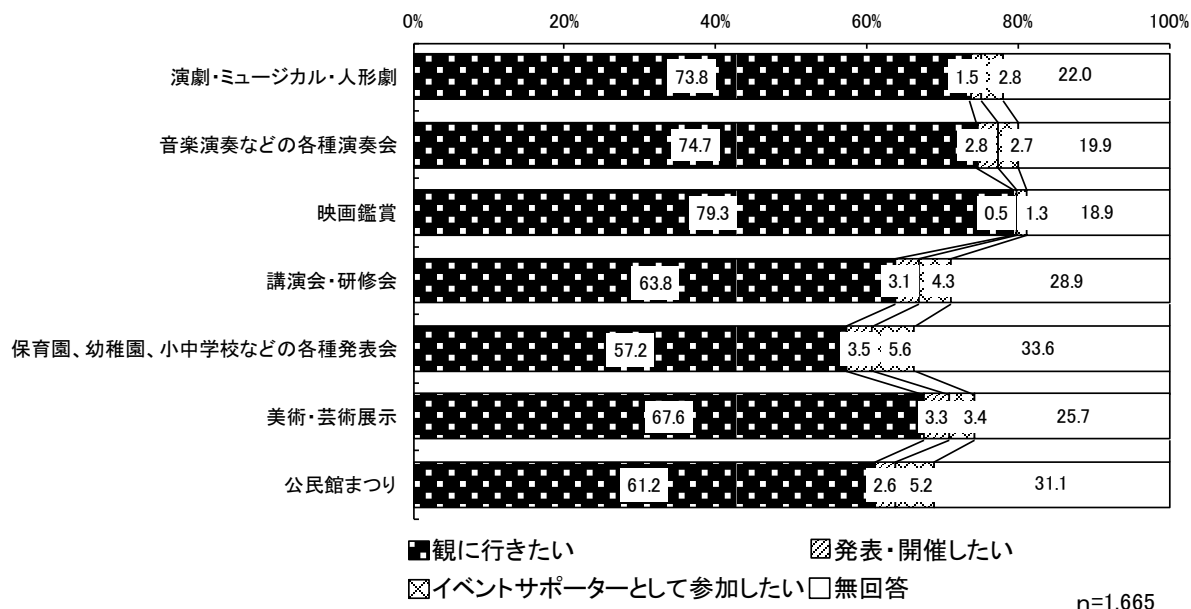
北部地区では「緑を保全する場とする」、西部地区では「史跡や地域の歴史を学ぶ場とする」が他の地区に比べ高くなっています。

(4) きらり鎌ヶ谷市民会館に期待すること

◇きらり鎌ヶ谷市民会館には映画や演劇などの鑑賞目的での利用を期待

問9-4 鎌ヶ谷市では、平成26年4月開設に向け、きらり鎌ヶ谷市民会館（文化センター）の整備を行っています。あなたは、きらり鎌ヶ谷市民会館にどのようなことを期待しますか。（項目ごとに○は1つずつ）

図表9-4-1 きらり鎌ヶ谷市民会館に期待すること



(1) 全体の傾向

すべての項目で「観に行きたい」が半数以上を占めています。中でも「映画鑑賞」は79.3%が「観に行きたい」と回答しています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

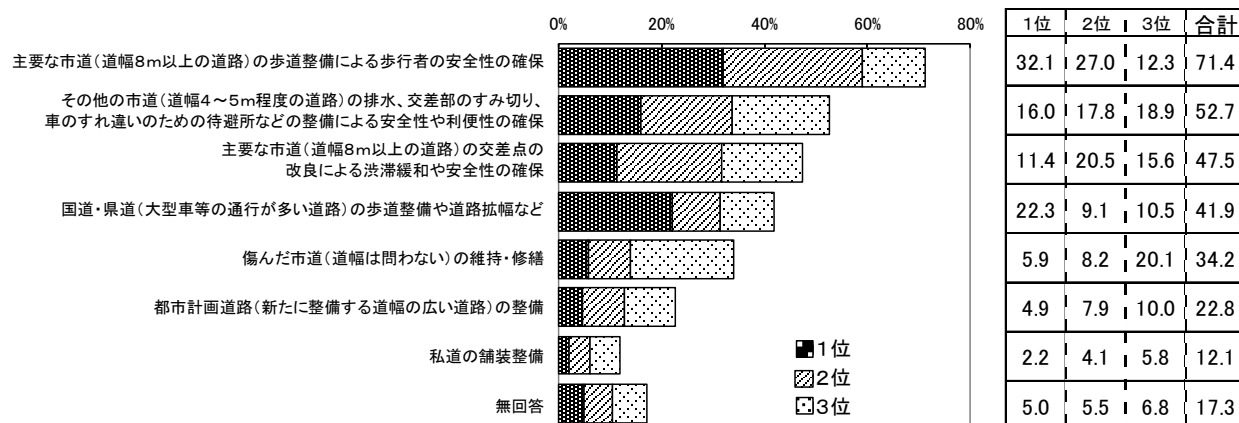
年代別にみると、20代では「イベントサポーターとして参加したい」との回答が他の年代に比べ高くなっています。

(5) 道路整備の優先すべき施策

◇道路整備の優先すべき施策と考えられている項目の1位は「主要な市道の歩道整備による歩行者の安全性の確保」が3割強

問9-5 道路には、国道464号のような幅の広い幹線道路から、市民の生活に密着した身の回りの生活道路までがあります。あなたは、道路整備について、どのような整備を優先すべきとお考えですか。(第1位から第3位までの順位をつけて、番号を記入)

図表9-5-1 道路整備の優先すべき施策



(1) 全体の傾向

道路整備の優先すべき項目として1位にあげられているのは「主要な市道(道幅8m以上の道路)の歩道整備による歩行者の安全性の確保」が32.1%で最も高くなっています。次いで、「国道・県道(大型車等の通行が多い道路)の歩道整備や道路拡幅など」(22.3%)、「その他の市道(道幅4~5m程度の道路)の排水、交差点のすみ切り、車のすれ違いのための待避所などの整備による安全性や利便性の確保」(16.0%)となっています。

1位~3位を合わせると、「主要な市道(道幅8m以上の道路)の歩道整備による歩行者の安全性の確保」が「国道・県道(大型車等の通行が多い道路)の歩道整備や道路拡幅など」を上回っています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみても、全体の傾向と同様になっています。

② 地区別

地区別にみても、概ね全体の傾向と同様になっています。北部地区では「主要な市道(道幅8m以上の道路)の交差点の改良による渋滞緩和や安全性の確保」が他の地区に比べ高くなっています。

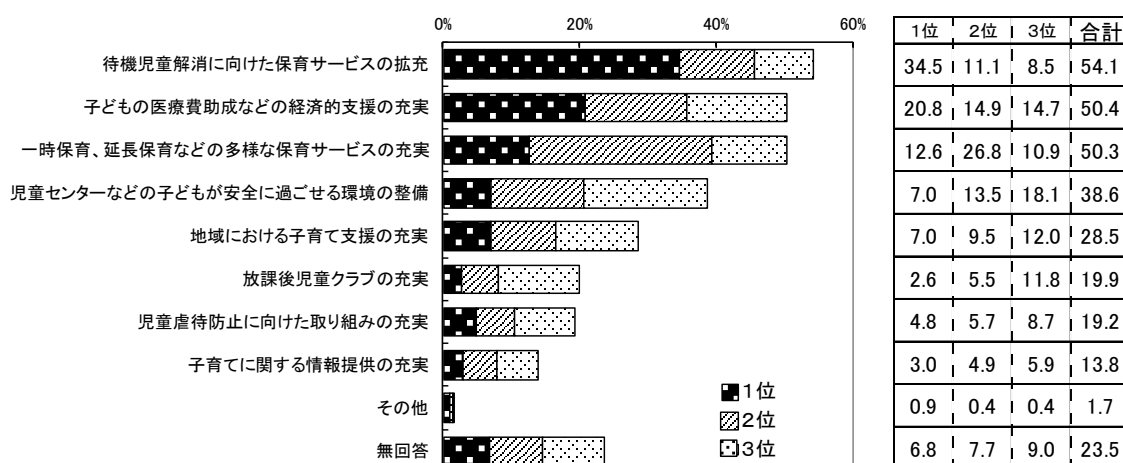
10. 少子・高齢化対策について

(1) 子育て環境を整備するために必要な施策

◇子育て環境を整備するために必要な施策と考えられている項目の1位は、「待機児童解消に向けた保育サービスの拡充」が3割台半ば

問10-1 あなたは、子どもが健やかに育てられる環境を整備するために、どのような施策が必要だと思いますか。(第1位から第3位までの順位をつけて、番号を記入)

図表10-1-1 子育て環境を整備するために必要な施策



(1) 全体の傾向

子育て環境を整備するために必要な施策として1位にあげられているのは「待機児童解消に向けた保育サービスの拡充」で34.5%と最も高くなっています。次いで、「子どもの医療費助成などの経済的支援の充実」(20.8%)、「一時保育、延長保育などの多様な保育サービスの充実」(12.6%)と続いています。

1位～3位を合わせると、上記の3項目が同様に上位を占めています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみても、全体の傾向と同様になっています。

② 地区別

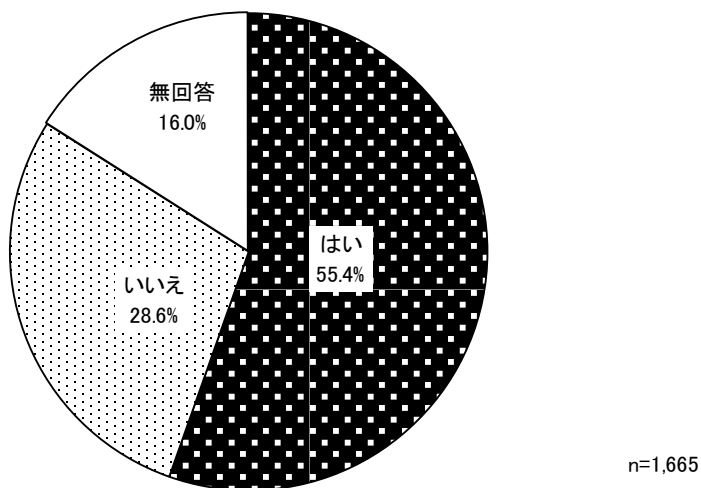
地区別にみても、概ね全体の傾向と同様になっています。北部地区では「子育てに関する情報提供の充実」が他の地区に比べ高くなっています。

(2) 自身の健康への満足度

◇自身の健康に満足している人は5割台半ば

問10-2 あなたは、ご自身の健康に満足していますか。(○は1つ)

図表10-2-1 自身の健康への満足度



(1) 全体の傾向

自身の健康に満足している(「はい」)という回答が55.4%と半数を超えています。満足していない(「いいえ」)という回答は28.6%となっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代が高くなるにつれて自身の健康に満足しているという回答が減少傾向にあります。特に、70代以上では35.0%となっています。

② 地区別

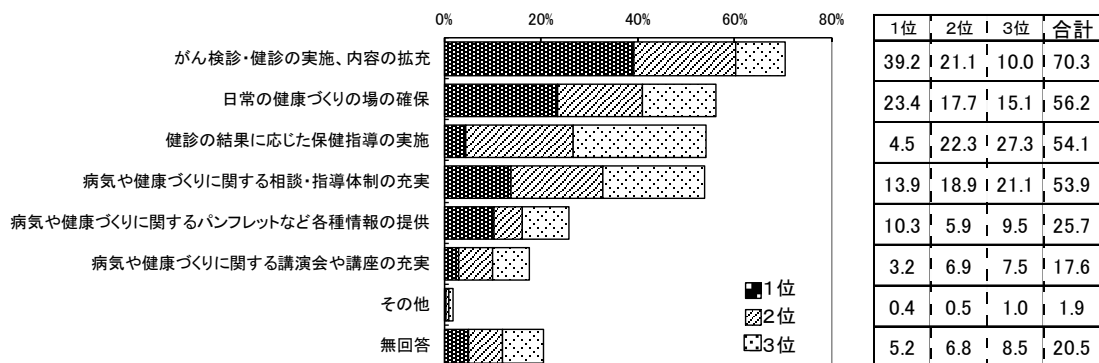
地区別にみても、概ね全体の傾向と同様になっており、特に中央地区、北部地区では他の地区に比べ自身の健康に満足しているという回答が高く、6割を超えています

(3) 市民の健康を維持するために必要な施策

◇市民の健康を維持するために必要な施策と考えられている項目の1位は、「がん検診・健診の実施、内容の拡充」が約4割

問10-3 少子高齢社会では、「健康寿命（健康で活動的に暮らせる期間）」を延ばしていくことが大切です。あなたは、市民が健康を維持するために、どのような施策が必要だと思いますか。（第1位から第3位までの順位をつけて、番号を記入）

図表10-3-1 市民の健康を維持するために必要な施策



(1) 全体の傾向

市民の健康を維持するために必要な施策として1位にあげられているのは「がん検診・健診の実施、内容の拡充」で39.2%と最も高くなっています。次いで、「日常の健康づくりの場の確保」（23.4%）、「病気や健康づくりに関する相談・指導體制の充実」（13.9%）と続いています。

1位～3位を合わせると、「健診の結果に応じた保健指導の実施」が「病気や健康づくりに関する相談・指導體制の充実」を上回っています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみても、概ね全体の傾向と同様になっています。「病気や健康づくりに関するパンフレットなど各種情報の提供」では年代が高くなるにつれて高くなっています。

② 地区別

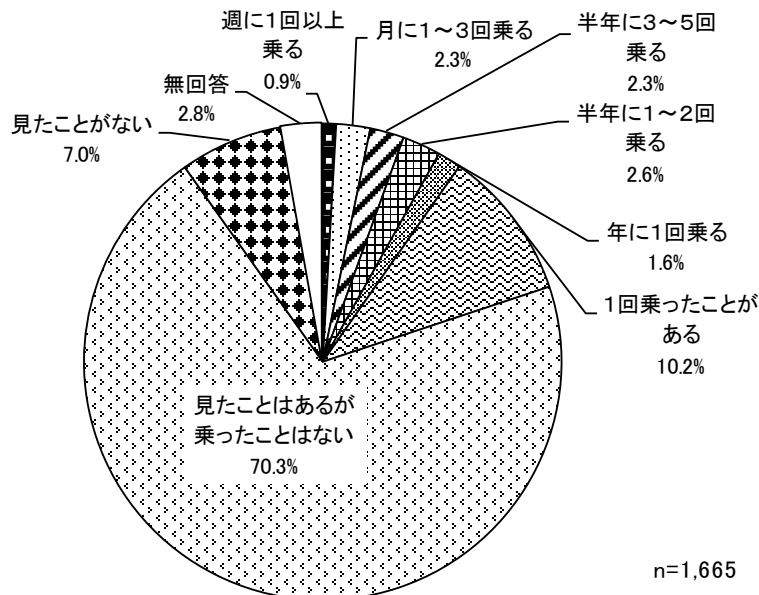
地区別にみても、全体の傾向と同様になっています。

(4) コミュニティバス「ききょう号」の利用状況

◇ききょう号の利用状況は「見たことはあるが乗ったことはない」が約7割

問10-4 高齢化が進む中では、日常的な交通手段の確保が重要です。あなたは、コミュニティバス「ききょう号」を利用したことがありますか。(○は1つ)

図表10-4-1 ききょう号の利用状況



(1) 全体の傾向

ききょう号の利用状況は「見たことはあるが乗ったことはない」が70.3%と最も高くなっています。次いで、「1回乗ったことがある」(10.2%)、「見たことがない」(7.0%)と続いています。

1回でも“利用したことがある”という回答は約2割となっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

“利用したことがある”という回答は年代が高くなるにつれて高くなっています。特に、70代以上では、いずれの利用頻度でも他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

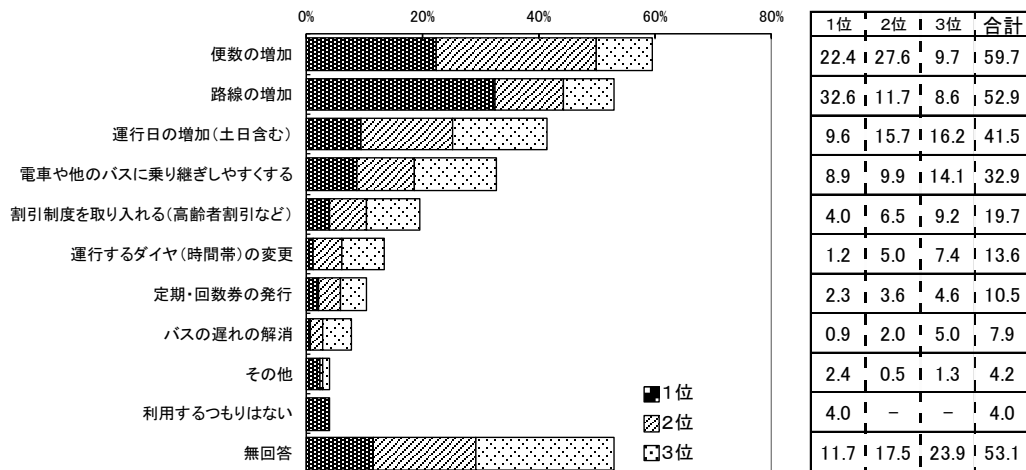
中央東地区、東部地区では「1回乗ったことがある」が他の地区に比べ高くなっています。

(5) コミュニティバス「ききょう号」に必要な施策

◇ききょう号がもっと利用しやすくなるための方法としてあげられた項目の1位は、「路線の増加」が3割強

問10-5 あなたは、コミュニティバス「ききょう号」がもっと利用しやすくなるために、どのような方法が必要だと思いますか。(第1位から第3位までの順位をつけて、番号を記入)

図表10-5-1 ききょう号に必要な施策



(1) 全体の傾向

ききょう号がもっと利用しやすくなるために必要な方法として、1位にあげられているのは「路線の増加」が32.6%で最も高くなっています。次いで、「便数の増加」(22.4%)、「運行日の増加(土日含む)」(9.6%)となっています。

1位～3位を合わせると、「便数の増加」が「路線の増加」を上回っています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、20代～30代では「電車や他のバスに乗り継ぎしやすくする」が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

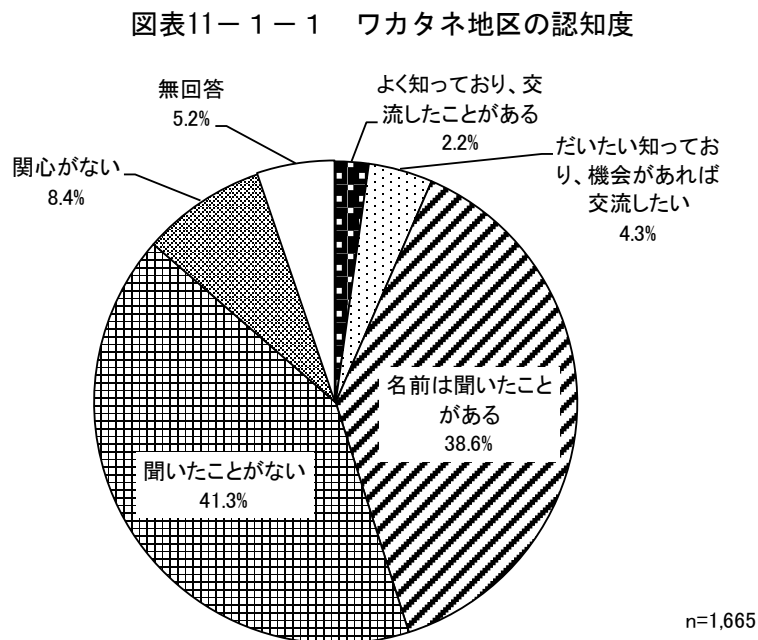
地区別にみると、東部地区、南部地区では「運行日の増加(土日含む)」、西部地区、北部地区では「電車や他のバスに乗り継ぎしやすくする」が他の地区に比べ高くなっています。

11. 国際交流について

(1) 姉妹都市（ニュージーランド・ワカタネ地区）の認知度

◇姉妹都市（ニュージーランド・ワカタネ地区）の認知度は「知っている」と「聞いたことがある」を合わせて4割台半ば

問11-1 あなたは、鎌ヶ谷市の姉妹都市（ニュージーランド・ワカタネ地区）について、どの程度知っていますか。（○は1つ）



(1) 全体の傾向

姉妹都市（ニュージーランド・ワカタネ地区）の認知度は「聞いたことがない」が41.3%で最も高くなっています。次いで、「名前を聞いたことがある」（38.6%）、「興味がない」（8.4%）と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

20代では「よく知っており、交流したことがある」が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

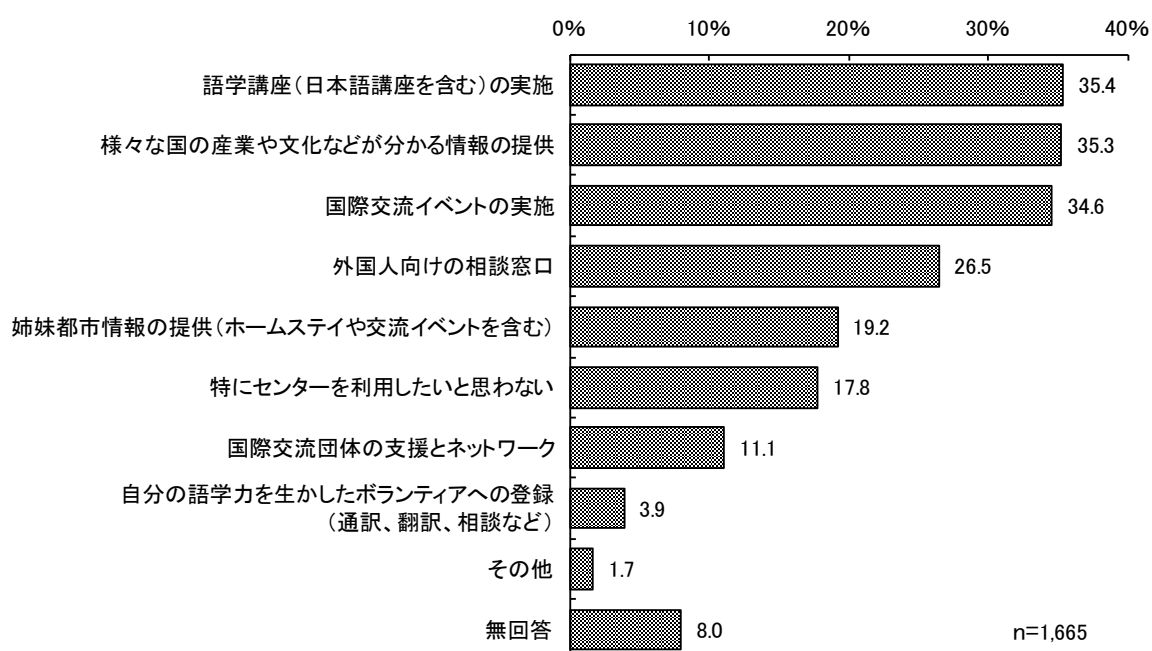
地区別にみても、全体と同様の傾向になっています。中央地区、北部地区では「よく知っており、交流したことがある」が他の地区に比べ高くなっています。

(2) 多文化共生推進センターに求める機能

◇多文化共生推進センターに求める機能は「語学講座の実施」「情報の提供」「イベントの実施」が3割台半ば

問11-2 鎌ケ谷市では、国籍の異なる人々がお互いの文化を尊重しながら地域の一員として暮らすことができる多文化共生社会づくりを目指しており、平成26年4月に（仮称）多文化共生センターをきらり鎌ケ谷市民会館（文化センター）内に開所予定です。あなたは、このセンターにどのような機能があれば良いと思いますか。（○は3つ以内）

図表11-2-1 多文化共生推進センターに求める機能



(1) 全体の傾向

多文化共生推進センターに求める機能は「語学講座（日本語講座を含む）の実施」が35.4%と最も高く、次いで「様々な国の産業や文化などが分かる情報の提供」（35.3%）、「国際交流イベントの実施」（34.6%）と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

20代では「外国人向けの相談窓口」、20代～50代では「語学講座（日本語講座を含む）の実施」、60代～70代以上では「様々な国の産業や文化などが分かる情報の提供」が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

西部地区では「様々な国の産業や文化などが分かる情報の提供」、「国際交流イベントの実施」が他の地区に比べ高くなっています。北部地区では「語学講座（日本語講座を含む）の実施」が他の地区に比べ高くなっています。

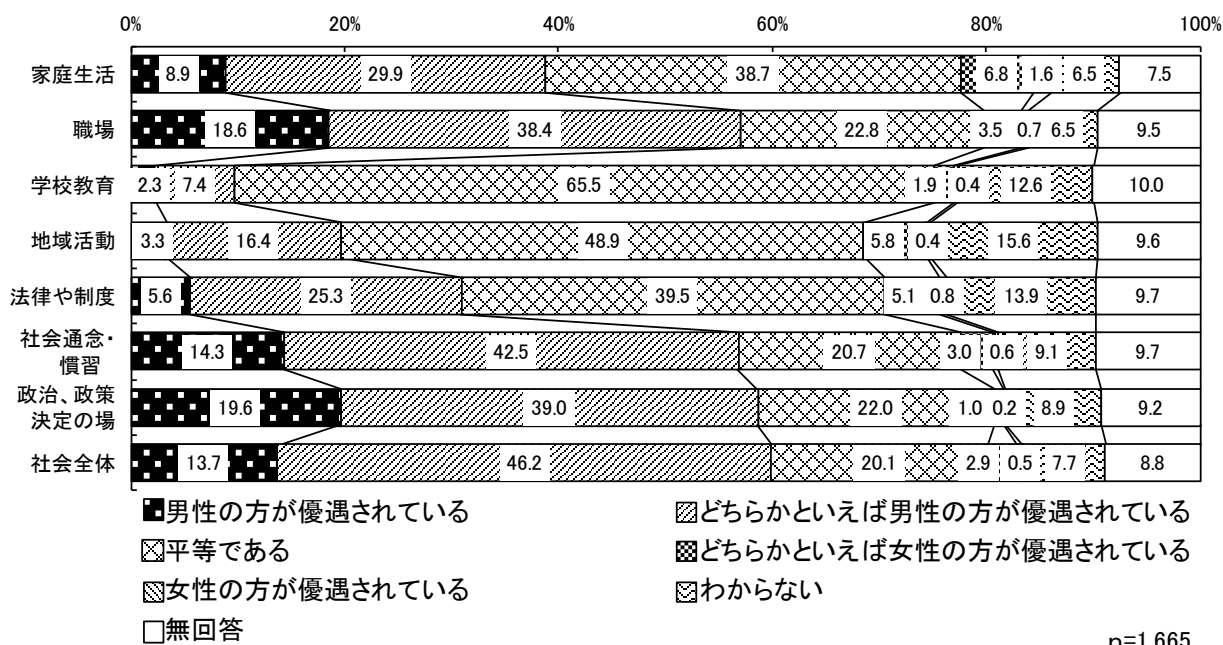
12. 男女共同参画社会について

(1) 男女平等意識

◇男女平等意識は「平等である」と考えられているのは「学校教育」で6割台半ば

問12-1 あなたは、次のような分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。
(項目ごとに、あなたの考えに近い番号に1つずつ○)

図表12-1-1 男女平等意識



(1) 全体の傾向

「平等である」は「学校教育」が65.5%で最も高く、次いで、「地域活動」(48.9%)、「法律や制度」(39.5%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 性別

(ア) 家庭生活：男性は「平等である」、女性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高くなっています。

(イ) 職場：男性、女性ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が3割を超えて最も高くなっています。

(ウ) 学校教育：男性、女性ともに「平等である」が6割を超えて最も高くなっています。

(エ) 地域活動：男性、女性ともに「平等である」が最も高くなっており、男性は5割台半ばを占めています。

(オ) 法律や制度：男性、女性ともに「平等である」が最も高くなっており、男性は約5割を占めています。

(カ) 社会通念・慣習：男性、女性ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が4割を超えて最も高くなっています。

(キ) 政治、政策決定の場：男性、女性ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高くなっています。

(ク) 社会全体：男性、女性ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が4割を超えて最も高くなっています。

② 年代別

(ア) 家庭生活：20代では「どちらかといえば女性の方が優遇されている」、50代では「男性の方が優遇されている」が他の年代に比べ高くなっています。

(イ) 職場：30代では「男性の方が優遇されている」、40代～50代では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が他の年代に比べ高くなっています。

(ウ) 学校教育：全体と同様に「平等である」が最も高くなっています。特に20代、40代～50代では7割を超えています。

(エ) 地域活動：60代で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が他の年代に比べ高くなっています。

(オ) 法律や制度：40代～50代で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が他の年代に比べ高くなっています。

(カ) 社会通念・慣習：50代で「男性の方が優遇されている」が他の年代に比べ高くなっています。

(キ) 政治、政策決定の場：30代～40代で「男性の方が優遇されている」が他の年代に比べ高くなっています。

(ク) 社会全体：40代では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が他の年代に比べ高くなっています。

③ 地区別

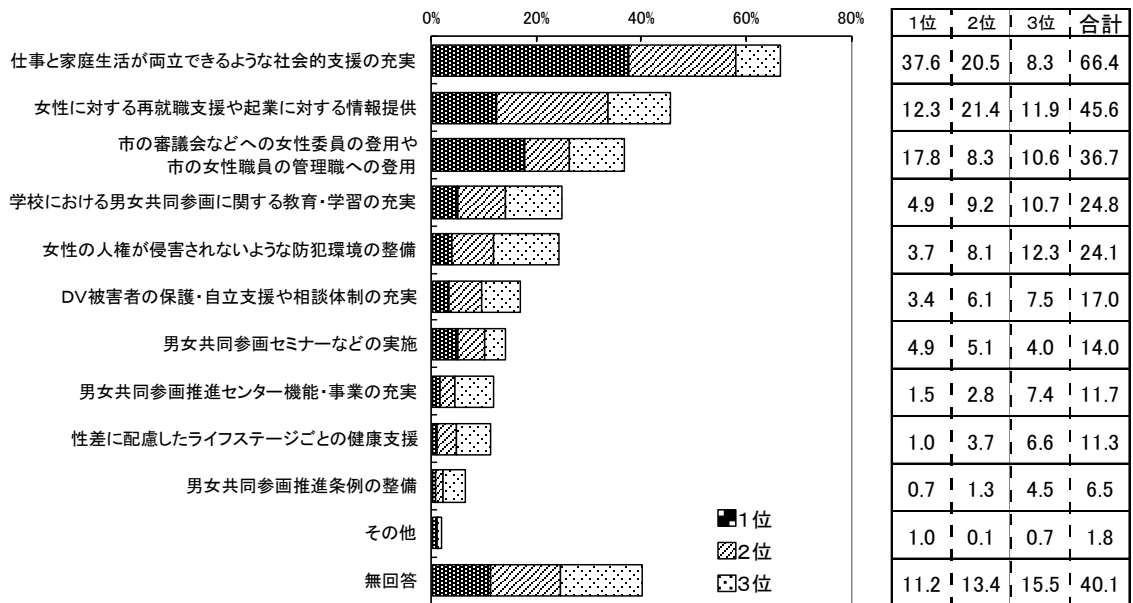
北部地区では「家庭生活」で「男性の方が優遇されている」が他の地区に比べ高くなっています。中央地区、中央東地区、東部地区では「政治、政策決定の場」で「平等である」が他の地区に比べ高くなっています。

(2) 男女共同参画社会を実現するために必要な施策

◇男女共同参画社会を実現するために必要な施策と考えられている項目の1位は、「仕事と家庭生活が両立できるような社会的支援の充実」が4割弱

問12-2 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、どのような施策が必要だと思いますか。(第1位から第3位までの順位をつけて、番号を記入)

図表12-2-1 男女共同参画社会を実現するために必要な施策



(1) 全体の傾向

男女共同参画社会を実現するために必要な施策として1位にあげられているのは、「仕事と家庭生活が両立できるような社会的支援の充実」が37.6%で最も高くなっています。次いで、「市の審議会などへの女性委員の登用や市の女性職員の管理職への登用」(17.8%)、「女性に対する再就職支援や起業に対する情報提供」(12.3%)と続いています。

1位～3位を合わせると、「女性に対する再就職支援や起業に対する情報提供」が「市の審議会などへの女性委員の登用や市の女性職員の管理職への登用」を上回っています。

(2) 属性別特徴

① 性別

性別にみると、男性、女性ともに概ね全体の傾向と同様になっています。

② 年代別

40代～50代では「女性に対する再就職支援や起業に対する情報提供」、50代～70代以上では「市の審議会などへの女性委員の登用や市の女性職員の管理職への登用」が他の年代に比べ高くなっています。

③ 地区別

地区別にみても、概ね全体の傾向と同様になっています。

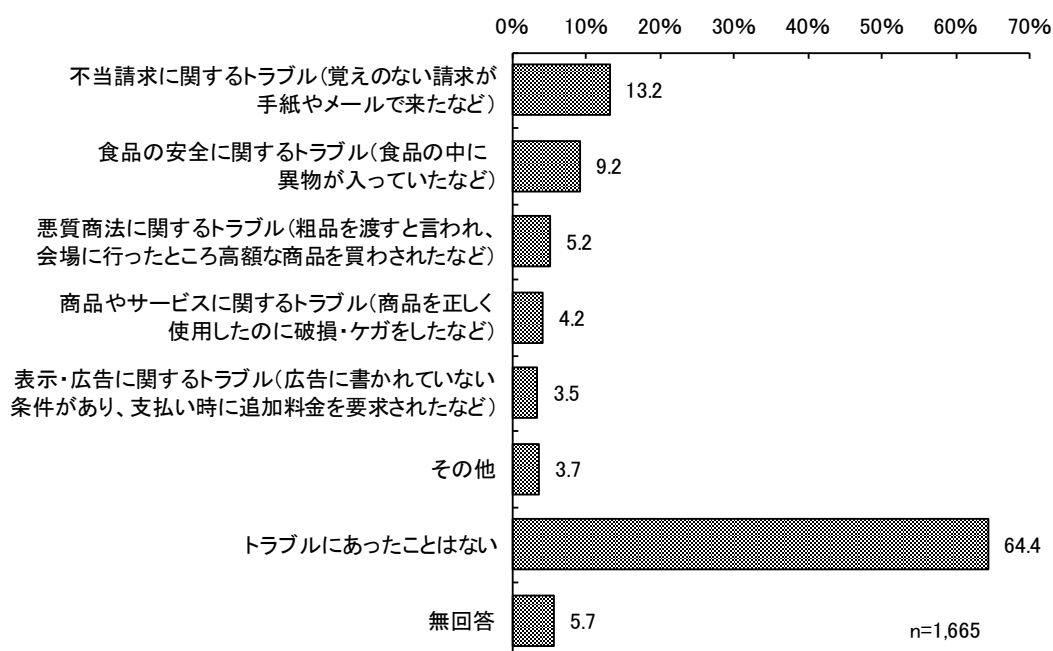
13. 消費生活について

(1) 消費生活に関するトラブルの経験

◇消費生活に関するトラブルについて「不当請求に関するトラブル」が1割台半ば、一方で「トラブルにあったことはない」が6割台半ば

問13-1 あなたは、これまでに消費生活に関するトラブルにあったことがありますか。また、あった場合どのような関係のトラブルですか。(該当するもの全てに○)

図表13-1-1 消費生活に関するトラブルの経験



(1) 全体の傾向

消費生活に関するトラブルについて、「トラブルにあったことはない」(64.4%)を除くと、「不当請求に関するトラブル(覚えのない請求が手紙やメールで来たなど)」が13.2%で最も高くなっています。次いで、「食品の安全に関するトラブル(食品の中に異物が入っていたなど)」(9.2%)、「悪質商法に関するトラブル(粗品を渡すと言われ、会場に行ったところ高額な商品を買わされたなど)」(5.2%)となっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

30代～40代で「不当請求に関するトラブル」が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

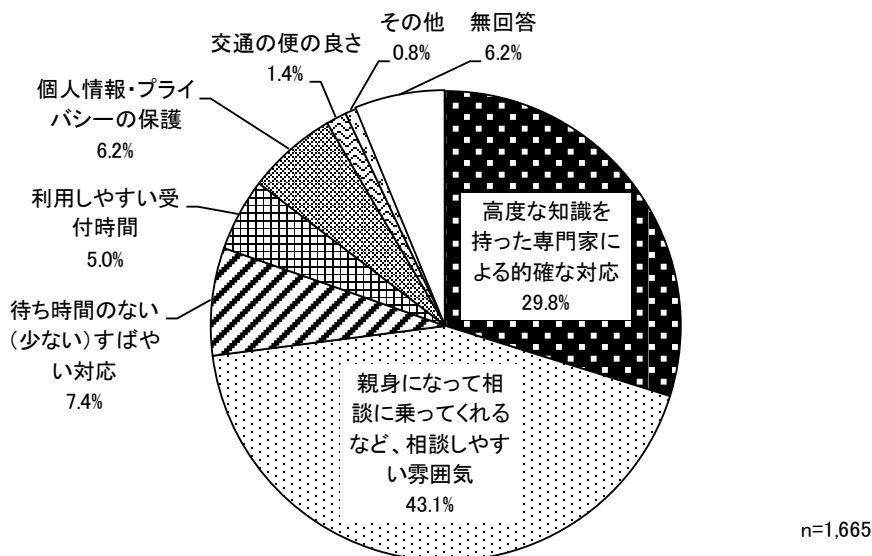
西部地区では「食品の安全に関するトラブル(食品の中に異物が入っていたなど)」が他の地区に比べ高くなっています。

(2) 消費生活に関する相談をする時に重視すること

◇相談時に重視することは「親身になって相談に乗ってくれるなど、相談しやすい雰囲気」が4割台半ば

問13-2 鎌ケ谷市では消費生活センターで消費生活に関する相談を行っています。あなたが、関係機関窓口で消費生活に関する相談を行う際、または相談を行うとしたら、重視する事項は何ですか。(○は1つ)

図表13-2-1 消費生活に関する相談をする時に重視すること



(1) 全体の傾向

相談時に重視することは、「親身になって相談に乗ってくれるなど、相談しやすい雰囲気」が43.1%で最も高くなっています。次いで、「高度な知識を持った専門家による的確な対応」(29.8%)、「待ち時間のない(少ない)すばやい対応」(7.4%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

概ね全体と同様の傾向がみられますが、20代では「利用しやすい受付時間」が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

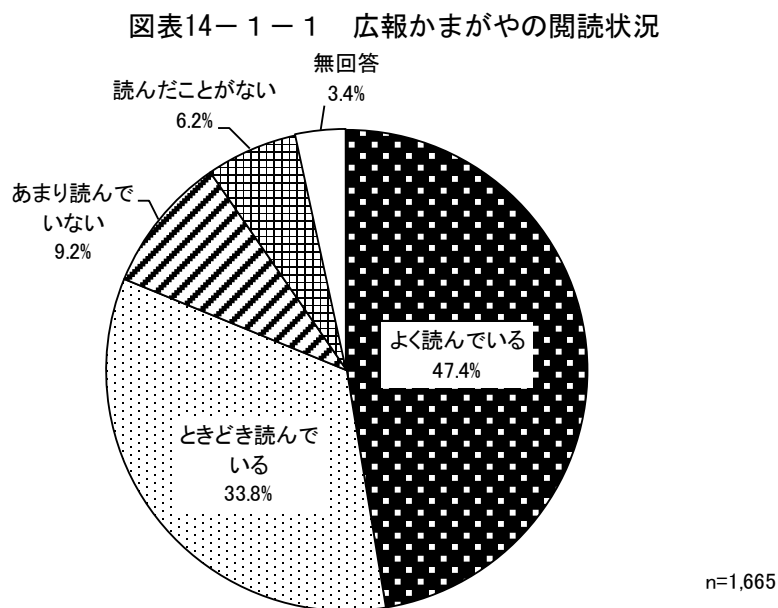
北部地区では「待ち時間のない(少ない)すばやい対応」が他の地区に比べ高くなっています。

14. 広報について

(1) 「広報かまがや」の閲読状況

◇広報かまがやの閲読状況は「よく読んでいる」と「ときどき読んでいる」を合わせて8割強

問14-1 あなたは、「広報かまがや」を読んでいますか。(○は1つ)



(1) 全体の傾向

「広報かまがや」について、「よく読んでいる」が47.4%、「ときどき読んでいる」が33.8%となっています。“読んでいる”（よく読んでいる＋ときどき読んでいる）という回答は、81.2%と高くなっています。

一方、“読んでいない”（あまり読んでいない＋読んだことがない）という回答は15.4%となっています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

「よく読んでいる」という回答は、年代が高くなるにつれて高くなっています。特に、70代以上では7割を超えています。

② 地区別

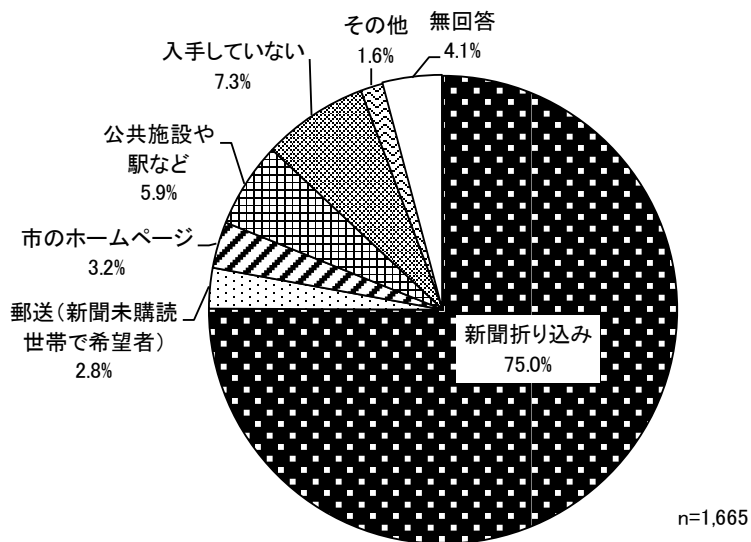
地区別にみると、中央東地区では「よく読んでいる」という回答が半数を超えています。

(2) 「広報かまがや」の入手方法

◇広報かまがやの入手方法は「新聞折り込み」が7割台半ば

問14-2 あなたは、「広報かまがや」をどのように入手していますか。(○は1つ)

図表14-2-1 広報かまがやの入手方法



(1) 全体の傾向

「広報かまがや」の入手方法は「新聞折り込み」が75.0%と最も高くなっています。次いで、「公共施設や駅など」(5.9%)、「市のホームページ」(3.2%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみると、概ね年代が高くなるにつれて「新聞折り込み」という回答が高くなっています。20代～30代では「入手していない」が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

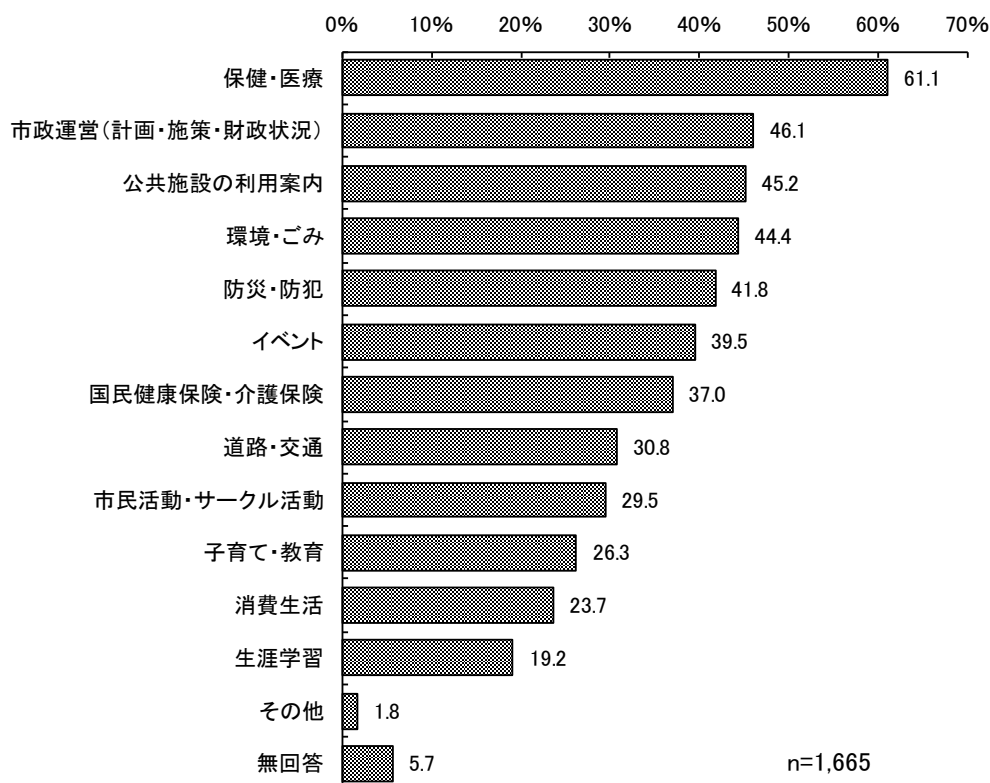
中央地区では「公共施設や駅など」が他の地区に比べ高くなっています。

(3) 市の広報紙やホームページで充実して欲しい情報

◇市の広報紙やホームページで充実して欲しい情報は「保健・医療」の情報が6割強

問14-3 あなたは、市の広報紙やホームページから、どのような情報が欲しいと思いますか。
(欲しいと思う情報全てに○)

図表14-3-1 市の広報紙やホームページで充実して欲しい情報



(1) 全体の傾向

市の広報紙やホームページで充実して欲しい情報は、「保健・医療」が61.1%と最も高くなっています。次いで、「市政運営(計画・施策・財政状況)」(46.1%)、「公共施設の利用案内」(45.2%)と続いています。

(2) 属性別特徴

① 年代別

年代別にみても、全体と同様に「保健・医療」の情報が欲しいという回答が高くなっています。また、30代では「子育て・教育」の情報、40代～50代では「公共施設の利用案内」の情報、50代では「環境・ごみ」の情報、70代以上では「国民健康保険・介護保険」の情報が欲しいという回答が他の年代に比べ高くなっています。

② 地区別

地区別にみても、全体と同様に「保健・医療」の情報が欲しいという回答が高くなっています。中でも、南部地区では「保健・医療」の情報が欲しいという回答が7割を超えています。

第4章 自由意見のまとめ

1. 自由意見のまとめ

問 鎌ヶ谷市の市政やまちづくりについてのご意見、ご感想などがありましたら、ご自由にお書きください。

この調査では、市政についてのさまざまな意見を、自由記述形式でお伺いしました。1,665人の回答者中、580人が回答し、内容によって複数に分けた意見もあるので、全体の意見数は825件となりました。次項では、それらの意見を市の施策・サービスの体系（詳しくは6（2）市の施策・サービスの「現在の満足度」・「今後の重要度」についての項目を参照）を基本に分類してあります。

全体の傾向としては、「道路の整備」についての意見が最も多くなりました。調査結果の分析中でも、最も重要な課題であることが示されましたが、自由意見からもこのことが裏付けされる結果となりました。

また、「公園や緑地、街路樹などの整備」、「公共交通体系の整備（鉄道、バスなど）」などにも多くの意見が寄せられ、都市の骨格づくりに関する項目で301件の意見が寄せられています。

体系	項目	市全体	中央 地区	中央東 地区	東部 地区	南部 地区	西部 地区	北部 地区	地区 不明
都市の 骨格づ くり	①既成市街地の整備・再開発	11	1	0	1	2	4	2	1
	②新しい市街地の整備	4	0	3	1	0	0	0	0
	③駅周辺の整備	28	9	8	6	5	0	0	0
	④公園や緑地、街路樹などの整備	51	15	7	13	9	4	2	1
	⑤公共交通体系の整備(鉄道、バスなど)	40	4	11	12	5	3	5	0
	⑥河川や水路の整備	7	1	3	1	1	1	0	0
	⑦下水道の整備	24	7	2	9	2	3	0	1
	⑧道路の整備	136	32	20	18	27	20	16	3
生活環 境の向 上	①市営住宅などの住宅対策	2	2	0	0	0	0	0	0
	②ごみ・し尿処理対策	24	9	4	4	3	2	2	0
	③環境衛生の充実(害虫などの駆除)	13	2	1	6	3	0	1	0
	④大気汚染・振動・騒音などの対策	17	4	5	4	1	2	1	0
	⑤交通安全対策	25	7	4	11	3	0	0	0
	⑥消防力の充実	1	1	0	0	0	0	0	0
	⑦地震などの防災対策	24	6	8	7	2	0	1	0
	⑧防犯対策	37	13	8	4	7	5	0	0
	⑨美しい街並みの創造	3	2	0	0	0	1	0	0
福祉・ 保健の 充実	①地域ぐるみの福祉活動の充実	1	1	0	0	0	0	0	0
	②高齢者福祉の充実	16	6	3	6	0	0	0	1
	③児童福祉の充実	39	12	6	9	6	3	3	0
	④障がい者(児)福祉の充実	6	1	0	3	1	0	1	0
	⑤低所得者福祉の充実	2	0	0	1	0	0	0	1
	⑥母子(父子)福祉の充実	1	1	0	0	0	0	0	0
	⑦保健・医療の充実	26	7	1	6	5	4	3	0
教育・ 文化の 向上	①教育内容・施設の充実	19	3	3	3	7	2	0	1
	②生涯学習の充実	15	2	1	3	6	3	0	0
	③青少年の健全育成	5	1	2	1	0	0	0	1
	④芸術・文化の振興	9	2	1	3	3	0	0	0
	⑤スポーツ・レクリエーションの振興	17	2	4	3	5	1	2	0
	⑥幼児教育の充実	2	0	0	1	1	0	0	0
	⑦児童生徒の健康と安全の確保	6	0	2	3	1	0	0	0
	⑧高等教育の充実	0	0	0	0	0	0	0	0
産業分 野の振 興	①魅力ある商店街づくり	20	11	4	1	4	0	0	0
	②農業の振興	9	2	1	2	3	0	1	0
	③農業への理解とふれあいの拡大	0	0	0	0	0	0	0	0
	④市街地内の工場の適地への誘導	2	1	0	1	0	0	0	0
	⑤立地を生かした新産業の誘導	9	3	1	1	3	0	1	0
	⑥中小企業への融資などの強化	1	0	0	1	0	0	0	0
	⑦消費者の保護	0	0	0	0	0	0	0	0
市民活 動・行 政運 営	①コミュニティづくり	14	2	4	3	3	1	1	0
	②地域の情報化の推進	4	1	0	1	2	0	0	0
	③男女共同参画社会の形成	0	0	0	0	0	0	0	0
	④国際化の促進	2	1	0	0	0	1	0	0
	⑤地方分権と市民参加の推進	9	0	3	5	1	0	0	0
	⑥効率的で健全な行政運営	21	3	2	8	1	3	3	1
	⑦広域行政の推進	6	0	2	3	0	1	0	0
その他の意見	117	22	14	25	21	14	13	8	
計	825	199	138	190	143	78	58	19	